

## 基本目的Ⅳ 経済と都市

「都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち」

### ◆ 17 産業

施策目的 新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる

### ◆ 18 商業

施策目的 事業者が元気で活力のあるまちになる

### ◆ 19 労働環境

施策目的 生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる

### ◆ 20 農業

施策目的 安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる

### ◆ 21 観光

施策目的 多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる

### ◆ 22 まちのにぎわい

施策目的 人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちになる

### ◆ 23 土地利用

施策目的 地域性に応じた土地利用ができているまちになる

### ◆ 24 道路・交通

施策目的 人や物が安全で快適に移動できるまちになる

### ◆ 25 居住環境

施策目的 快適な居住環境で暮らしやすいまちになる

### ◆ 26 公園・緑地

施策目的 花と緑に囲まれ、憩いと安らぎのあふれた、  
ガーデンシティと言われるまちになる



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	210	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	産業政策課	産業団地整備係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・8	産業団地造成事業				20,003 千円	112,464 千円	8,538 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶1_新規団地の造成と拡張

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内企業の規模拡大及び新規企業誘致の受け皿となる新たな産業用地が求められていることから、税収確保及び雇用創出に向け、計画的な団地造成を進めるもの。
----------------	---

### 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

#### 産業団地造成事業【重要事業】

- ①市内企業を支援するため、既存団地の拡張（⇒館林北部第四地区工業団地造成事業）  
・県企業局と連携を図り、北部第四工業団地（開発面積：約19.3ha、編入面積：約20.7ha）を造成し、令和6年度中の分譲開始を目指す。
- ②新たな企業を誘致するため、新産業団地造成（⇒（仮称）館林大島地区工業団地造成事業）  
・県企業局と連携を図り、大島産業団地（開発面積：約56.2ha、編入面積：約62.7ha）を造成し、令和9年度中の分譲開始を目指す。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		産業団地造成事業【重】 ①北部第四工業団地 ・造成工事、分譲開始（県） ・地元調整（市） ②大島産業団地 ・用地買収、調査設計（県） ・地元調整（説明会、地権者交渉）（市）	産業団地造成事業【重】 ①北部第四工業団地 ・確定測量、分譲完了（県） ・地元調整（市） ②大島産業団地 ・調査設計、造成工事（県） ・地元調整（説明会、地権者交渉）、関連工事（市）	産業団地造成事業【重】 ②大島産業団地 ・造成工事（県） ・地元調整（市）
	事業費	8,538	480,000	2,500
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,538	480,000	2,500

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	新規産業団地などの造成	-	目標値	-	-	-	19.3	56.2
		単位：ha	実績値	-	-	-	0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	58,038 千円	令和6年度決算額	31,595 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	産業団地造成事業 ①北部第四工業団地造成 【令和4年度】 ・市街化区域へ編入   ・事業認可   ・地元調整（説明会・地権者交渉）を実施   ・用地買収完了 【令和5年度】 ・県企業局による造成工事を実施 【令和6年度】 ・県企業局による造成工事を実施 ②大島工業団地造成 【令和4年度】 ・環境アセスメント継続実施   ・地元調整（説明会・地権者交渉）を実施 【令和5年度】 ・環境アセスメント継続実施   ・地元調整（説明会・地権者交渉）を実施   ・都市計画手続きの実施 ・補償調査実施 【令和6年度】 ・市街化区域へ編入   ・事業認可   ・地元調整（説明会・地権者交渉）を実施   ・用地買収を実施			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	①北部第四工業団地造成 造成工事を実施中であり、令和7年度に19.3haの造成が完了見込み ②大島工業団地造成 用地買収率は9割を超え、測量と詳細設計を実施中であり、その後造成工事を予定している				
課題	①北部第四工業団地造成 なし ②大島工業団地造成 用地未買収者への対応				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	①北部第四工業団地造成 継続して早期の造成工事完了を目指す ②大島工業団地造成 用地未買収者への対応を行い、早期の造成工事開始を目指す				
令和8年度 事業計画	①北部第四工業団地造成 造成工事は完了見込みであり、測量・登記・事業完了等の手続きを経て分譲を予定 ②大島工業団地造成 造成工事を予定				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	211	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）		当初予算額（R6）
7・1・1	事業承継支援事業			621 千円		1,621 千円		1,556 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶3_企業の連携・事業承継の支援

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	少子高齢化が進む中、中小規模事業者の後継者不在による廃業が加速しており、黒字倒産を防ぐためにも事業承継は喫緊の課題となっている。また、雇用機会の喪失や税収の減少といった流れに歯止めをかけるためにも、事業承継促進のための様々な支援を実施する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①事業承継支援事業【重要事業】 ○事業承継セミナー ・関係機関である「群馬県事業承継・引継ぎ支援センター」や外部講師による事業承継セミナーの開催 ○事業承継個別相談 ・関係機関である「群馬県事業承継・引継ぎ支援センター」や専門家による個別相談の実施 ○ビジネスマッチングフェア（近隣自治体及び桐生信用金庫、館林信用金庫との共催事業） ・販路拡大のため、市内外の幅広い企業が集まるよるマッチングフェアの開催 ○事業承継支援委託料（専門家派遣） ・事業承継に関して専門的知見を必要とした際に、士業団体を通じて専門家派遣を委託する ○事業承継・M&A促進補助金 ・企業価値の算定やM&Aに要した費用に関して補助金を交付する	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①事業承継支援事業【重】 ○事業承継セミナーの開催 ○事業承継個別相談の実施 ○ビジネスマッチングフェアの開催 ○専門家派遣 ○事業承継・M&A促進補助金	①事業承継支援事業【重】 ○事業承継セミナーの開催 ○事業承継個別相談の実施 ○ビジネスマッチングフェアの開催 ○専門家派遣 ○事業承継・M&A促進補助金	①事業承継支援事業【重】 ○事業承継セミナーの開催 ○事業承継個別相談の実施 ○ビジネスマッチングフェアの開催 ○専門家派遣 ○事業承継・M&A促進補助金
事業費		1,556	1,556	1,556
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,556	1,556	1,556

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	ビジネスマッチングフェア参加市内企業数【R5追加】	7	目標値	20	20	20	20	20
		単位：社	実績値	15	17	17	16	
活動指標	専門家派遣件数【R5追加】	0	目標値	2	2	2	2	2
		単位：件	実績値	0	0	2	0	
活動指標	事業承継・M&A促進補助金利用件数【R5追加】	-	目標値	-	-	10	10	10
		単位：件	実績値	-	-	1	0	
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	1,556 千円	令和6年度決算額	201 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>○ビジネスマッチングフェアの共催 近隣事業者の販路拡大のため、桐生信用金庫、館林信用金庫、桐生商工会議所、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、みどり市の共催によりマッチングフェアを開催 (参加団体) R6年度：175社(団体) R5年度：177社(団体) R4年度：141社(団体) ※共催者に伊勢崎市が加入</p> <p>○事業継続と事業承継に関する意識調査【R4年度補正事業】 調査対象企業：1,915社、回収数：454票、有効回答率：23.7%</p> <p>○専門家派遣 R6年度：0件 R5年度：1社2回（事業承継に関する法律相談）18千円</p> <p>○事業承継・M&amp;A促進補助金【R5年度新】 R6年度：0件 R5年度：1件（専門事業者のコンサルティングなどに係る経費）90千円</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>・地域金融機関や商工会議所、自治体が連携して広域的なマッチングフェアを開催することにより、企業間の販路拡大や事業承継に向けたマッチング機会の創出、雇用の確保に一定の成果をあげた。</p>				
課題	<p>・工業、商業を問わず、中小企業経営者の高齢化や後継者不足を解決するため、事業や技術を承継するための支援が必要である。</p> <p>・事業承継に関する意識の醸成を図り、事業活動を途切れさせることなく円滑に承継できる体制の構築が必要がある。</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（<input type="checkbox"/> 一部廃止）</p>				
	<p>・館林市、館林商工会議所、館林信用金庫との包括連携協定の枠組みで実施している定期協議会の中で、ビジネスマッチング（販路拡大）や事業承継に関する支援策等の検討を進める。</p> <p>・特に事業承継に関しては、事業継続と事業承継に関する意識調査結果を基に個別企業訪問を実施し、事業承継に関する意識の醸成と事業承継の成立を目指す。</p> <p>・既存の包括連携協定の枠組みに民間プラットフォーマー（株式会社トランビ）を加え、事業承継を加速させる。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>・企業間の交流機会の創出（ビジネスマッチング）</p> <p>・事業経営に関するアドバイザー等の継続的派遣</p> <p>・事業継続と事業承継に関する意識調査結果を基にした個別企業訪問</p> <p>・事業承継を望む経営者に対し、群馬県事業承継・引継ぎ支援センターと連携して支援を実施</p> <p>・事業承継に関するセミナーの開催</p>				
予算規模 見込み	<p><input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較</p>				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	212	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・2	商業金融対策事業				1,441,160 千円	949,960 千円	828,759 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶5_経営の支援

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中小企業者の信用力や担保力の不足を補うため、金融機関や県保証協会の協力を得て融資を実行することにより、中小企業者の資金不足の解消と経営の安定を図る。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で経営不振に陥った企業への資金繰りの圧迫を避けるべく、融資の充実を図るとともに臨機応変な支援を実施していく。</li> </ul>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①商業金融対策事業【重要事業】 ○小口資金保証料補助金 ○商工業後継者育成利子補給金 ○経営安定資金利子補給金（通常分） ○経営振興資金利子補給金 ○創業融資利子補給金 ○小規模事業者経営改善資金利子補給金【新規事業】 ○金融機関への金利ゼロによる預託金 ・小口資金融資預託金 ・経営安定資金融資預託金 ・経営振興資金融資預託金 ○制度融資損失補償金	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	①商業金融対策事業【重】 ○小口資金保証料補助 ○商工業後継者育成利子補給 ○経営安定資金利子補給 ○経営振興資金利子補給 ○創業融資利子補給 ○小規模事業者経営改善資金利子補給金【新】 ○金融機関への金利ゼロによる預託金 ○制度融資損失補償金	①商業金融対策事業【重】 ○小口資金保証料補助 ○商工業後継者育成利子補給 ○経営安定資金利子補給 ○経営振興資金利子補給 ○創業融資利子補給 ○小規模事業者経営改善資金利子補給金【新】 ○金融機関への金利ゼロによる預託金 ○制度融資損失補償金	①商業金融対策事業【重】 ○小口資金保証料補助 ○商工業後継者育成利子補給 ○経営安定資金利子補給 ○経営振興資金利子補給 ○創業融資利子補給 ○小規模事業者経営改善資金利子補給金【新】 ○金融機関への金利ゼロによる預託金 ○制度融資損失補償金
	事業費	828,759	828,759	828,759
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	805,000	805,000	805,000
	一般財源	23,759	23,759	23,759

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	小口資金融資実績【R5追加】	219	目標値	250	250	250	250	250
		単位：件	実績値	148	140	113	94	
活動指標	経営安定資金融資実績【R5追加】	152	目標値	180	180	180	180	180
		単位：件	実績値	70	63	53	37	
活動指標	経営振興資金融資実績【R5追加】	24	目標値	30	30	30	30	30
		単位：件	実績値	17	15	17	13	
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	828,759 千円	令和6年度決算額	322,779 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①小口資金保証料補助 R6年度：45件1,070千円、R5年度：56件 1,110千円、R4年度：49件 816千円 ②商工業後継者育成利子補給金 H7以降実績なし ③経営安定資金利子補給(延件数) R6年度：29件657千円、R5年度：57件 2,267千円、R4年度：71件 3,472千円 ④経営振興資金利子補給(延件数) R6年度：13件365千円、R5年度：14件 388千円、R4年度：5件 116千円 ⑤創業融資利子補給(延件数) R6年度：71件1,656千円、R5年度：67件 1,763千円、R4年度：60件 1,947千円 ⑥小規模事業者経営改善資金利子補給(延件数) 【新規】 R6年度：19件800千円 ⑦金融機関への預託金 小口資金融資預託金 R6年度：94件62,114千円、R5年度：113件 65,682千円、R4年度：140件 76,891千円 経営安定資金融資預託金 R6年度：37件76,823千円、R5年度：53件 137,461千円、R4年度：63件 174,338千円 経営振興資金融資預託金 R6年度：13件41,289千円、R5年度：17件 39,737千円、R4年度：15件 34,458千円 ⑧制度融資損失補償金(件数) R6年度：4件1,932千円、R5年度：0件 0千円、R4年度：3件 1,428千円			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D			
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高           政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中           政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低           目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高           成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中           適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低           成果が低水準にある	
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高           費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中           適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低           費用対効果が低水準にある	
評価根拠	・市内中小企業者への運転資金や設備導入資金の融資により、経営の安定が図られた。 ・物価高騰の影響で一時的に業況が悪化した企業に対する支援が実施できた。 ・創業者への融資に対する利子を補給することで、創業時の財政的な負担を軽減し、継続的な経営の支援を行った。			
課題	・民間金融機関の金融商品の充実や新型コロナウイルス関連融資により、通常の制度融資申請者数が減少傾向にある。 ・本来融資が不要と思われる企業への融資及び利子補給が増加している。(アドバースセクション) ・年に数件程度ではあるが、代位弁済による損失補償が発生しており、融資実行金融機関による見極めが求められる。			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )			
	・現在の制度融資メニューを継続する。 ・新型コロナウイルスによる影響を見極め、随時制度融資内容の見直しを図る。 ・利子補給に関しては、利用実績を精査し、内容の改善を図る。			
令和8年度 事業計画	①小口資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥小規模事業者経営改善資金利子補給 ⑦金融機関への預託金 ⑧制度融資損失補償金			
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	213	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
7・1・3	工業振興対策			7,176 千円		6,676 千円	6,774 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶2_企業の誘致・拡張の推進
	▶3_企業の連携・事業承継の支援
	▶4_産学官連携の推進
	▶5_経営の支援

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>○工業技術・技能向上対策：市内産業の活性化を図るため、産業技術の向上や人材の育成を支援する。</p> <p>○工業販路拡張対策：市内産業の活性化を図るため、工業製品の販路拡張や、新製品・新技術の開発に取り組む中小企業を支援する。</p> <p>○工業団体の育成：市内産業の活性化を図るため、中小企業工業団体の活動を支援するとともに、工業団体のPRを行う。</p> <p>○中小企業退職金共済制度加入促進事業：退職金共済制度への加入が困難な中小企業を支援することで、企業経営の安定と労働者の福利厚生向上を図る。</p>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①工業振興対策【重要事業】</p> <p>○工業技術・技能向上対策：講師派遣委託、中小企業経営相談委託、工業技術技能習得研修事業費助成金、人材養成事業助成金、産学官研究サポート助成金</p> <p>○工業販路拡張対策：人と食の出会いフェスタ開催委託、麦まつり事業委託、創意くふう展開催負担金、ぐんま技術革新チャレンジ補助金、織物産業振興事業費補助金、展示会活用支援助成金、たてばやしブランド商品化支援補助金</p> <p>○工業団体の育成：ふるさと食文化体感ツアー、親子工場見学、工業団体振興事業費補助金</p> <p>○中小企業退職金共済制度加入促進事業：中小企業退職金共済制度加入促進補助金</p> <p>○その他事業</p> <p>・工場立地法に基づく地域準則条例（敷地面積に対する緑地・環境施設の面積率緩和）を周知し、土地の有効活用による建替えや増設を促し、設備投資の拡大につなげる。</p>	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	工業振興対策【重】	工業振興対策【重】	工業振興対策【重】	工業振興対策【重】
	○工業技術・技能向上対策	○工業技術・技能向上対策	○工業技術・技能向上対策	○工業技術・技能向上対策
	・産学官研究サポート助成金等	・産学官研究サポート助成金等	・産学官研究サポート助成金等	・産学官研究サポート助成金等
	○工業販路拡張対策	○工業販路拡張対策	○工業販路拡張対策	○工業販路拡張対策
	・展示会活用支援助成金等	・展示会活用支援助成金等	・展示会活用支援助成金等	・展示会活用支援助成金等
事業費	○工業団体の育成	○工業団体の育成	○工業団体の育成	○工業団体の育成
	・ふるさと食文化体感ツアー等	・ふるさと食文化体感ツアー等	・ふるさと食文化体感ツアー等	・ふるさと食文化体感ツアー等
	○中小企業退職金共済制度加入促進事業	○中小企業退職金共済制度加入促進事業	○中小企業退職金共済制度加入促進事業	○中小企業退職金共済制度加入促進事業
	・中小企業退職金共済制度加入促進補助金	・中小企業退職金共済制度加入促進補助金	・中小企業退職金共済制度加入促進補助金	・中小企業退職金共済制度加入促進補助金
事業費		6,774	6,774	6,774
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	70	70	70
	一般財源	6,704	6,704	6,704

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	産学官研究サポート助成金交付件数【R5追加】	1	目標値	1	1	1	1	1
		単位：件	実績値	0	1	1	0	
活動指標	展示会活用支援助成金交付件数【R5追加】	2	目標値	15	15	15	15	15
		単位：件	実績値	1	7	17	21	
活動指標	ふるさと食文化体感ツアー及び親子工場見学参加者数【R5追加】	42	目標値	-	40	40	40	40
		単位：人	実績値	-	40	40	21	
活動指標	中小企業退職金共済制度加入企業数【R5追加】	10	目標値	11	12	13	14	15
		単位：社	実績値	10	10	11	12	

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	6,774 千円	令和6年度決算額	4,573 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>○工業技術・技能向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講師派遣委託：工業関係研修講師派遣委託（参加者数） R6年度：21名、R5年度：実績なし、R4年度：実績なし</li> <li>中小企業経営相談委託：専門家の派遣、指導等の実施 R6：実績なし、R5：実績なし、R4年度：周知不足のため実績なし</li> <li>人材養成事業助成金（対象経費の1/2、上限30,000円/1企業） R6年度：4件44,000円、R5年度：4件41,800円、R4年度：0件0円</li> <li>産学官研究サポート助成金 R6年度：実績なし、R5年度：1件 500,000円、R4年度：1件 500,000円</li> </ul> <p>○工業販路拡張対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>展示会活用支援助成金（件数/交付額） R6年度：21件1,017,000円、R5年度：17件 754,000円、R4年度：7件 677,000円</li> <li>ぐんま技術革新チャレンジ補助金 R6年度：実績なし、R5年度：1件 115,000円、R4年度：1件400,000円</li> <li>たてばやしブランド商品化支援補助金（件数/交付額） R6年度：6件1,973,000円、R5年度：1件 198,000円、R4年度：5件 1,559,000円</li> </ul> <p>○中小企業退職金共済制度加入促進事業（件数/交付額） R6年度：12件190,800円、R5年度：11件139,000円、R4年度：10件 126,800円</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・工業技術・技能向上対策：労働者の技術習得は市内企業の振興に必要である。 ・工業販路拡張対策：商品開発や販路拡大への支援は市内企業の振興に必要である。 ・中小企業退職金共済制度加入促進事業：中小企業の退職金制度を確立することで、従業員の福祉向上と職場への定着が図れた。					
課題	・工業技術・技能向上対策：事業主の高齢化のため事業・技術の承継が必要である。また、技術習得及び危機管理意識の向上を図る必要がある。 ・工業販路拡張対策：利用企業が固定化してきているため、周知方法の検討が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	既存事業を継続しつつも、状況に応じた対応が必要である。					
令和8年度 事業計画	・工業技術・技能向上対策 講師派遣委託、中小企業経営相談委託、人材養成助成、産学官サポート助成等 ・工業販路拡張対策 展示会活用支援助成金、ぐんま技術革新チャレンジ補助金、たてばやしブランド商品化支援補助金等 ・工業団体の育成 ・中小企業退職金共済制度加入促進事業					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	214	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	産業政策課	産業政策係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・8	企業誘致・支援事業				998千円	2,009千円	1,738千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶2_企業の誘致・拡張の推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域の産業集積向上と経済活性化を図るため、新たに開発される産業団地に係る企業誘致を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<b>企業誘致・支援事業</b> ○本社機能誘致移住奨励金 ・本社機能の移転を伴う企業の市内立地に際し、市外から転入した従業員の定住を促進するため、奨励金を支給する。 ○産業団地のための企業誘致 ・本市の優れた立地環境等を企業に周知し、誘致を推進する。群馬県等関係部局と連携し、誘致活動を積極的に行う。  ○誘致企業への支援制度の検討 ・新たな団地開発・分譲と整合した時期に合わせ、誘致に向けた優遇制度を検討する。  ○新規産業団地の検討 ・企業の進出意向を確認し、新たな産業団地事業を検討する。	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	企業誘致・支援事業【重】 ・工業団地造成計画の推進 ・群馬県担当部局との連携 ・東京圏を中心とした新規企業誘致のための営業活動	企業誘致・支援事業【重】 ・工業団地造成計画の推進 ・群馬県担当部局との連携 ・東京圏を中心とした新規企業誘致のための営業活動	企業誘致・支援事業【重】 ・工業団地造成計画の推進 ・群馬県担当部局との連携 ・東京圏を中心とした新規企業誘致のための営業活動	企業誘致・支援事業【重】 ・工業団地造成計画の推進 ・群馬県担当部局との連携 ・東京圏を中心とした新規企業誘致のための営業活動
	事業費	1,738	1,738	1,738
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,738	1,738	1,738

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	本社機能誘致移住奨励金交付件数	19	目標値	10	10	10	5	5
		単位：件	実績値	0	0	0	0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	1,738 千円	令和6年度決算額	599 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>企業誘致・支援事業</p> <p>○本社機能誘致移住奨励金 利用実績がないことから、令和6年度末にて廃止</p> <p>○産業団地のための企業誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大手ゼネコンやデベロッパーを中心に随時訪問営業実施</li> <li>・進出確度が高い企業との継続協議実施</li> </ul> <p>○誘致企業への支援制度の検討 訪問先企業から、支援制度希望等のヒアリング実施</p> <p>○新規産業団地の検討 新規産業団地計画更新。予定区域の登記簿調査 土地利用状況調査の実施</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>・企業からの来庁を待つのではなく、企業訪問による営業活動の実施ができています。</p> <p>・本市への進出を希望する企業との協議を実施し、進出確度を上げる努力をしている。</p>				
課題	<p>進出を希望する企業のニーズは、水と電力の確保が第一条件である。特に電力の確保は周辺地域との競争があり、長期スパンでの取組みが求められる。早期の対応を始めなければ取り残されてしまう。</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )				
	<p>現在進行中の2団地の分譲時期となった。売れ残りリスクを回避するために進出の可能性のある企業との協議は、産業団地造成事業の効果を高める上でも最重要事項であり継続した営業や交渉が必要となる。一方で、周辺自治体との誘致競争が激化しており、効果的な企業誘致の戦略やプロモーションに力を入れる時期である。</p>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規産業団地事業計画作成</li> <li>・企業誘致戦略策定</li> <li>・電力供給網検討</li> </ul>				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	215	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・1	商工総務			5,946 千円	4,115 千円	3,919 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策の方向	▶3_経営の支援

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>○住宅リフォーム資金助成金：住宅リフォームに際し、市内事業者の利用を前提とすることで市内経済の活性化に資するとともに、住宅環境の改善と定住の促進を図る。</p> <p>○移住定住促進リフォーム資金助成金：市内事業者の利用を前提とすることで市内経済の活性化に資するとともに、市内への移住定住の促進を図る。</p> <p>○多世代同居支援助成金：市内事業者の利用を前提とすることで市内経済の活性化に資するとともに、親元での同居による移住定住の促進を図る</p>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①商工総務【重要事業】</p> <p>○住宅リフォーム資金助成金 市内の住宅のリフォーム工事に対し助成金を交付する。 ・助成対象者：本市に居住し、当該住宅に居住している者。 ・助成対象住宅：市内に存する住宅（築年数5年以上） ・助成対象工事：市内に本店のある事業者が施工する20万円以上（消費税込）の工事。 ・助成金の額：助成対象経費の10分の1に相当する額とし、3万円を限度とする。</p> <p>○移住定住促進リフォーム資金助成金 ・助成対象者：申請日の属する年度の3月末日までにリフォーム工事を完了し、かつ本市に転入した者。 ・助成対象住宅：市内に存する住宅（築年数5年以上） ・助成対象工事：市内に本店のある事業者が施工する20万円以上（消費税込）の工事。 ・助成金の額：助成対象経費の3分の1に相当する額とし、30万円を限度とする。</p> <p>○多世代同居支援助成金 住宅リフォーム資金助成金の交付決定を受けた者で、工事完了後、速やかに多世代同居すること。 ・助成金の額 一律15万円。</p>	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	①商工総務【重】 ○住宅リフォーム資金助成金 ○移住定住促進リフォーム資金助成金 ○多世代同居支援助成金		①商工総務【重】 ○住宅リフォーム資金助成金 ○移住定住促進リフォーム資金助成金 ○多世代同居支援助成金	①商工総務【重】 ○住宅リフォーム資金助成金 ○移住定住促進リフォーム資金助成金 ○多世代同居支援助成金
	事業費	3,919	3,919	3,919
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	134	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	495	0	0
	一般財源	3,290	3,919	3,919

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	住宅リフォーム資金助成金利用件数【R5追加】	56	目標値	60	60	60	60	60
		単位：件	実績値	62	61	67	68	
活動指標	移住定住促進リフォーム資金助成金利用件数【R5追加】	0	目標値	3	3	3	3	3
		単位：件	実績値	2	4	2	4	
活動指標	多世代同居支援助成金利用件数【R5追加】	0	目標値	3	3	3	3	3
		単位：件	実績値	2	3	1	1	
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	3,919 千円	令和6年度決算額	3,714 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅リフォーム資金助成金（件数/交付額） R6年度：(72件/3,053千円：うち市外からの転入4件/1,061千円) R5年度：(69件/2,571千円：うち市外からの転入2件/600千円) R4年度：(65件/2,817千円：うち市外からの転入4件/1,053千円)</li> <li>・多世代同居支援助成金（件数/交付額/同居者数） R6年度：(1件/150千円/同居者5名：うち市外からの転入4名+市内1名) R5年度：(1件/150千円/同居者4名：うち市外からの転入0名+市内4名) R4年度：(3件/450千円/同居者10名：うち市外からの転入4名+市内4名)</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者の活用を前提とすることにより市内中小事業者の仕事を生み出し、地域経済の循環に一定の成果を上げた。</li> <li>・助成金を館林市デジタル地域通貨で支給することで、地域経済の循環に一定の成果を上げた</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末には予算が不足するほどの利用実績があり、利用者事業者から予算確保の要望も強いため、予算の増額も検討が必要である。</li> <li>・今後、住環境の改善や移住定住を前提とした支援に関しては、空き家改修費用の助成等の住宅施策、あるいは移住定住支援策と統合して進めていくことが必要である。</li> </ul>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフォーム資金助成金に関しては、経済対策として実施するのではなく、住宅施策や移住定住支援策の一環として統合していく必要がある。</li> <li>・助成金額の増額、制度の見直し（多世代同居支援助成金の統合）を行った。</li> </ul>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅リフォーム資金助成金</li> <li>・移住定住促進リフォーム資金助成金</li> </ul>				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	216	重要事業	○	総合戦略		担当部署	商工課 商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
7・1・1	デジタル地域通貨発行事業				千円	159,484千円	448,072 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策の方向	▶1_技術と個性がある商店の集積

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	○市内での消費拡大及び経済活性化 ・補助金等が地域通貨として確実に市内事業者で使用される仕組みにより、市内事業者の売上向上 ・期限内の使用による確実な市内経済の循環及び活性化 ○キャッシュレス決済等のDX化による社会変化への事業者・市民への支援
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### デジタル地域通貨発行事業【重要事業】

- ①デジタル地域通貨の発行 137,173千円
- ②デジタル地域通貨の換金 297,099千円
- ③デジタル地域通貨普及促進事業 560千円

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	448,072	447,872	447,872
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	433,924	137,173	137,173
財源		一般財源 14,148	310,699	310,699

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	337	目標値	338	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	231	-	-	-	
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	848,598 千円	令和6年度決算額	642,996 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>①館林市デジタル地域通貨の発行額 R6年度：発行額 合計 305,742千円（補助金分 60,972千円、販売分 50,029千円、国庫 194,741千円） R5年度：発行額 合計 838,812千円（補助金分 34,841千円、販売分 25,815千円、国庫 778,156千円）</p> <p>②館林市デジタル地域通貨の利用額 R6年度：利用額 合計 203,408千円（補助金分 35,572千円、販売分 38,948千円、国庫 128,888千円） R5年度：利用額 合計 666,810千円（補助金分 22,206千円、販売分 16,925千円、国庫 627,679千円）</p> <p>③館林市デジタル地域通貨の利用率 R6年度：利用率 66.5% R5年度：利用率 79.5% ※利用率は、発行額及び利用額の合計から算定したもの。</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	物価高騰対応策として、32,457千円（全額国庫支出金充当）をプレミアムキャンペーンとして発行し、そのうち31,588千円が利用され、地域内で循環することができ、事業者支援及び地域内の経済対策として成果を得ることができた。				
課題	社会のDX化の流れに伴い、地域通貨のデジタル化を推進しているが、デジタル機器への投資や機器利用が困難な事業者や、デジタル機器の利用が困難な利用者が一定数存在している。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	デジタル地域通貨の利便性向上のため、事業者登録の拡大を図る。併せて、デジタル地域通貨の使い方について、事業者や市民にきめ細やかな説明を実施する。				
令和8年度 事業計画	・デジタル地域通貨の利用促進キャンペーン				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					



## 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	217	重要事業		総合戦略		担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・2	商業振興事業				5,674 千円	5,661 千円	5,588 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策の方向	▶3_経営の支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	○館林商工会議所、中小企業相談所への支援により、商工業の強化・発展を図る。 ○中小企業相談所の経営指導員による経営・金融相談・指導を支援することにより、中小企業者の経営、技術の改善・発達を促進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①地域活性化講演会開催 100千円 ②商工会議所運営費補助 4,500千円 ③中小企業経営指導強化補助 900千円	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		・地域活性化講演会開催 ・商工会議所運営費補助 ・中小企業経営指導強化補助	・地域活性化講演会開催 ・商工会議所運営費補助 ・中小企業経営指導強化補助	・地域活性化講演会開催 ・商工会議所運営費補助 ・中小企業経営指導強化補助
	事業費	5,588	5,661	5,661
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,588	5,661	5,661

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	337	目標値	338	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	231	-	-	-	
総合計画指標	製造品出荷額	2,842	目標値	2,843	2,843	2,844	2,844	2,845
		単位：億円	実績値	2,786	-	-	3,706	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	5,588千円	令和6年度決算額	5,492千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①地域活性化講演会開催 R6年度：参加者 23人、R5年度：参加者 24人、R4年度：参加者 30人  ②中小企業相談所相談実績 R6年度：3,242件（巡回 1,472件、窓口 1,770件） R5年度：3,206件（巡回 1,245件、窓口 1,961件） R4年度：2,954件（巡回 1,063件、窓口 1,891件）			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域活性化講演会の開催や官民連携、公共空間の利活用など政策の推進に寄与することができた。また、館林商 工会議所の運営と中小企業経営指導の強化に対して補助することによって、中小企業者の事業継続を支援するこ とができた。				
課題	・適正な補助金の執行 ・事業の有効性、効率性の検証				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	・時流を捉え、縮小社会を見据えた地域課題の解決に資する地域活性化講演会の実施 ・館林商工会議所との連携				
令和8年度 事業計画	①地域活性化講演会開催 ②商工会議所運営費補助 ③中小企業経営指導強化補助				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

## 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	218	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・2	創業支援事業				8,333 千円	8,127 千円	8,114 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	創業に興味のある方や創業しようと考えている方が、新しく事業を起こし、事業を継続することができるために、創業の段階に応じた支援を行い、空き店舗などの遊休不動産の活用や雇用の創出に繋げる。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ②創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） 出店エリアによってインセンティブを設定 まちなか重点エリア加算（＋700千円）、ウォーカブルにぎわい創出ゾーン加算（＋500千円） ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業ネットワーク（日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、三手家守舎、Tatebayashi West Farm Market、館林市） ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ、コワーキングスペース運営	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	8,114	8,114	8,114
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	489	489	489
一般財源		7,625	7,625	7,625

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	遊休不動産の利活用件数 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	6	8	10	12	15
		単位：件	実績値	4	8	12	15	
総合計画指標	【市民アンケート】商工業（経営改善、跡取り、担い手など）の振興の満足度	6.7	目標値	8.7	9.7	10.7	11.7	12.7
		単位：％	実績値	－	－	－	6.7	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	8,114 千円	令和6年度決算額	5,638 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■遊休不動産の利活用件数 令和6年度までの累計実績 15件 (令和6年度:3件、令和5年度:4件、令和4年度:4件)</p> <p>①創業塾開催 ・基本編(単発講座、年2回) 令和6年度:年1回(創業塾8人)、令和5年度:年1回(創業塾11人)、令和4年度:年2回(創業塾9人、創業カフェ11人) ・応用編(5回連続講座、年1回) 令和6年度:年1回(7人)、令和5年度:年1回(5人)、令和4年度:年1回(7人) ・応用編受講後創業した人数 令和6年度:2人、令和5年度:3人、令和4年度:4人</p> <p>②創業支援補助金 ・設備費補助(改装・設備費) 令和6年度:3件、令和5年度:2件、令和4年度:1件</p> <p>③店舗診断 令和6年度:1件、令和5年度:1人、令和4年度:2件</p> <p>④創業なんでも相談会 令和6年度:0件、令和5年度:1件、令和4年度:1件</p> <p>⑤会社設立支援補助 令和6年度【新規】0件、令和5年度:2件、令和4年度:0件</p> <p>⑥チャレンジショップ管理</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	創業なんでも相談会は希望者がおらず中止となったが、創業塾の実施や創業応援ネットワークによる支援、創業支援補助金等、他事業の展開により、市内での創業者が増加した。また、それに伴い、遊休不動産の利活用をするケースも増えたことで、関連する指標の目標値を達成することができた。				
課題	・創業のあらゆるステージに対応した支援の実施 ・創業経験者による創業支援 ・創業塾修了後の起業支援の継続				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )				
	多様化する創業の形態に対応した創業支援を実施する				
令和8年度 事業計画	①創業塾開催 ・基本編(単発講座、年1回)   ・応用編(5回連続講座、年1回) ②創業支援補助金 ・設備費補助(改装・設備費) ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業応援ネットワーク(日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、三手家守舎、Tatebayashi West Farm Market、館林市) ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ管理運営				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小    ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	219	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課 商業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
7・1・2	たてばやし商業支援事業			11,117 千円		14,348 千円	13,446 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
施策の方向	▶3_経営の支援
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	業者の稼ぐ力や遊休不動産の活用によるエリアの価値、「食」を資源とした地域のブランディングなど、公民連携により、地域の価値を高める事業を実施する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①商店店舗診断 ②リノベーションまちづくり事業 ・「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 ・「百年小麦」ブランド化委員会 公式ホームページの運用、「百年小麦」生産収穫体験、「百年小麦」食育事業、「百年小麦」販売促進 「百年饅頭」給食導入 ④店舗ウェルカム補助金 中心市街地及びウォークアブルにぎわい創出ゾーンへのインセンティブを与えて、既存商業者の市内出店を誘導する施策。 ⑤店舗リニューアル助成金 店舗診断の結果、売上増加、新規顧客獲得等の事業継続のために店舗のリニューアル等が必要と診断された場合、その費用の一部を助成する。	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業 ・店舗ウェルカム補助金 ・店舗リニューアル助成金	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業 ・店舗ウェルカム補助金 ・店舗リニューアル助成金	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業 ・店舗ウェルカム補助金 ・店舗リニューアル助成金
事業費		13,446	13,446	13,446
財源	国庫	1,650	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	11,796	13,446	13,446

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	337	目標値	338	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	231	－	－	－	
総合計画指標	遊休不動産の利活用件数 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	6	8	10	12	15
		単位：件	実績値	4	8	12	15	
総合計画指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の便利さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	30.5	31.5	32.5	33.5	34.5
		単位：％	実績値	－	－	－	37.1	
総合計画指標	【市民アンケート】商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度	6.7	目標値	8.7	9.7	10.7	11.7	12.7
		単位：％	実績値	－	－	－	6.7	
総合戦略KPI	既存商店店舗診断の件数	2	目標値	6	8	10	12	15
		単位：件	実績値	1	2	7	11	

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	13,446千円	令和6年度決算額	6,588千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■遊休不動産の利活用件数 令和6年度までの累計実績 15件 (令和6年度:3件、令和5年度:4件、令和4年度:4件)</p> <p>■既存商店店舗診断 令和6年度までの累計実績 11件 (令和6年度:4件、令和5年度:5件、令和4年度:1件)</p> <p>■店舗ウェルカム補助件数 令和6年度 0件、令和5年度 3件、令和4年度 2件 (令和4年度より)</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にあ る	■ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値のとおりの実績をあげることができた。</p> <p>既存商店店舗診断の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値を実績値が下回っている。原因としては、商店主が中小企業診断士の店舗訪問及び3回の面談に対して抵抗感を持ったことなどが考えられるものの、令和6年度は4件の実績があった。</p>				
課題	<p>・遊休不動産の利活用件数の増加</p> <p>・既存商店への店舗診断の実施による経営改善、事業継続、魅力ある商品の・サービスの提供による売り上げ増加</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p>■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)</p>				
	<p>・リノベーションまちづくりの推進によって、遊休不動産を利活用する人材の育成とまちなかのにぎわい満足度の向上</p> <p>・商店店舗診断の実施による年間商品販売額の増加と商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度向上</p> <p>・たてばやしグルメ地域ブランディング事業による「百年小麦」を核とした商品の付加価値向上</p>				
令和8年度 事業計画	<p>①商店店舗診断</p> <p>②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催</p> <p>・体験ワークショップ 1回</p> <p>・講座(全6回) ※最終回にマルシェ出店</p> <p>③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会</p> <p>・公式ホームページの運用</p> <p>・「百年小麦」生産収穫体験、食育事業、販売促進</p>				
予算規模 見込み	<p>■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較</p>				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	220	重要事業		総合戦略		担当部署	商工課	工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
5・1・1	労働総務				3,262 千円	5,178 千円	4,667 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶19_生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる
施策の方向	▶3_ワーク・ライフ・バランスの趣旨普及と取組促進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労者の余暇活動充実を目的としたサラリーマン菜園を設置し、運営管理する。</li> <li>・勤労者の福祉の向上と民主的労使関係の確立のため、勤労者会館を運営管理する。</li> <li>・より良い労働環境の整備を目的に、館林市労使教育委員会の運営及び市内労働団体（館林地区労センター、日本労働組合総連合会群馬県連合会館林地域協議会の2団体）の活動に対し、補助金交付による支援を行い、健全な労使関係の醸成と労働者の福利厚生向上を図る。</li> </ul>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○サラリーマン菜園設置管理（しんじゅく菜園） ○勤労者会館の運営管理 ○館林市労使教育委員会の運営 ・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催） ・労働団体への補助金交付	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		○サラリーマン菜園設置管理（しんじゅく菜園） ・利用申込受付、利用料徴収、除草等維持管理 ○勤労者会館の運営管理 ○館林市労使教育委員会の運営 ・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催） ・労働団体への補助金交付	○サラリーマン菜園は廃止し、農業振興課の市民農園のみ継続 ○勤労者会館の運営管理 ○館林市労使教育委員会の運営 ・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催） ・労働団体への補助金交付	○勤労者会館の運営管理 ○館林市労使教育委員会の運営 ・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催） ・労働団体への補助金交付
事業費		4,667	4,640	4,640
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	101	1	1
	一般財源	4,566	4,639	4,639

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	サラリーマン菜園利用率	76.35	目標値	80	100	100	100	—
		単位：%	実績値	61.25	93.75	62.5	62.5	
活動指標	労働支援団体数	3	目標値	3	3	3	3	3
		単位：団体	実績値	3	3	2	3	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	4,667千円	令和6年度決算額	3,563千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①サラリーマン菜園設置管理 設置場所：1か所（しんじゅく菜園）16区画 利用料（年額）：5,000円/区画 利用者数：10人 ※令和4年から設置場所を7か所から1か所に削減、令和6年度で廃止した。 ②勤労者会館運営管理 ・1階利用状況：労働3団体（館林地区労センター、群馬県連合会館林地域協議会、教職員組合邑楽支部）の事務所として利用している。 ・2階利用状況：平成22年度「老朽化した公共施設の今後のあり方内部検討委員会」において耐震診断を実施しない旨の決定以降、耐震上の問題を考慮し、上記労働3団体以外には利用させていない。 利用実績：R4年度20回、R5年度16回、R6年度12回 ③-1 館林市労使教育委員会の活動 新入社員セミナー、優良従業員表彰、勤労者交流ウォーキング大会ほか 【新入社員セミナー参加状況】 R4年度17事業所111人、R5年度13事業所105人、R6年度：25事業所169人 ③-2 労働団体事業費補助（2団体） ・館林地区労センター 活動内容：労働祭（メーデー）、非核平和行進ほか ・日本労働組合総連合会群馬県連合会館林地域協議会 活動内容：トータルライフアップ学習会、ふれあいフェスティバル、政策制度要求と提言ほか ※館林邑楽地区労働者福祉協議会については、令和3年度より補助金は要しないとして辞退。今後請求なし。			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	①市街化区域内用地の有効活用のため、同区域内の菜園はしんじゅく菜園を除き廃止し、調整区域内にあるサラリーマン菜園は市民農園として再編成した。残るしんじゅく菜園についても令和令和6年度末をもって廃止した。 ②施設からの移転に向けて各労働団体と協議中である。できるだけ早く（かつ穏便に）結論を出せるよう、今後も団体と話し合いを行っていく。 ③事業の主目的は団体に対する補助金交付による支援であるが、市の事業に対する協力を呼びかけるなどして連携を図り、協力体制を築いていきたい。					
課題	②耐震問題もあり、労働3団体には会館の早期廃止を含め、退去交渉をしている。一方で、安全性が確保されず継続利用を望むのであれば、法的責任や範囲において書面により合意形成が図れるか協議し、今後の方向性を決める必要性がある。 ③-1 労使教育委員会の活動については、労働組合の組織率の低下や労働運動の衰退に伴い、労働者の福利厚生の実現を目的としたレクリエーション活動が主になっている。 ③-2 市内労働団体が行う労働者の福祉向上を図る事業に対し事業費補助金を交付しているが、事業内容の精査が必要。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	○サラリーマン菜園設置管理（しんじゅく菜園）※令和6年度で閉園 ○勤労者会館の運営管理 ・移転場所の検討 ○館林市労使教育委員会の運営 ・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催） ・労働団体への補助金交付					
令和8年度 事業計画	○勤労者会館の運営管理 ・団体の移転先の検討、施設撤去 ○館林市労使教育委員会の運営 ・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催） ・事業内容の見直し ・労働団体への補助金交付					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	221	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）		当初予算額（R6）
5・1・1	雇用安定対策事業			15,577 千円		15,577 千円		17,933 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶19_生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる
施策の方向	▶1_若年層の市内就職の促進
	▶2_雇用の促進
	▶3_ワーク・ライフ・バランスの趣旨普及と取組促進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の人材確保を支援するとともに、技能労働者の育成支援、労働者の雇用形態安定化及び定住化を図る。</li> <li>・新卒就職者の市内企業への就職を奨励することで、市内企業の人材確保及び地域の活性化を図るとともに、若者の人口流出抑制と本市への定住を促進する。</li> </ul>
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①雇用安定対策事業【重要事業】	
○若者のUIターン就職支援	
・地元企業ガイダンス開催	
・地元企業ガイダンス事業（企業紹介ガイドブック作成）【新規事業】	
・就職に関するアンケート【新規事業】	
○各種奨励金の交付	
・UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、障がい者雇用奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金、定住新卒就職者奨励金	
○技能労働者の育成支援	
・館林地区職業訓練運営会への補助金交付	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①雇用安定対策事業【重】 ○若者のUIターン就職支援 ・地元企業ガイダンス開催 ・地元企業ガイダンス事業（企業紹介ガイドブック作成）【新】 ・就職に関するアンケート調査【新】 ○各種奨励金の交付 ・UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、障がい者雇用奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金、定住新卒就職者奨励金 ○技能労働者の育成支援 ・館林地区職業訓練運営会への補助金交付	①雇用安定対策事業【重】 ○若者のUIターン就職支援 ・地元企業ガイダンス開催 ・地元企業ガイダンス事業（企業紹介ガイドブック作成） ・就職に関するアンケート調査 ○各種奨励金の交付 ・UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、障がい者雇用奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金、定住新卒就職者奨励金 ○技能労働者の育成支援 ・館林地区職業訓練運営会への補助金交付	①雇用安定対策事業【重】 ○若者のUIターン就職支援 ・地元企業ガイダンス開催 ・地元企業ガイダンス事業（企業紹介ガイドブック作成） ・就職に関するアンケート調査 ○各種奨励金の交付 ・UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、障がい者雇用奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金、定住新卒就職者奨励金 ○技能労働者の育成支援 ・館林地区職業訓練運営会への補助金交付
	事業費	17,933	17,933	17,933
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
財源	その他	3,000	0	0
	一般財源	14,933	17,933	17,933

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	企業ガイダンス参加者数【総合戦略KPIを兼ねる】	507	目標値	500	1,000	1,500	2,000	2,500
		単位：人	実績値	300	609	758	1,088	
総合計画指標	UIターン支援奨励金の受給労働者数【総合戦略KPIを兼ねる】	46	目標値	40	80	120	160	200
		単位：人	実績値	38	71	104	134	
活動指標	職業訓練校入校者数	1	目標値	1	1	1	1	1
		単位：人	実績値	5	3	4	4	
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	17,933 千円	令和6年度決算額	13,178 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○若者のUIターン就職支援 地元企業ガイダンスの開催、地元企業情報の発信等 ○各種奨励金の交付 ・トライアル雇用奨励金 R4年度廃止 ・障がい者雇用奨励金 R6年度0社0人、R5年度0社0人、R4年度0社0人 ・高齢者雇用奨励金 R6年度5社5人、R5年度3社4人、R4年度1社1人 ・UIターン支援奨励金 R6年度7社30人、R5年度10社33人、R4年度11社33人 ・正規雇用促進奨励金 R6年度8社8人、R5年度4社5人、R4年度4社5人 ・移住定住促進通勤支援金 R6年度24人（延べ）、R5年度27人、R4年度23人 ・定住新卒就職者奨励金 R6年度7社23人、R5年度4社10人、R4年度5社12人 ○技能労働者の育成支援 館林地区職業訓練運営会への補助			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・UIターン支援奨励金、移住定住促進通勤支援金、定住新卒就職者奨励金等、各種奨励金により若者の地元企業 への就職を促進している。 ・企業ガイダンスは対面方式に切り替え着実と実績を増やしている。 ・各種奨励金については、制度の周知が図れているため利用者が横ばいで推移している。				
課題	・障がい者雇用は、国の助成金制度が設けられているため、市単の補助による効果は薄く、事業者側の採用人数 も伸びていない（廃止を検討）。 ・UIターン支援奨励金は、企画課で取り扱う移住定住支援策とのパッケージにより効果を発揮する。 ・移住定住促進通勤支援金は雇用施策ではないため、定住促進通学支援金と併せて企画課で取り扱うべきであ る。 ・館林地区職業訓練校の利用施設が老朽化しており、移転が必要である。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止） ・地元（地域の）の高等学校やハローワーク館林、館林商工会議所と連携して、若者の地元企業への就職を支援 する。 ・企業ガイダンスやR6年度に作成した地元企業紹介ガイドブックにより、若者の地元企業への雇用機会の充実を 図る。 ・UIターン支援奨励金や定住新卒就職者奨励金に奨学金返還支援として加算金を追加することにより、若者の地 元企業への雇用機会の充実を図る。 ・各種奨励金の見直しを行い、労働環境の改善、雇用安定の推進を図る。 ・技能労働者の育成支援として、館林地区職業訓練運営会へ運営費の補助を継続する。 ・館林地区職業訓練運営会のあり方（場所の移転、廃止又は統合）を検討する。				
令和8年度 事業計画	・若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、学生と企業のマッチング） ・各種奨励金の交付（障がい者雇用奨励金、高齢者雇用奨励金、UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、移 住定住促進通勤支援金、定住新卒就職者奨励金） ・技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への運営費補助）				
予算規模 見込み	■ 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	222	重要事業		総合戦略		担当部署	商工課	工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
5・1・1	就労支援事業				2,843 千円	2,974 千円	3,301 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶19_生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる
施策の方向	▶3_ワーク・ライフ・バランスの趣旨普及と取組促進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	就職困難者（子育て等での離職後に再就職を希望する女性、就職できない若者、障がいを持つ方、高齢者等）の就労を支援することにより、潜在労働力の確保と雇用の拡大を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○就労支援各種講座等の開催 ・就職困難者及び勤労者向け講座（仕事スキルアップ） ・事業者向け講座（労働環境整備への意識向上） ・就労相談 【館林市就労支援事業業務委託】 受託者：NPO法人キッズバレイ 講座：年間9回（一般向け7回、企業向け2回） 相談：年間7回（一般向け講座と同時開催） ○就職面接会の開催（ハローワーク館林との共催事業） ・就職困難者向け就職面接会 ○各種支援情報の提供（県の労働相談やメンタルヘルス相談、国の出張サポートステーション等） ・市広報及び市公式HPへの情報掲載	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		○就労支援各種講座等の開催 ・就職困難者及び勤労者向け講座 ・事業者向け講座 ・就労相談 ○就職面接会の開催（ハローワーク館林との共催事業） ・就職困難者向け就職面接会 ○各種支援情報の提供 ・市広報及び市公式HPへの情報掲載	○就労支援各種講座等の開催 ・就職困難者及び勤労者向け講座 ・事業者向け講座 ・就労相談 ○就職面接会の開催（ハローワーク館林との共催事業） ・就職困難者向け就職面接会 ○各種支援情報の提供 ・市広報及び市公式HPへの情報掲載	○就労支援各種講座等の開催 ・就職困難者及び勤労者向け講座 ・事業者向け講座 ・就労相談 ○就職面接会の開催（ハローワーク館林との共催事業） ・就職困難者向け就職面接会 ○各種支援情報の提供 ・市広報及び市公式HPへの情報掲載
事業費		3,301	3,301	3,301
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	12	0	0
	一般財源	3,289	3,301	3,301

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	就職率	7.6	目標値	8	8	8.5	8.5	9
		単位：%	実績値	4.7	5.1	4.5	-	
活動指標	就職面接会の開催数	5	目標値	5	5	5	5	5
		単位：回	実績値	3	3	1	2	
活動指標	障がい者雇用推進研修会等の参加事業所数	27	目標値	30	30	30	30	30
		単位：社	実績値	2	22	15	22	
活動指標	女性就職講座・セミナーの開催数	2	目標値	3	3	3	3	3
		単位：回	実績値	9	4	1	0	

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	3,301千円	令和6年度決算額	3,080千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>・就労支援各種講座(過去事業①②③をR3年度に統合再編) 就職困難者・勤労者向け講座(仕事スキルアップ) R6年度:7回92人、R5年度:8回54人、R4年度:10回42人 就労相談(仕事に関する悩み相談) R6年度:4回5人、R5年度:4回4人、R4年度:5回7人 事業者向け講座(労働環境整備への意識向上) R6年度:2回31人、R5年度:2回20人、R4年度:2回22人</p> <p>・就職面接会の開催(ハローワーク館林との共催事業) 中高年齢者対象:面接件数(R4年度:92件、R3年度:56件) 子育て女性対象:面接件数(R4年度:22件、R3年度:17件) 障がい者対象:面接件数(R6年度:127件、R4年度:39件、R3年度:38件) R6年度:事業所見学ツアーを実施:面接件数10件 R5年度:両立支援(子育て・介護)面接会を実施:面接件数32件</p> <p>・各種支援情報の提供(県の労働相談やメンタルヘルス相談、国の出張サポートステーション等) 【参考:過去事業】 ①障がい者雇用推進 ②仕事のお悩み相談 ③女性の就労支援(スモールアクションプログラム、ジョブカフェマザーズ) ④求職者就業相談(R3年度以降廃止)</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・就職困難者を対象にした就労支援講座を7回、事業者向け講座を2回開催し、123名の受講があり、概ね好評をいただいた。 ・仕事に関する悩み相談については5名の利用があった。 ・市民がスキルアップできる場を安定して提供していくことで、就労の促進につながった。 ・講座内容も充実してきており、少しずつではあるが利用者の受講も増えてきた。					
課題	・就職困難者が就労できない理由として、企業サイドが求めるスキルとのギャップがある。 ・生産年齢人口の減少や就労後の早期離職により市内事業者は慢性的な人材不足に陥っている。 ・事業者側としては、単独では必要な対策を講じるのは難しく、受入体制や労働環境の整備、人材育成への対応が不足している。 働く意欲のあるかたがその能力や適性に応じて働けるように、今後も、労働者及び事業者双方への支援が必要。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・就職困難者については、就労支援各種講座及び仕事に関する悩み相談を継続し、就労に必要なスキルの獲得、仕事に関する悩みの解消、ハローワークとの共催事業である就職面接会等、段階を追って一体的に支援を実施していく。 ・勤労者が抱える労使間トラブル等に関しては、国や県の支援情報を提供するとともに、相談窓口の活用を斡旋する。					
令和8年度 事業計画	・就労支援各種講座（就職困難者・勤労者向け：仕事スキルアップ、事業者向け：労働環境整備への意識向上）及び就労相談の開催 ・就職面接会の開催（ハローワーク館林との共催事業） ・各種支援情報の提供（県の労働相談やメンタルヘルス相談、国の出張サポートステーション等）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	223	重要事業	○	総合戦略		担当部署	商工課	工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
5・1・1	勤労者金融対策				11,848 千円	10,725 千円	9,705 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶19_生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる
施策の方向	▶4_勤労者向け融資制度の維持

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅取得や生活に必要な資金を融資することにより、勤労者の福祉の向上と生活の安定を図る。</li> <li>・取扱金融機関に対し融資残額の一定割合を預託することで、融資実行率の向上を図る。</li> </ul>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○勤労者金融対策【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・融資実績に応じた金融機関への資金預託</li> <li>・勤労者向けの住宅資金及び生活資金融資の斡旋</li> </ul> 【勤労者住宅資金】           融資限度額1,000万円、融資年利2.3%、融資期間20年以内、預託率3/10 [令和6年度予算] 継続融資：5件 2,205,000円 新規融資：2件 6,000,000円 【勤労者生活資金】           融資限度額 200万円、融資年利2.1%（使途が教育・育児・介護の場合は1.9%）、融資期間5年以内、預託率1/4 [令和6年度予算] 継続融資：0件 0円 新規融資：3件 1,500,000円	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		○勤労者金融対策【重】 ・融資実績に応じた金融機関への資金預託 ・勤労者向けの住宅資金及び生活資金融資の斡旋	○勤労者金融対策【重】 ・融資実績に応じた金融機関への資金預託 ・勤労者向けの住宅資金及び生活資金融資の斡旋	○勤労者金融対策【重】 ・融資実績に応じた金融機関への資金預託 ・勤労者向けの住宅資金及び生活資金融資の斡旋
事業費		9,705	9,705	9,705
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	9,705	9,705	9,705
	一般財源	0	0	0

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	新規融資件数	0	目標値	1	1	1	1	1
		単位：件	実績値	0	0	0	0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	9,705 千円	令和6年度決算額	2,257 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・勤労者住宅資金融資 新規融資：R6年度0件(継続預託5件)、R5年度0件(継続預託6件)、R4年度0件(継続預託8件) ・勤労者生活資金融資 新規融資：R6年度0件(継続預託0件)、R5年度0件(継続預託0件)、R4年度0件(継続預託1件)			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	民間金融機関の金融商品の充実により、勤労者住宅資金は平成19年から、勤労者生活資金は平成29年から新規利用の実績がない。				
課題	本制度よりも民間金融機関の利率が低利であることや、国や県の融資制度及び民間金融機関の金融商品が充実しているため利用がない。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   ( <input type="checkbox"/> 一部廃止)				
	緊急時のセーフティネットとしての役割は薄れていると思われるため、現在の利用実績に応じた預託金は継続しつつ、事業の見直しを検討する。				
令和8年度 事業計画	融資実績に応じた金融機関への資金預託				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	224	重要事業		総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係 農業委員会事務局 農地係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
6・1・2	農業総務			7,848 千円	9,596 千円	11,001千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木に接する機会が少なくなった子供達に、親子が協力して物を作り上げる喜びを体験してもらうことで木（木材）に親しんでもらうことを目的とする。</li> <li>・内水面漁業振興の一環として市内3漁業組合に、魚族資源枯渇の防止やレクリエーション釣り場の活性化を図るため、稚魚（鮒・鰻）、魚卵等の購入、放流に対する事業費等の一部補助を目的として漁業協同組合稚魚等放流事業を行う。</li> <li>・市民が健全な余暇を有効活用し、野菜の栽培を通じ家族ぐるみで土に親しみ、健康増進と豊かな情操を培うとともに市民の福祉の向上を図る目的として市民農園を設置し、管理運営する。</li> </ul>
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①農業総務
○渡良瀬川鉍毒根絶期成同盟会等負担金 渡良瀬川による鉍毒の根絶を期し、沿岸耕土の改良を推進し、農業生産力の増強に資する。
○木とのふれあい事業補助金 木に親しんでもらうため、産業祭等のイベントにおいて親と子の木工広場の開催を支援する。
○漁業協同組合稚魚等放流事業費補助金 内水面漁業の振興の一環として稚魚（鮒・鰻）、魚卵等の購入、放流に対する事業費等の一部を助成する。
○収入保険加入促進助成金 災害や農産物価格の下落等のリスクに備え加入する収入保険の保険料の一部を助成する。
○市民農園管理運営事業 3農園（あさひ、なるしま、みその）における利用申込受付、利用料徴収、除草等維持管理等の管理運営を行う。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	11,001	11,001	11,001
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	231	231	231
財源		一般財源	10,770	10,770

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	63	62	65	64.7	
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554	491	526	592	
活動指標	市民農園利用率	76.35	目標値	80	100	100	100	100
		単位：%	実績値	61.25	96.66	100	100	
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	12,415千円	令和6年度決算額	11,559千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■渡良瀬川鉾毒根絶期成同盟会等負担金 令和4年度：89,000円、令和5年度：89,000円、令和6年度：89,000円</p> <p>■木とのふれあい事業補助金 親と子の木工広場 令和4年度（R4.11.20）：大人87 子供88 計175 令和5年度（R5.11.19）：大人95 子供98 計193 令和6年度（R6.11.17）：大人90 子供95 計185</p> <p>■漁業協同組合稚魚等放流事業費補助金 稚魚等放流事業 令和4年度（鮎2,150kg、鰻20kg、魚卵500万粒、淡水魚5kg）、令和5年度（鮎1,850kg、鰻25kg、魚卵400万粒、淡水魚10kg）、令和6年度（鮎1,950kg、鰻20kg、魚卵500万粒、淡水魚20kg）、</p> <p>■収入保険加入促進助成金 令和4年度：9人（新規9人、既加入0人）、令和5年度：10人（新規10人、既加入0人）、 令和6年度：4人（新規4人、既加入0人）</p> <p>■施設園芸農家支援給付金（令和4年度） 対象者：241人</p> <p>■農業災害見舞金（令和4年度） 対象者：170件</p> <p>■市民農園管理運営 設置場所：3農園90区画（あさひ・42、なるしま・27、みその・21） 利用料：2,000円／区画（年間） 利用者：令和3年度末にサラリーマン菜園（7か所240区画）を再編成し、令和4年度より市民農園として3農園90区画で管理運営。令和4年度：87人、令和5年度：90人 令和6年度：90人</p>		

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・木とのふれあい事業は、子供達に木に慣れ親しんでもらえる貴重な体験を提供できる場であり、林業振興の一環として今後も事業を継続していきたい。 ・稚魚等放流事業は内水面の生態系を保全する一助となることから、不可欠な取組みである。 ・市民農園は、土地所有者と土地使用貸借契約（あさひ・みその：令和4年4月1日～令和9年3月31日、なるしま：令和6年4月1日～令和9年3月31日）を締結し、土地を借り受けて実施。					
課題	・収入保険の加入促進については、一定の効果があつたが、農業は災害の影響が大きいため、継続期間について検討する必要がある。 ・きちんと管理している方がほとんどだが、一部で区画外、通路部分にまで作付けされている方や、通路部分の土を自分の区画に持って行くなど、運営上のマナーが問題となっている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・各団体等を通して事業継続のための必要な支援を実施していく。 ・市民農園管理運営を行う。 3農園（あさひ、なるしま、みその）における利用意向調査、利用申込受付、利用料徴収、除草等維持管理					
令和8年度 事業計画	○渡良瀬川鉾毒根絶期成同盟会等負担金 ○木とのふれあい事業補助金 ○漁業協同組合稚魚等放流事業費補助金 ○収入保険加入促進助成金 ○市民農園管理運営 3農園（あさひ、なるしま、みその）における利用意向調査、利用申込受付、利用料徴収、除草等維持管理					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	225	重要事業		総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係	
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）		当初予算額（R6）
6・1・3	農業振興対策事業			5,126千円		4,402千円		4,112千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	有害鳥獣対策事業、園芸用廃ビニール再生処理事業、耕作放棄地再生・解消事業等の農業環境の整備を行うことにより、農家が安心して農業に従事し、農産物を安定して提供できるまちを目指す。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①農業振興対策事業【重要事業】
- 有害鳥獣捕獲委託  
農作物の被害を未然に防ぐために捕獲の要請があった地区において、館林猟友会に銃器による鳥類の捕獲を委託する。
  - 農用地利用計画図更新等業務委託  
農業振興地域整備計画に記載した農用地区域内農地の利用状況及び市内荒廃農地の発生・解消状況の図面を整備する。
  - 園芸用廃ビニール再生処理費補助金  
廃ビニールや廃プラスチック等の農業用廃資材の適正処理を推進する。
  - 農業施設災害復旧費補助金  
農業災害が発生した場合、被害を受けた農業者等に対して生産力の維持と経営安定に必要な助成措置を講じる。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	①農業振興対策 ○有害鳥獣捕獲委託 ○農用地利用計画図更新等業務委託 ○園芸用廃ビニール再生処理費補助金 ○農業施設災害復旧費補助金		①農業振興対策 ○有害鳥獣捕獲委託 ○農用地利用計画図更新等業務委託 ○園芸用廃ビニール再生処理費補助金 ○農業施設災害復旧費補助金	①農業振興対策 ○有害鳥獣捕獲委託 ○農用地利用計画図更新等業務委託 ○園芸用廃ビニール再生処理費補助金 ○農業施設災害復旧費補助金
	事業費	4,112	4,112	4,112
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	246	246	246
	市債	0	0	0
	その他	3	3	3
	一般財源	3,863	3,863	3,863

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	63	62	65	64.7	
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554	491	526	592	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	4,112 千円	令和6年度決算額	1,745 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>■有害鳥獣捕獲委託</b> 捕獲実績：令和4年度（鳥類329、獣類一）、令和5年度（鳥類299、獣類10）、令和6年度（鳥類 267 、獣類 3 ） <b>■農用地利用計画図更新等業務委託</b> 令和4年度 更新筆数：農用地237筆、放棄地81筆 令和5年度 デジタル地図作成 令和6年度 デジタル地図更新（青地除外及び編入、修正分） <b>■園芸用廃ビニール再生処理費補助金</b> 廃ビニール回収実績 令和4年度：12,620kg、令和5年度：10,138kg、令和6年度：10,751kg 廃ポリ回収実績 令和4年度：57,342kg、令和5年度：58,316kg、令和6年度：58,343kg <b>■農業施設災害復旧費補助金（次期作支援）</b> 令和4年度 対象者：51名 交付額：2,133,942円 <b>■被災農業者復旧支援事業補助金</b> 令和4年度 対象者：30名 交付額：31,496,000円 令和5年度（繰越分） 対象者：3名 交付額：3,996,000円			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・施設園芸と米麦の複合経営を行う農家が多いため、廃資材処理量は依然として高水準になることが見込まれ、適正な処分が必要となっている。 ・鳥獣類による農作物被害は増加傾向にあり、農業環境を整備するためには不可欠な取り組みである。					
課題	・有害鳥獣による農作物への被害件数は年々増加しており、対策強化が必要。 ・廃ビニールの再生処理費用が値上がりしており、農家及び関係機関の負担が増えている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・有害鳥獣対策については、引続き猟友会と連携を図り、対策を強化していく。 ・廃ビニールの再生処理費用については、農業者及び関係機関の負担割合が適切となるよう連携を図る。					
令和8年度 事業計画	<input type="checkbox"/> 有害鳥獣捕獲委託 <input type="checkbox"/> 農用地利用計画図更新等業務委託 <input type="checkbox"/> 園芸用廃ビニール再生処理費補助金 <input type="checkbox"/> 農業施設災害復旧費補助金 <input type="checkbox"/> 新規作物導入支援事業費補助金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	226	重要事業		総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
6・1・3	経営所得安定対策事業				28,399千円	28,187千円	28,312 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業経営の安定と国内競争力の確保や戦略作物への作付転換を促し、食糧自給率向上を目指すとともに、農業の規模拡大や農用地の集団化と効率化を図り、農業の生産性向上とコスト削減による競争力強化を図る。
----------------	--

### 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①経営所得安定対策事業  
 経営所得安定対策等直接支払交付金等の交付や加工用米出荷助成により、農家の所得安定を図る。  
 ○農業再生協議会運営費負担金  
 ○経営所得安定対策等推進事業費補助金
- ②地域計画策定推進緊急対策援事業  
 高齢化・人口減少が本格化し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農業者等による協議（話し合い）を踏まえ、地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化した地域計画の策定に必要な取組を支援するもの

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①経営所得安定対策事業 ○農業再生協議会運営費負担金 ○経営所得安定対策等推進事業費補助金 ②地域計画策定推進緊急対策援事業	①経営所得安定対策事業 ○農業再生協議会運営費負担金 ○経営所得安定対策等推進事業費補助金 ②地域計画策定推進緊急対策援事業	①経営所得安定対策事業 ○農業再生協議会運営費負担金 ○経営所得安定対策等推進事業費補助金 ②地域計画策定推進緊急対策援事業
	事業費	28,312	26,000	26,000
	国庫	0	0	0
	県費	8,541	7,475	7,475
	市債	0	0	0
財源	その他	0	0	0
	一般財源	19,771	18,525	18,525

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	63	62	65	64.7	
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554	491	526	592	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	28,312 千円	令和6年度決算額	23,595 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■ 経営所得安定対策事業 加工用米出荷助成金対象俵数 令和4年度：45,946.5俵、令和5年度：43,964.5俵、令和6年度：39,254.5俵 転作率（転作作物作付面積/総水田予想面積） 令和4年度：53.5%、令和5年度：52.8%、令和6年度：49.8%</p> <p>■ 地域計画策定推進緊急対策事業 令和6年度までに策定された地域計画 7地区（郷谷地区、大島地区、赤羽地区、六郷地区、三野谷地区、多々良地区、渡瀬地区）</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	県農業再生協議会から示された「米の生産目安」を基とし、米の需要に応じた生産が実行できた。					
課題	経営所得安定対策事業は国の事業であるが、国の米政策の見直しが検討されているため、積極的に情報収集を行い、適正な事務処理を行う必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・引き続き米の需要に応じた農家の取組を支援し、経営所得の安定を図る。 ・農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより遊休農地の増加が予想されることから、効率的な農地利用を地域と話し合いながら、策定した地域計画をブラッシュアップし、農地の集約化を進める。					
令和8年度 事業計画	○経営所得安定対策事業 ○地域計画の実行					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	227	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
6・1・3	担い手育成支援事業			20,541千円	7,688千円	19,657 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農産物を安定して供給するまちにするために、認定農業者を始めとするこれからの地域農業の担い手となる農家に、経営改善に役立つ補助事業の実施や情報提供等の支援を行い、意欲のある農業者を育てる。
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①担い手育成支援事業【重要事業】
- 園芸産地育成事業費補助金
    - ・担い手確保・経営強化支援事業  
経営構造の転換・経営発展を図ろうとする認定農業者等に対し、機械導入等に対する支援をする。
    - ・農業経営力向上事業  
本県農業の将来を担う力強い経営体育成を目的に、機械の導入・施設等の整備を支援する。
    - ・園芸施設支援事業補助金  
耐用年数5年以上のハウス被覆材の整備に要する経費について、その経費の一部を補助する。
  - 農業用機械導入支援事業費補助金  
高性能の大型機械を導入し、農作業の省力化・効率化等に取り組む農業者に対し、その導入経費の一部を補助する。
  - 農業団体協議会等負担金・補助金  
農業研究会連絡協議会活動促進費補助金、認定農業者協議会補助金、邑楽館林農業協同組合青年部館林明和支部活動負担金、生命を育む農業のまち邑楽館林推進協議会負担金
- ②農業制度資金事業
- 農業近代化資金利子補給金

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	19,657	8,600	8,600
	国庫	0	0	0
	県費	10,973	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
財源		一般財源 8,684	8,600	8,600

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	63	62	65	64.7	
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554	491	526	592	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	8,961 千円	令和6年度決算額	8,925 千円	
<b>【Do】</b> <b>事業実績</b> <b>(成果)</b> <b>※過去3カ</b> <b>年</b>	<b>■担い手支援事業【重要事業】</b> <b>○園芸産地育成事業費補助金</b> ハウス新設補助（県補助） 令和4年度：1件 1,368㎡ 空きハウス再整備補助（市補助） 令和4年度：1件 1,557㎡、令和5年度：1件 1,580㎡、令和6年度：3件 3,719㎡ ハウス被覆資材張替補助（市補助） 令和4年度：2件 3,186㎡、令和5年度：4件 5,388㎡、令和6年度：4件 4,779㎡ <b>農業経営力向上事業補助金（県単）</b> 令和6年度：1件（ネギの皮むき機、コンプレッサー） <b>新技術導入事業費補助金（市補助）</b> ※令和4年度はスマート農業推進プロジェクト事業で対応 令和5年度：2件（炭酸ガス発生1、環境測定器1）、令和6年度（加温機、環境測定器、天窓自動換気） <b>○農業用機械導入支援事業費補助金</b> <b>農業機械補助（県補助）</b> 令和4年度：1件（シーダー用ロータリー） <b>農業機械補助（市補助金）</b> 令和4年度：2件（コンバイン1、田植機1）、令和5年度：2件（コンバイン1、田植機1）、令和6年度：3件（コンバイン1、田植機2） <b>■農業制度資金事業</b> <b>○農業近代化資金利子補給金</b> 新規受付 令和4年度：8件、令和5年度：8件、令和6年度：10件			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	認定農業者等が経営改善を図るため、農地の集積と大型機械等の導入が必要不可欠で、年々補助事業や利子補給の要望が増加している。また、現在の不安定な農業情勢を踏まえると、更なる経営基盤強化策が必要になる。				
課題	・農業用生産資材・機械価格が高騰しており、農家経営を圧迫している。 ・市内の中心経営体は大規模な個人経営が殆どであり、法人化が進んでいない。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	・資材高騰など情勢が不安定な中、営農意欲のある農業者に対し、農業用施設や機械等の導入支援を行う。 ・法人化を促進し、営農の合理性を高め、生産力を向上させ、本市の農業生産力の維持・向上を目指す。				
令和8年度 事業計画	○園芸産地育成事業費補助金 ○新技術導入事業費補助金 ○農業用機械導入支援事業費補助金 ○農業団体協議会等負担金・補助金 ○農業近代化資金利子補給金				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	228	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
6・1・3	新規就農支援事業			10,017千円	5,817千円	5,867 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業に興味のある者、これから農業を始めようとする者に、実践的な農業の体験等様々な情報を提供し、農業に対する興味を高め、農業を生業として選択できる環境及び条件整備を図る。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①新規就農支援事業【重要事業】	
○邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金 邑楽館林管内1市5町と邑楽館林農業協同組合で構成する「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」を設置し、新規就農を目指す者を関係機関が連携して支援するもの。	
○新規就農者営農支援補助金 農業後継者及び担い手の確保、育成を図るため、新規就農者等の営農に要する経費に対し、その一部を補助する。	
○新規就農者研修支援補助金 新規就農を目指す者の研修を支援することで、就農に対する意欲の向上、新規就農者の掘り起こし及び獲得の推進を図る。	
○農業次世代人材投資事業費補助金 準備型：都道府県が認める農業大学校等の研修機関で研修を受けた者に対し、交付主体（県又は青年農業者等育成センター）が資金を交付して研修実施を支援するもの。／経営開始型：独立自営で新規就農した者に対し、経営が安定するまでの一定の期間、資金を交付するもの。	
○新規就農者育成総合対策事業費補助金 農業への人材の一層呼び込みと定着を図るため、国と地方が連携して資金面への支援及び経営発展のための機械・施設等の導入を支援する。	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	①新規就農支援事業【重】 ○邑楽館林施設園芸等担い手 受入協議会負担金 ○新規就農者営農支援補助金 ○新規就農者研修支援補助金 ○農業次世代人材投資事業費補助金 ○新規就農者育成総合対策事業費 補助金		①新規就農支援事業【重】 ○邑楽館林施設園芸等担い手 受入協議会負担金 ○新規就農者営農支援補助金 ○新規就農者研修支援補助金 ○農業次世代人材投資事業費補助金 ○新規就農者育成総合対策事業費補 助金	①新規就農支援事業【重】 ○邑楽館林施設園芸等担い手 受入協議会負担金 ○新規就農者営農支援補助金 ○新規就農者研修支援補助金 ○新規就農者育成総合対策事業費補 助金
	事業費	5,867	5,900	5,900
	国庫	0	0	0
	県費	4,350	4,500	4,500
	市債	0	0	0
財源	その他	0	0	0
	一般財源	1,517	1,400	1,400

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指 標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	63	62	65	64.7	
総合計画指 標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554	491	526	592	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	3,967 千円	令和6年度決算額	3,967 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>■新規就農支援事業【重要事業】</b> ○邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会 令和4年度：相談会3回、現地説明会1回 令和5年度：相談会3回、現地説明会1回、意見交換会1回、農業体験1回 令和6年度：相談会3回、現地説明会1回、意見交換会1回 ○新規就農者営農支援補助金（市補助） 令和4年度：2名、令和5年度：4名、令和6年度：4名 ○新規就農者研修支援補助金（市補助） 令和4年度：1名 ○農業次世代人材投資事業補助金（国庫） 令和4年度：1名、令和5年度：1名、令和6年度：1名 ○新規就農者育成総合対策事業費補助金（国庫） 経営開始資金 令和4年度：2名、令和5年度：2名、令和6年度：1名 初期投資促進事業 令和4年度：1名			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低           目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低           成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低           費用対効果が低水準にある
評価根拠	若者の就職の選択肢になる「職業としての農業」の確立と、農業を守る担い手を確保するため、継続的な新規就農への支援が必要。支援事業の該当者も増えており、効果が表れている。				
課題	農業を始めるには、農地や機械、住居を取得するための資金や作物を生産するための経験と時間が必要であり、経営が安定するまでの収入確保が難しい。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」を中心に関係機関と連携し、新規就農を目指す者を支援する。				
令和8年度 事業計画	○邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金 ○新規就農者営農支援補助金 ○新規就農者研修支援補助金 ○新規就農者育成総合対策事業費補助金				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較				
備考					



## 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	229	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
6・1・3	スマート農業推進事業			1,958千円		1,258千円	1,047 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	スマート農業の推進を図るため、ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した先端技術の導入を支援し、作業の効率化、軽労働化、品質安定など魅力ある農業の推進を目指す。
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①スマート農業推進事業【重要事業】

## ○先端機器導入支援事業費補助金

農業の省力化及び効率化のためICTを活用して農業用機械を導入する担い手の農業者へ導入経費の一部を補助し、スマート農業の推進を図る。

## 【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業 スケジュール		①スマート農業推進事業【重】 ○先端機器導入支援事業費補助金	①スマート農業推進事業【重】 ○先端機器導入支援事業費補助金	①スマート農業推進事業【重】 ○先端機器導入支援事業費補助金
事業費		1, 047	1, 047	1, 047
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1, 047	1, 047	1, 047

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	63	62	65	64.7	
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554	491	526	592	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	1,047 千円	令和6年度決算額	1,007 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>■スマート農業推進事業【重要事業】</b> ○ICT機器導入支援事業費補助金 令和4年度：6件（アシストスーツ1件、車速連動装置等1件、環境制御装置等4件） ○先端機器導入支援事業費補助金 令和5年度：6件（自動操舵システム1件、車速連動装置等1件、環境測定器等2件、換気自動システム1件） 令和6年度：6件（ブロードキャスター 1件、直進アシスト機能付田植機 1件、直進アシスト機能付トラクター 2件）			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	農作業の効率化・省力化とともに、技術の短期取得や後継者へのノウハウの継承の推進を図るため、農作物の生産工程の可視化や継続的なデータ収集が必要となっている。					
課題	I C T機器等の先端機器は、改良のスピードが速く次々と新機種が販売され、導入コストもかかるため、積極的に導入する農業者が少ない。					
【Action】 今後の 方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	担い手不足の解消のためには、生産性向上につながるスマート機器の導入が必要不可欠であり、本市農業に適したI C T機器の導入して、農業のスマート化が進むよう支援していく。					
令和8年度 事業計画	○先端機器導入支援事業費補助金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	230	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
6・1・3	農商工連携推進事業			3,456千円		1,492千円	1,095 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業・商業・工業・観光関係者間での連携を構築・強化し、本市での地域農業と関連産業の活性化促進のための協議・研究を行い、地産地消と館林ブランド化の推進に向けた課題解決・方策等の検証を行う。
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①農商工連携推進事業【重要事業】  
 ○農産物ブランド化推進事業補助金  
 農商工連携によるブランド化に関連する作業に係る経費・機械又は設備等導入に係る経費等の補助をする。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①農商工連携推進事業【重】 ○農産物ブランド化推進事業補助金	①農商工連携推進事業【重】 ○農産物ブランド化推進事業補助金	①農商工連携推進事業【重】 ○農産物ブランド化推進事業補助金
	事業費	1,095	1,095	1,095
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,095	1,095	1,095

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	63	62	65	64.7	
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554	491	526	592	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	1,060 千円	令和6年度決算額	786 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>■農商工連携推進事業【重要事業】</b> <b>○農産物ブランド化推進事業費補助金</b> 令和4年度 雨よけハウス：1件、小型耕運機：1件、電気乾燥機：1件、百年小麦チラシ：1件 令和5年度 イチゴアイス作成委託：1件、6次産業加工品機器等：3件、PR用パンフレット等：1件 令和6年度 有機加工食品JAS認証の取得：1件、パッケージ委託：1件、商品デザイン委託：1件 <b>○資源循環型農業実証業務委託（令和4年度）</b> 農作物の残さやふん尿から、再生エネルギーを創設し、本市内で利活用するための実証実験を行う。 <b>○フードシェッドプロジェクト</b> 令和6年度までの活動実績（ミニマルシェ：6回、意見交換会：1回、個別意見交換：12団体、販売会：1回）			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	館林市の農産物の加工・商品化による、新たな地域ブランドの開発と消費拡大を図るため、引続き6次産業化の支援を行う。					
課題	生産部門である1次産業に注力する生産者が多く、農産物の付加価値を高める6次産業化が進んでいない。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	農作物の高付加価値化を更に進めるため、商業、工業、観光業などの他産業との連携を図る。					
令和8年度 事業計画	○農産物ブランド化推進事業費補助金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	231	重要事業	○	総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
6・1・4	畜産振興対策事業				5,448千円	5,448千円	5,447 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内酪農家をはじめとする畜産農家の支援を行う事により、飼料高騰、暑熱被害、素牛価格高騰の負担を軽減し、安定した畜産物を提供できるまちを目指す。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①畜産振興対策事業【重要事業】 ○優良雌牛導入費補助金 搾乳牛の導入・育成を補助することにより生乳の増産を図る。 ○飼料自給率向上対策事業費補助金 耕種農家を対象に、畜産農家との利用供給を目的とした飼料用イネを作付けした場合、その取り組み給与面積に応じて補助金を交付し、粗飼料の安定供給を図るもの。 ○畜産関連団体への補助金・負担金 農協肉牛部会枝肉共進会負担金、家畜伝染病予防対策事業費補助金、乳牛育成牧場管理運営費補助金、酪農振興協議会活動促進事業費補助金	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①畜産振興対策事業【重】 ○優良雌牛導入費補助金 ○飼料自給率向上対策事業費補助金 ○畜産関連団体への補助金・負担金	①畜産振興対策事業【重】 ○優良雌牛導入費補助金 ○飼料自給率向上対策事業費補助金 ○畜産関連団体への補助金・負担金	①畜産振興対策事業【重】 ○優良雌牛導入費補助金 ○飼料自給率向上対策事業費補助金 ○畜産関連団体への補助金・負担金
事業費		5,447	5,447	5,447
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,447	5,447	5,447

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	63	62	65	64.7	
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554	491	526	592	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	5,447 千円	令和6年度決算額	5,143 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>■ 畜産振興対策事業【重要事業】</b> ○優良雌牛導入実績 令和4年度：30頭、令和5年度：32頭、令和6年度：24頭 ○飼料自給率向上対策事業実績（耕畜連携事業対象圃場面積） 令和4年度：82,654㎡、令和5年度：82,743㎡、令和6年度：82,743㎡			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	資材等高騰し畜産農家の経営を圧迫している。地元企業への安定的な乳量の供給を行うには優良雌牛導入事業は不可欠である。 また、輸入作物の価格が高騰しているため、飼料用イネの作付面積を拡大し、畜産農家の経営強化だけでなく、環境に配慮した循環型農業の取り組みも必要。					
課題	畜産農家人口については、担い手がおらず廃業を予定している小規模農家が多いため減少傾向が進んでいる。また、資材や輸入飼料が高値で推移しているため、畜産経営を圧迫している。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	これからの畜産業を担う若手畜産農家に対して、効率的な経営に取組めるよう複合経営の支援を行う。					
令和8年度 事業計画	○優良雌牛導入費補助金 ○飼料自給率向上対策事業費補助金 ○乳牛育成牧場施設整備費補助金 ○畜産関連団体への補助金・負担金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和 6 年度事業】実施計画書

整理番号	232	重要事業		総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
6・1・4	環境保全型農業総合推進事業				900千円	950千円	950 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	環境との調和を図りながら、消費者のニーズに対応した安全で良質な農産物を生産する農業を推進する。
令和 6 年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①環境保全型農業総合推進事業 ○畜産ふん尿臭気等対策用消臭剤 地域と調和した畜産環境の維持を図るため、消臭剤を購入し市内畜産農家へ配布する。 ○畜産施設整備事業費補助金 家畜ふん尿処理施設の導入や修繕に対して補助を行うことで、畜産の環境整備を推進する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業 スケジュール		①環境保全型農業総合推進事業 ○消臭剤配布 ○畜産施設整備事業費補助金	①環境保全型農業総合推進事業 ○消臭剤配布 ○畜産施設整備事業費補助金	①環境保全型農業総合推進事業 ○消臭剤配布 ○畜産施設整備事業費補助金
	事業費	950	950	950
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	950	950	950

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	63	62	65	64.7	
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554	491	526	592	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	950 千円	令和6年度決算額	945 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>■環境保全型農業総合推進事業</b> <b>○畜産ふん尿臭気等対策用消臭剤</b> 令和4年度 敷料散布：95袋、悪臭対策資材：13袋、土壌改良資材：2箱 令和5年度 敷料散布：105袋、悪臭対策資材：55袋・2本、土壌改良資材：1箱 令和6年度 敷料散布：95袋、悪臭対策資材：55袋・2箱、土壌改良資材：2箱 <b>○畜産施設整備事業費補助金</b> 令和4年度 バンクリーナー修繕1件 令和5年度 乾燥施設修繕4件、バンクリーナー修繕1件、家畜糞尿処理機械修繕1件 令和6年度 スターマズプレッダー修繕2件、乾燥施設修繕1件、糞尿処理器修繕2件			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	本事業により、堆肥舎や乾燥施設の整備や修繕が行われた。今後もふん尿処理施設の維持により、悪臭の影響緩和対策を行う。				
課題	畜産経営において、ふん尿処理は重要な問題で、近隣住民に対する悪臭の影響緩和のためには、ふん尿処理施設の整備・補修や日常的な消臭努力が不可欠である。				
【Action】 今後の 方向性・ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )				
	堆肥舎等の整備促進により苦情低減の維持を図る。				
令和8年度 事業計画	○畜産施設整備事業費補助金				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	233	重要事業		総合戦略		担当部署	ほ場整備課	ほ場整備係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
6・1・5	土地改良事業				69,452千円	72,355千円	92,578千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	国営・県営事業により造成された施設の適正な維持管理のために組織された協議会等へ負担金の支出を行い、安定した地域用水の確保を図る。農道や水路等に対し、整備・改修・修繕を行うことにより、農業生産の確立とインフラの保全を図る。農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①土地改良事業	○渡良瀬川沿岸土地改良事業水利協議会等負担金 ・土地改良事業の円滑な実施や、造成された施設の適正な維持管理のために組織された協議会等の負担金。
○土地改良事業（市単独）	・農業や水路等の整備、改修、修繕を行うことにより、農業生産の確立とインフラの保全を図る。
○土地改良事業費補助金	・地域の農業生産基盤の整備を図るため、土地改良区及び管理団体等が行う小規模な土地改良事業に要する経費に対し補助する。
○農地区画拡大支援事業補助金【新規事業】	・田畑の区画拡大を図るため、畦畔除去工事を自力施工で行った場合、その経費に対して補助を行うもの。
○基幹水利施設管理事業	・国営事業で造成された施設（太田頭首工、邑楽頭首工、邑楽東部第1排水機場）の維持管理費。
○多面的機能支払交付金	・農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	92,578	92,578	92,578
	国庫	0	0	0
	県費	40,138	40,138	40,138
	市債	0	0	0
	その他	6	6	6
財源		52,434	52,434	52,434

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5	62.1	65.1	64.7	
活動指標	多面的機能支払交付金事業活動組織数	10	目標値	11	12	12	13	13
		単位：組織数	実績値	13	13	15	16	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	92,578 千円	令和6年度決算額	81,312 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>■ 渡良瀬川沿岸土地改良事業水利協議会等負担金</b> 令和4年度：5件 令和5年度：5件 令和6年度：5件 <b>■ 土地改良事業（市単独）</b> ・農道や用排水路等の維持管理 令和4年度：7件 令和5年度：8件 令和6年度：7件 <b>■ 土地改良事業費補助金</b> 令和4年度：1件 令和5年度：4件 令和6年度：6件 <b>■ 農地区画拡大支援事業補助金【新規事業】</b> 令和6年度：5名6件 <b>■ 基幹水利施設管理事業</b> 令和4年度：3件 令和5年度：3件 令和6年度：3件 <b>■ 多面的機能支払交付金</b> ・活動組織数 令和4年度：13組織 令和5年度：15組織 令和6年度：16組織			

## 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。 ・多面的機能支払交付金事業活動組織数は、年度目標を上回っている。達成要因は、農家へのPR活動によるところが大きい。				
課題	現在、市内の農道や水路等の農業施設は経年による老朽化が進み、多くの施設で更新の時期を迎えており、維持管理費用が増加傾向にあるため、多面的支払交付金のような国県の補助金を有効活用し、地域と共同して保全管理を推進することが重要となる。				
<b>【Action】</b> 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	安定した地域用水の確保及び農業生産の確立とインフラの保全、地域資源の適切な保全管理推進のため事業を継続する。				
令和8年度 事業計画	・渡良瀬川沿岸土地改良事業水利協議会等負担金 ・土地改良事業（市単独） ・土地改良事業費補助金 ・農地区画拡大支援事業補助金 ・基幹水利施設管理事業 ・多面的機能支払交付金				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	234	重要事業	○	総合戦略		担当部署	ほ場整備課	ほ場整備係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
6・1・5	小規模農村整備事業				9,933千円	10,769千円	12,988千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	営農環境を整えるため、県費補助事業により農道や水路等の整備を行い、生産効率の向上と農業競争力の強化を図る。
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### ①小規模農村整備事業【重要事業】

- 足次地区
  - ・農作業道整備 L=80m W=4.5m
- 堀工地区
  - ・農業用排水施設整備 L=10m UA600

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	12,988	10,000	10,000
	国庫	0	0	0
	県費	4,497	3,500	3,500
	市債	7,400	5,800	5,800
	その他	0	0	0
一般財源		1,091	700	700

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5	62.1	65.1	64.7	
総合計画指標	農用地利用集積面積	840	目標値	900	930	960	990	1,020
		単位：ha	実績値	925	862	876	886	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

## 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和 6 年度予算額	12,988 千円	令和 6 年度決算額	8,929 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3年	■小規模農村整備事業			
	・農道整備			
	令和 3 年度完成	内谷地区 (延長 L = 2 1 9 . 9 m 幅員 W = 4 . 8 m)		
	令和 5 年度完了	足次地区 (用地測量)		
	令和 6 年度完成	足次地区 (延長 L = 8 8 . 0 m 幅員 W = 4 . 0 m)		
	・農道舗装			
	令和 3 年度完成	谷田川北部 3 地区 (延長 L = 2 0 0 . 0 m 幅員 W = 5 . 0 m)		
	・水門整備			
	令和 4 年度完成	四ツ谷地区 (水門扉体交換 2 箇所)		
	・農業用排水施設整備			
令和 5 年度完成	早川田地区 (早川田遊水池排水ポンプ分解整備 2 基)			
令和 6 年度完成	堀工地区 (農業用排水施設整備 L=8 . 1 m U A 6 0 0)			

【事業の評価】

<b>【Check】 指標評価</b>	C
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高    政策の推進において不可欠な事業である    ■ 中    政策の推進に寄与している事業である    □ 低    目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高    成果が高水準にある    ■ 中    適切な成果が得られている    □ 低    成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高    費用対効果が高水準にある    ■ 中    適切な費用対効果が得られている    □ 低    費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。指標の達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが多い。
課題	補助対象基準が、下限2,000千円以上～上限30,000千円以下とされていることから、対象事業が限定されてしまう。
<b>【Action】 今後の方向性・内容</b>	■ 継続    □ 拡大    □ 改善    □ 代替    □ 統合    □ 縮小    □ 休止    □ 廃止    （□ 一部廃止）
	営農環境を整え、生産効率の向上と農業競争力の強化を図るため事業を継続する。
令和8年度 事業計画	・農業生産基盤保全整備（木戸地区 農作業道整備 L=250m W=5.0m） （細内地区 農作業道整備 L=197m W=5.0m）
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模    ■ 拡大    □ 縮小       ※前年度比較
備考	

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	235	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	ほ場整備課	ほ場整備係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）		当初予算額（R6）
6・1・5	ほ場整備事業			19,673千円		11,787千円		24,839千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ほ場整備を実施し、農地の大区画化による生産性の向上と農業構造の改善による近代化を進め、担い手への農地集積により、意欲ある経営体が活躍できる環境整備を推進し、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図る。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①ほ場整備事業【重要事業】
- 野辺地区
    - ・県営ほ場整備事業（工事）
    - ・土地改良区運営
  - 大島地区
    - ・県営計画調査（概算工事費算定、経済効果算定、計画概要書作成）

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	①ほ場整備事業【重】 ○野辺地区 ・県営ほ場整備事業 ・土地改良区運営 ○大島地区 ・県営計画調査 ・経営体育成促進換地等調整	①ほ場整備事業【重】 ○野辺地区 ・県営ほ場整備事業 ・土地改良区運営 ○大島地区 ・県営計画調査 ・地区界測量 ・経営体育成促進換地等調整 ・土地改良区設立申請等法手続	①ほ場整備事業【重】 ○野辺地区 ・県営ほ場整備事業 ・土地改良区運営 ○大島地区 ・県営ほ場整備事業 ・土地改良区運営 ○木戸地区 ・県営計画調査
	事業費	24,839	54,912	46,329
	国庫	0	0	0
	県費	2,371	1,400	
	市債	17,300	38,215	36,476
財源	その他	0	0	0
	一般財源	5,168	15,297	9,853

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5	62.1	65.1	64.7	
総合計画指標	農用地利用集積面積	840	目標値	900	930	960	990	1,020
		単位：ha	実績値	925	862	876	886	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	24,839 千円	令和6年度決算額	14,970 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>■ほ場整備事業</b> 令和4年度 県営計画調査（野辺地区、大島地区） 令和4年度 経営体育成促進換地等調整事業（野辺地区） 令和4年度 土地改良区設立申請等法手続き（野辺地区） 令和5年度 県営計画調査（大島地区） 令和5年度 環境調査（大島地区） 令和5年度 県営ほ場整備事業（野辺地区） 令和6年度 県営計画調査（大島地区） 令和6年度 県営ほ場整備事業（野辺地区）			

## 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	C				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。指標の達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが多い。				
課題	県営事業となるため、人員、予算等調整が必要となる。事業化後には法手続き、換地作業、土地改良区運営等の膨大な業務量に対し、迅速に処理する必要がある。				
<b>【Action】</b> 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	ほ場整備事業を契機とし、生産コストの低減を図る農地の大区画化、所得向上を目指した高収益作物への転換を可能とする水田の汎用化・畑地化を実施。また、担い手への農地集積を後押しし、担い手の経営体質強化を図り競争力を高め、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るため事業の早期完了を目指す。				
令和8年度 事業計画	・野辺地区 区画整理 ・大島地区 県営計画調査 ・木戸地区 地元調整				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	236	重要事業	○	総合戦略		担当部署	農業委員会事務局 農地係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
6・1・1	農業委員会運営				14,367千円	14,702千円	15,366千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・農地法その他法令に基づく許認可等業務のほか、担い手への農地等の利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の支援等、農地等の利用の最適化を推進する。 ・耕作放棄地再生・解消事業等の農業環境の整備を行うことにより、農家が安心して農業に従事し、農産物を安定して提供できるまちを目指す。 ・農業経営の安定と国内競争力の確保や戦略作物への作付転換を促し、食糧自給率向上を目指すとともに、農業の規模拡大や農用地の集団化と効率化を図り、農業の生産性向上とコスト削減による競争力強化を図る。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①農地利用最適化推進事業	・農用地利用集積事業 農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより遊休農地の増加が予想されることから、地域の農業事情に精通した農業委員、農地利用最適化推進委員の知識や人脈を活かし、国、県が推進する農地中間管理機構を活用しながら農地の利用集積、集約化を進める。 ・遊休農地の発生防止・解消事業 農業委員、農地利用最適化推進委員による農地パトロール及び農地利用状況調査を行うことにより遊休農地の状況を把握するとともに、遊休農地の所有者等に対して意向調査を実施し、所有者の意向に沿って農地中間管理機構の活用や担い手への集積を推進することによって遊休農地の解消に努める。 ・耕作放棄地再生事業費補助【重要事業】 農業者の高齢化や後継者不足等により耕作放棄地は年々増加傾向にあるため、耕作放棄地解消に係る費用の一部を補助することで、生産者の経済的負担を軽減し、耕作放棄地の解消及び発生を防止を推進する。 ・農地中間管理事業 農地借受の希望者を公募し、貸付相手を選定し農地を貸付けすることで、農地の有効利用や農業経営の効率化を図る。
②農業委員会業務	・農業委員会交付金 ・農地利用最適化交付金 ・農業委員会事務処理委託金 ・農地中間管理事業業務委託金

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	①農地利用最適化推進事業	・農用地利用集積事業 ・遊休農地の発生防止・解消事業 ・耕作放棄地再生事業費補助【重】 ・農地中間管理事業	・農地利用最適化推進事業 ・農用地利用集積事業 ・遊休農地の発生防止・解消事業 ・耕作放棄地再生事業費補助【重】 ・農地中間管理事業	・農地利用最適化推進事業 ・農用地利用集積事業 ・遊休農地の発生防止・解消事業 ・耕作放棄地再生事業費補助【重】 ・農地中間管理事業
	②農業委員会業務	・農業委員会交付金 ・農地利用最適化交付金 ・農業委員会事務処理委託金 ・農地中間管理事業業務委託金	・農業委員会業務 ・農業委員会交付金 ・農地利用最適化交付金 ・農業委員会事務処理委託金 ・農地中間管理事業業務委託金	・農業委員会業務 ・農業委員会交付金 ・農地利用最適化交付金 ・農業委員会事務処理委託金 ・農地中間管理事業業務委託金
事業費		15,366	15,366	15,366
財源	国庫	0	0	0
	県費	7,303	7,303	7,303
	市債	0	0	0
	その他	2,196	2,169	2,169
	一般財源	5,867	5,894	5,894

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	農用地利用集積面積	840	目標値	900	930	960	990	1,020
		単位：ha	実績値	873	862	876	885	
総合計画指標	遊休農地面積	35	目標値	29	26	23	20	17
		単位：ha	実績値	40	42	42	45	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	15,687千円	令和6年度決算額	15,284千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■担い手への農用地利用集積面積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の面積 885ha (令和4年度:862ha、令和5年度:876ha、令和6年度:885ha)</li> </ul> <p>■遊休農地面積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の面積 45.1ha (令和4年度:42ha、令和5年度:42ha、令和6年度:45ha)</li> </ul> <p>■耕作放棄地再生事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の解消面積 7,608㎡ 補助金額 474,100円 (令和4年度:解消面積9,773㎡・補助金額500,000円、令和5年度:解消面積8,510㎡・補助金額500,000円、令和6年度:解消面積7,608㎡・補助金額474,100円)</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標について、担い手の農地利利用集積状況は年度目標を下回っている。遊休農地面積は年度目標を下回っているが、耕作放棄地再生事業費補助金の予算額を全額執行するなど、遊休農地の解消に努めている。各指標における遊休農地面積の未達成の要因は、農作物価格の低迷・農業従事者の高齢化等に伴う離農農家の増加や後継者不足のほか、生産性が低く耕作不便農地などの地理的悪条件等により耕作されない農地が増加することが考えられる。				
課題	農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより遊休農地の増加が予想されることから、国、県が推進する農地中間管理機構を活用した農地利利用を推進していくとともに、遊休農地解消に係る費用の一部を補助することで、生産者の経済的負担を軽減していく必要がある。また、研修等を活かし農業委員・農地利利用最適化推進委員による更なる現場活動が必要となる。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)				
	遊休農地の増加が予想される中、周辺農地の営農に悪影響を及ぼす恐れのある遊休農地になる前の段階での呼びかけや、農地パトロールによる早期発見に努めるとともに、農地中間管理機構の活用や担い手への農地集積・集約化、遊休農地解消に係る費用の一部補助を推進することによって遊休農地の解消に努める。				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員、農地利利用最適化推進委員による農地の集積・集約化の推進</li> <li>・農地パトロールによる遊休農地の発生防止・解消</li> <li>・地域の実態に沿った担い手の育成・確保</li> <li>・各種研修への参加を通して、職員の法令業務に対する知識・スキルアップを図る</li> <li>・現地研修会や県等主催研修会・会議への出席により農地利利用最適化に向けた知識の向上を図る</li> <li>・遊休農地解消に係る費用の一部を補助することで、生産者の経済的負担を軽減し、遊休農地の解消及び発生の防止の推進。</li> </ul>				
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較				
備考					



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	237	重要事業		総合戦略		担当部署	農業委員会事務局 農地係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
6・1・1	国有農地等管理事業				367千円	148千円	201千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>国有農地（※）の適正な貸付、未貸付地の荒廃防止、無断使用の監視、倒木等による隣接地の被害防止を図る。</p> <p>（※）戦後、自作農創設のため国が小作農地を買収し、小作人に売り渡されたが、国により買収された農地のうち経営面積が零細である農地や、都市計画事業区域内にあり農地以外の用途に買収される可能性の高い農地のことをいう。</p>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①国有農地等管理事業 自作農創設特別措置法により、国が買収したが売り渡しが行われなかった農地を、群馬県より委託を受け、除草等の管理を行う。</p> <p>○除草等業務 加法師町・緑町二丁目・高根町にある国有農地の除草等作業（計4筆）</p> <p>②国有農地等管理事業 ・国有農地等管理事務取扱交付金</p>	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		<p>①国有農地等管理事業 ・除草等作業</p> <p>②国有農地等管理事業 ・国有農地等管理事務取扱交付金</p>	<p>①国有農地等管理事業 ・除草等作業</p> <p>②国有農地等管理事業 ・国有農地等管理事務取扱交付金</p>	<p>①国有農地等管理事業 ・除草等作業</p> <p>②国有農地等管理事業 ・国有農地等管理事務取扱交付金</p>
事業費		201	201	201
財源	国庫	0	0	0
	県費	201	201	201
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	除草等作業回数	1	目標値	1	1	1	1	1
		単位：回	実績値	1	1	1	1	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	201 千円	令和6年度決算額	182 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■国有農地の管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度：貸付地0筆 未貸付地27筆 4,716㎡</li> <li>・令和5年度：貸付地0筆 未貸付地27筆 4,716㎡</li> <li>・令和6年度：貸付地0筆 未貸付地27筆 4,716㎡</li> </ul> <p>■国有農地除草等管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の実績：高根町・加法師町・緑町二丁目（除草等） （令和4年度：高根町・加法師町・緑町二丁目 令和5年度：緑町二丁目 令和6年度：高根町・加法師町・緑町二丁目；全て1回除草等）</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、自作農創設特別措置法により、国が買収したが売り渡しが行われなかった農地を群馬県より委託を受け、適切に管理している。					
課題	群馬県より委託を受けての業務となるため、今後も適切な事務、管理が必要である。 平成21年の農地法の改正により、自作農を創設する目的で農地の買収・売渡しの仕組みが廃止となり、国有農地を保有し続ける目的が消失したことから、農林水産省において早期に処分することを要する。					
【Action】 今後の 方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	群馬県より委託を受けての業務であるため、今後も適切な事務、管理を行う。					
令和8年度 事業計画	前年度同様、継続して県より委託を受け、適切な管理（篠竹等伐採・除草の定期的な施工）を行う					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	238	重要事業		総合戦略		担当部署	農業委員会事務局 農地係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
6・1・1	農業後継者対策事業			356千円	276千円	247千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の担い手である農業後継者及び「館林市農業青年会議」の団体活動への指導・育成事業や、新規就農者への支援事業により、農業後継者の育成・確保を図る。</li> <li>・家族経営協定普及促進事業では、家族内での農業後継者や女性農業者の役割の明確化、近代的な農業経営の実現を図るため、普及活動を実施する。</li> </ul>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①農業後継者対策事業 ・新規就農者支援事業 意欲的な新規就農者育成のため、自立経営を志す若者の力を結集し、技術経営の安定を図りながら、農業を魅力ある職業とするため、関係機関の協力を得て、高収益事業、ゆとりある農業経営、活力と潤いのある農業の実現に向けて積極的に支援する。 専業農家で50歳未満の新規就農者に「新規就農者就農激励金」として2万円を交付する。 ・農業青年会議活動支援事業 農業の担い手である農業後継者の育成を図るため、その組織団体である「農業青年会議」の活動促進や、ビジョンと意欲ある農業経営者の育成のため各種事業支援を行う。 ・家族経営協定普及推進事業 家族経営内での農業後継者や女性農業者の役割の明確化、近代的な農業経営の実現を図るため、家族経営協定の必要性についての普及活動を実施する。 ・農業塾開催事業 国際化や新農業基本法等厳しく移り変わる農業情勢の中において、意欲ある農業後継者等を積極的に支援し、より一層の経営感覚を身につけてもらうため、農業委員会の積極的な支援を受けながら平成12年度より農業青年会議の自主的事業として、先進的な農業経営を行っている団体や知識経験者等を講師に迎え講演会等を開催する。	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①農業後継者対策事業 ・新規就農者就農激励金 ・館林市農業青年会議活動促進費補助金	①農業後継者対策事業 ・新規就農者就農激励金 ・館林市農業青年会議活動促進費補助金	①農業後継者対策事業 ・新規就農者就農激励金 ・館林市農業青年会議活動促進費補助金
事業費		247	247	247
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	247	247	247

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	新規就農者就農激励金交付者数	1	目標値	2	2	2	3	3
		単位：人	実績値	2	8	4	3	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	247 千円	令和6年度決算額	240 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■新規就農者就農激励金交付者数 令和6年度の交付実績：3名 (令和4年度：8名 令和5年度：4名 令和6年度：3名)			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にあ る	■ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、新規就農者就農激励金交付者数は年度目標を上回っている。				
課題	農業者の高齢化や減少が進み、農業生産基盤の脆弱化が危惧されており、地域農業を支える担い手・新規就農者の確保育成がますます重要となっているが、人口減少が進む中での人材確保は、一層厳しさを増している状況にある。親元就農のみならず、他分野からの新規参入を含め多様な人材確保が求められている。しかし、新規参入においては、「農地の確保」「資金の確保」「営農技術の習得」など多くの課題がある。そこで農業を魅力ある職業とするため、関係機関の協力を得て、高収益事業、ゆとりある農業経営、活力と潤いのある農業の実現に向けて積極的に支援する必要がある。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)				
	地域の実態に沿った担い手の育成・確保を図るとともに、新規参入者が長期にわたり営農を継続できるよう、就農前の相談から営農開始後の定着に至るまで、県や市などの関係機関と連携したサポート体制の強化を図る。				
令和8年度 事業計画	・新規就農者就農激励金交付 ・「館林市農業青年会議」への活動促進費補助 ・農業委員、農地利用最適化推進委員による家族経営協定についての普及活動				
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	239	重要事業		総合戦略		担当部署	農業委員会事務局 農地係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
6・1・1	農業者年金事業			485千円	133千円	212千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>農業者年金（※）の受給要件を満たす農業者への、加入推進、加入・脱退・支給停止などの諸手続きを行う。</p> <p>（※）国民年金の第一号被保険者である農業者が、より豊かな老後生活を過ごすことができるよう国民年金に上乘せした公的年金制度。加入資格は60歳未満で年間60日以上農業に従事していることであり、保険料は全額が社会保険料控除となるなど農業者をサポートするものとなっている。市は加入者の加入情報管理などを行う業務を独立行政法人農業者年金基金から委託されている。</p>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①農業者年金事業</p> <p>農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局による農業者への戸別訪問などの加入推進活動を行う。</p> <p>また、農業者年金制度に関する研修会等へ参加し、制度の習得を行うとともに、幅広い年代に周知を行い、制度の認知と加入者の増加を図る。</p> <p>○農業者年金受給者数 71人（R7.2.1現在）</p> <p>○農業者年金新規加入者目標数 2人</p> <p>②農業者年金事業</p> <p>・農業者年金基金業務委託手数料</p>	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①農業者年金事業 ・農業者への戸別訪問などの加入推進活動	①農業者年金事業 ・農業者への戸別訪問などの加入推進活動	①農業者年金事業 ・農業者への戸別訪問などの加入推進活動
		②農業者年金事業 ・農業者年金基金業務委託手数料	②農業者年金事業 ・農業者年金基金業務委託手数料	②農業者年金事業 ・農業者年金基金業務委託手数料
事業費		212	212	212
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	212	212	212
	一般財源	0	0	0

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	農業者年金新規加入者数	5	目標値	2	2	2	2	2
		単位：人	実績値	2	0	2	2	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	212 千円	令和6年度決算額	137 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 農業者年金加入者数 ・ 令和6年度加入者数：104名 （令和4年度：139名 令和5年度：121名 令和6年度：104名） ■ 農業者年金新規加入者数 ・ 令和6年度の加入実績：2名 （令和4年度：0名 令和5年度：2名 令和6年度：2名）			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、農業者年金新規加入者数は年度目標に達している。				
課題	農業後継者不足や新規就農者が減少している中、新規加入者の確保が課題となっており、農業者年金制度について地元の農業委員や農地利用最適化推進委員から農業者へより広く周知する必要がある。また、女性や40歳未満の農業者の新規加入者の増加を図るため、戸別訪問などによる世帯員全員へのアプローチが必要である。				
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続   □ 拡大   □ 改善   □ 代替   □ 統合   □ 縮小   □ 休止   □ 廃止 （□ 一部廃止）				
	農業者年金の制度（農業者の老後生活を支える唯一無二の公的年金）の意義及び必要性について農業者の理解が深まり、農業者年金に入っていて良かったという農業者が一人でも増えるよう、関係機関・団体・委員等が研修会等へ参加し、自ら制度への理解を深めつつ、連携を密にして制度の周知・啓発や加入推進活動等に取り組む。				
令和8年度 事業計画	・ 農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局による農業者への制度の周知、加入推進、戸別訪問 ・ 研修会等への参加 ・ 主催事業開催時の周知活動等				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模   □ 拡大   □ 縮小   ※前年度比較				
備考					

## 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	240	重要事業		総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課	観光振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
2・1・7	国際・都市間交流事業				446千円	446千円	434千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	友好都市名護市と花を通じた交流を図る。 ・つつじまつりへの招へい ・名護さくらまつりへの参加
----------------	--

### 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ・つつじまつりへの公式訪問招へい
- ・名護さくらまつりへの参加  
オープニングセレモニー、パレードに参加し、本市のPRを行う。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		つつじまつりの招へい 名護さくらまつりへの参加	つつじまつりの招へい 名護さくらまつりへの参加	つつじまつりの招へい 名護さくらまつりへの参加
	事業費	434	434	434
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	434	434	434

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	両市公式交流の機会	2	目標値	1	1	2	2	2
		単位：回	実績値	中止	1	1	1	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	434 千円	令和6年度決算額	369 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■本市「つつじまつり」への沖縄県名護市訪問団の歓迎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止</li> <li>・令和4年度 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止</li> <li>・令和5年度 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止</li> <li>・令和6年度 本市70周年記念式典に出席のため、つつじまつりへの参加はなし</li> </ul> <p>■沖縄県名護市「名護」「名護さくら祭り」への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止</li> <li>・令和4年度 令和5年1月27日（金）～29日（日） 参加者：市長ほか4名（観光協会として+1名） 名護さくらの女王発表祝賀会、名護さくら祭りオープニングイベント等への参加</li> <li>・令和5年度 令和6年1月26日（金）～28日（日） 参加者：市長ほか5名（観光協会として+2名） 名護さくらの女王発表祝賀会、名護さくら祭りオープニングイベント等への参加</li> <li>・令和6年度 令和7年1月24日（金）～26日（日） 参加者：教育長ほか5名（観光協会として+2名） 名護さくらの女王発表祝賀会、名護さくら祭りオープニングイベント等への参加</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にあ る	■ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	沖縄県名護市は、本市の友好都市であり、当事業を継続的に実施することにより、都市間の交流を図ることができる。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内における名護市のPR</li> <li>・名護市における館林市のPR</li> </ul>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引続き現地での「名護さくらまつり」への参加、市内「つつじまつり」への招聘の継続。</li> <li>・物産交流等も含めた、新たな総合交流について検討を行う。</li> </ul>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市「つつじまつり」への沖縄県名護市訪問団の歓迎</li> <li>・沖縄県名護市「名護」「名護さくら祭り」への参加</li> </ul>				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較				
備考					



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	241	重要事業		総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課	観光振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・4	観光総務				4,457千円	4,398千円	4,398千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶3_連携によるブランドの発信

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域での観光振興キャンペーン等に対する参加負担金</li> <li>・市観光協会の運営のための補助金支出</li> <li>・館林まつり運営のための補助金支出（商工課対応）</li> </ul>
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

各種負担金・補助金の支出

- ・群馬県観光物産国際協会負担金 240,000円
- ・両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議負担金 800,000円
- ・邑楽館林物産振興協会負担金 90,000円
- ・市観光協会補助金 3,130,000円

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	各種負担金・補助金の支出	各種負担金・補助金の支出	各種負担金・補助金の支出	各種負担金・補助金の支出
	事業費	4,398	4,398	4,398
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,398	4,398	4,398

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指 標	観光客入込数【総合戦略KPIを兼ねる】	1,489,539	目標値	1,541,220	1,567,729	1,594,694	1,622,122	1,650,000
		単位：人	実績値	553,631	1,127,479	1,448,609	1,519,158	
活動指標	観光案内人数	9,364	目標値	5,506	6,332	7,282	8,374	9,630
		単位：人	実績値	6,111	6,395	7,347	7,516	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	6,837 千円	令和6年度決算額	6,757 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■ 広域での観光振興キャンペーン等に対する参加負担金</p> <p>■ 市観光協会の運営のための補助金支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県観光物産国際協会負担金 240,000円【R3年度 270,000円・R4～6年度 240,000円】</li> <li>・両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議負担金 800,000円</li> <li>・邑楽館林物産振興協会負担金 90,000円</li> <li>・市観光協会補助金 3,130,000円</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	各種関係団体との連携により、市単独では難しいインバウンドを含めた広域での宣伝活動が実施できた。合同キャンペーン等への参加や各種イベント等で連携・協力が図れた。					
課題	各種関係団体に対して、負担金や補助金の支援を行っており、本市の観光振興の発展に寄与できるよう、効果的な支援や連携を行う必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	引続き、館林市観光協会をはじめ、各種関係団体の育成・支援や連携を図りながら地域において持続可能な観光振興を展開する。					
令和8年度 事業計画	【各種負担金・補助金の支出】 <input checked="" type="checkbox"/> 広域での観光振興キャンペーン等に対する参加負担金支出 <input checked="" type="checkbox"/> 市観光協会の運営のための補助金支出 ・群馬県観光物産国際協会負担金 ・両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議負担金 ・邑楽館林物産振興協会負担金 ・市観光協会補助金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	242	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	つつじのまち観光課 観光振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
7・1・4	観光事業			16,788千円		19,468千円	40,343千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶2_多様な観光客への対応

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の積極的なPR活動と関係機関との連携による誘客活動</li> <li>・観光客の受け入れ体制の整備</li> <li>・「花のまち館林」観光行事の実施</li> <li>・新たな観光資源の掘り起こしと多様化するニーズへの取り組み</li> </ul>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①観光事業【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業の実施（花ハスまつり・桜とこいのぼりの里まつり開催等）</li> <li>・貸自転車「ぼんチャリ」事業</li> <li>・観光宣伝看板の設置管理、観光案内印刷物等の作成</li> <li>・Tatebayashi Webフォトコンテストの開催</li> <li>・友好都市との交流事業</li> <li>・インバウンド対策事業</li> <li>・アニメツーリズム推進事業（宇宙よりも遠い場所の活用事業）</li> <li>・茂林寺沼南岸用地利活用事業</li> </ul>	
②館林駅観光案内所運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・館林駅観光案内所の運営</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	①観光事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業の実施</li> <li>・貸自転車事業</li> <li>・観光案内印刷物等の作成</li> <li>・観光宣伝看板の設置管理</li> <li>・友好都市との交流事業</li> <li>・茂林寺沼南岸用地利活用事業</li> </ul> ②館林駅観光案内所運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所の運営</li> </ul>	①観光事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業の実施</li> <li>・貸自転車事業</li> <li>・観光案内印刷物等の作成</li> <li>・観光宣伝看板の設置管理</li> <li>・友好都市との交流事業</li> <li>・茂林寺沼南岸用地利活用事業</li> </ul> ②館林駅観光案内所運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所の運営</li> </ul>	①観光事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業の実施</li> <li>・貸自転車事業</li> <li>・観光案内印刷物等の作成</li> <li>・観光宣伝看板の設置管理</li> <li>・友好都市との交流事業</li> <li>・茂林寺沼南岸用地利活用事業</li> </ul> ②館林駅観光案内所運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所の運営</li> </ul>
	事業費	40,343	19,468	19,468
	財源			
	国庫	7,000	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	8,913	0	0
	一般財源	24,430	19,468	19,468

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	観光客入込数【総合戦略KPIを兼ねる】	1,489,539	目標値	1,541,220	1,567,729	1,594,694	1,622,122	1,650,000
		単位：人	実績値	553,631	1,127,479	1,448,609	1,519,158	
総合計画指標	観光ボランティアガイドの登録者数【総合戦略KPIを兼ねる】	65	目標値	70	72	75	77	80
		単位：人	実績値	56	55	55	41	
総合戦略KPI	つつじまつり入園者数	129,242	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		単位：人	実績値	62,283	90,111	102,826	94,915	
活動指標	観光案内人数	9,364	目標値	5,506	6,332	7,282	8,374	9,630
		単位：人	実績値	6,111	6,395	7,347	7,516	

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	40,343千円	令和6年度決算額	36,417千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車貸出実績 R3:2,095台、R4:2,872台、R5:2,805台、R6:2,899台 貸出業務は3か所の自転車預所（館林ヒルズホテル、茂林寺、多々良沼）に委託 つつじが岡ふれあいセンターでも貸出（直営） R6.8月からHOTEL KOMORINUでの貸出しを開始（2台）計5か所で貸出し</li> <li>・天童市農業まつり参加・館林市産業祭への招聘（R4、R5、R6） R2・3は新型コロナの影響で事業を縮小し、代理販売による相互物産交流を実施（うどん、落雁等）</li> <li>・花ハスまつり 花ハス遊覧船乗船数 R3:3,863人、R4:5,302人、R5:5,178人、R6:5,337人 R6はまつり期間を8/31まで延長（8/16、21、29、30、31は天候不良で運航中止）</li> <li>・放送番組：TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」放映協力金、番組内CM作成・放映等</li> <li>・さくらまつり（新型コロナの影響で、R3年度中止、R4年度縮小開催（ボンボリ点灯中止） 観光入込客数 R3:中止、R4:50,550人、R5:58,200人、R6:76,200</li> <li>・こいのぼりの里まつり（新型コロナの影響で、R3年度中止、R4年度縮小開催（ライトアップ中止） 観光入込客数 R3:中止、R4:150,400人、R5:258,000人、R6:238,800</li> <li>・館林駅観光案内所運営事業 観光案内利用者数 R3:6,111人、R4:6,395人、R5:7,347人、R6:7,516</li> <li>・アニメコンテンツ活用事業 オリジナルグッズ販売、ラッピングバスの運行、重ね捺しスタンプラリーの開催、書下ろしイラスト・ポスター、等身大パネルの制作、ラッピング自転車の導入、舞台探訪マップ発行、スポット看板製作</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	既存の観光イベントの実施に加え、日本遺産「里沼」関連事業や、アニメツーリズムの推進（TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」関連）等による新規観光コンテンツの充実を図った。また、各種媒体を活用した観光物産宣伝等が実施できた。				
課題	観光協会の在り方について、法人化も含め研究・検討を継続実施中。市内事業者等への波及効果等も含めた費用対効果の検証を基に、実施事業の精査や、新規収益事業の開発が必要				
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	・ 既存の観光、宣伝事業のブラッシュアップ。新規事業の開発 ・ 日本遺産「里沼」を活用した体験型観光の創出及びPR ・ TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」を活用したアニメツーリズムの推進 ・ 館林駅観光案内所の運営方法の検討 ・ 館林市観光協会の法人化を含めた今後の在り方に関する研究・検討				
令和8年度 事業計画	・ つつじまつり、桜とこいのぼりの里まつり、花ハスまつり等既存イベントの宣伝及び実施内容の充実 ・ アニメや里沼体験コンテンツ等を活用した新規誘客事業の開発。旅行業者等と協力した旅行商品造成等 ・ フィルムコミッションの推進、公開収録番組の誘致 ・ 群馬県や近隣自治体、観光物産交流都市（山形県天童市）等と連携したPR活動の実施 ・ 東武鉄道をはじめ関係企業や市内の民間事業者とのコラボ事業等の推進 ・ Webフォトコンテスト事業等を含め、SNSを効果的に活用した広報活動の強化 ・ 館林駅観光案内所の運営に関すること				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較	
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	243	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	つつじのまち観光課 つつじが岡公園係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
7・1・5	公園管理			76,267千円		86,340千円	86,234千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶1_観光資源の創出と活用

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の都市公園の中でも歴史ある観光型の公園であり、四季を通して市民をはじめ多くの観光客に安全に安心して利用していただくため、適正に管理するとともに、更なる集客策を追及する。さらに、「つつじまつり」を開催し、入園料等による自主財源の確保及び地元経済の活性化に繋げる。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- つつじが岡公園管理事業【重要事業】
- ・つつじが岡公園の維持管理業務
  - ・つつじが岡公園再整備基本計画の推進
  - ・公園設備の保守および点検
  - ・つつじまつりの開催
  - ・公共施設の利活用

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		○つつじが岡公園管理事業【重】 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、旧秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・つつじライトアップ【新】 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備事業の社会実験	○つつじが岡公園管理事業【重】 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、旧秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備事業の検討・実施	○つつじが岡公園管理事業【重】 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、旧秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備事業の検討・実施
事業費		86,234	86,234	86,234
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	53,843	52,625	52,625
	一般財源	32,391	33,609	33,609

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	つつじまつり入園者数	129,242	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		単位：人	実績値	62,283	90,111	102,826	94,915	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	86,234 千円	令和6年度決算額	76,500 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>・つつじまつり入園者数 令和4年度：有料 63,154人 入園料収入 33,376千円 総入園者数 約90千人 24日間 令和5年度：有料 72,464人 入園料収入 37,957千円 総入園者数 約100千人 25日間 令和6年度：有料 66,941人 入園料収入 36,640千円 総入園者数 約95千人 21日間</p> <p>・つつじ管理、公園管理、つつじまつり運営、ぐんま花の駅ネットワーク・北関東フラワーパークライン 令和4年度：つつじが岡公園等維持管理業務委託（つつじ他樹木管理、芝刈・除草、トイレ清掃ほか） 高木管理、園内清掃業務委託、施設建物管理、つつじまつり運営、広域施設連携 2号トイレ撤去に伴う給排水設備工事、券売所引込変更改修工事 など 令和5年度：つつじが岡公園等維持管理業務委託（つつじ他樹木管理、芝刈・除草、トイレ清掃ほか） 高木管理、園内清掃業務委託、施設建物管理、つつじまつり運営、広域施設連携 つつじが岡公園2号トイレ解体工事 など 令和6年度：つつじが岡公園等維持管理業務委託（つつじ他樹木管理、芝刈・除草、トイレ清掃ほか） 高木管理、園内清掃業務委託、施設建物管理、つつじまつり運営、広域施設連携 つつじが岡公園第二変電所変圧器交換工事 など ※【国土交通省】「庭園間交流連携促進計画（ガーデンツーリズム）登録制度 周遊部門に登録</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>・つつじまつり中に70周年記念イベントとしてつつじのライトアップを実施した。受変電施設にあるPCBを含む変圧器の交換工事を実施し、特別措置法の処理期限に向け段階的に取り組んでいる。</p> <p>・茨城・栃木・群馬の三県で連携し目指していたガーデンツーリズム登録制度（国土交通省）につつじが岡公園が登録された。</p>				
課題	<p>・つつじまつりの有料入園者数・入園料収入が減少傾向となっている</p> <p>・体験型観光の充実による通年での誘客が求められている</p> <p>・来園者の安全安心の確保が求められている</p> <p>※公園の重要な利用者であるお年寄りや子どもが安全に利用するためにトイレの改修が喫緊の課題となっている。また主要な修景施設である噴水設備の老朽化による度々の故障も課題であるため、計画的な更新を行う必要がある。</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<p>つつじの管理を引き続き徹底的に行い開花の維持に努めるだけでなく、課題である施設の老朽化と安全対策について計画的に着手し、段階的なリニューアル整備を行うことで継続的に新しい施設や話題の提供を行い、誘客につなげて行く。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>つつじが岡公園再整備計画を基本構想として、段階的に老朽化対策や安全対策を行うための方針を定め、区域ごとに改修の計画、設計、施工の年度計画を策定する。また、必要に応じてその後の改修に影響のない範囲で修繕工事を行う。</p> <p>・モミジの滝 噴水ピット内ガイドレール・ポンプ交換</p>				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	244	重要事業	○	総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課	つつじが岡公園係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・5	つつじ保護育成事業				9,620千円	6,562千円	6,437千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶5_観光資源の保護・保存・育成と普及啓発

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	日本一といわれる国指定名勝「躑躅ヶ岡」を後世に伝えるため、各種調査研究を進めるとともに、徹底したつつじ保護育成と適正管理を行う。また、つつじは本市における歴史・文化的にも重要な財産であることから、普及啓発に努める。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○つつじ保護育成事業【重要事業】 ・つつじの保護管理（病害虫防除、整枝剪定、施肥、灌水などの肥培管理） ・樹勢回復、開花保持のための調査（開花調査、土中水分調査、花芽調査、着蕾率調査等） ・後継木の育成（品種の保持、歴史的文化的価値の継承、観賞的価値の高い品種の育成） ・館林のつつじ啓発活動（歴史的文化的価値の理解促進つつじガイド指導育成、館林つつじサポーターズ倶楽部事務局運営） ・文化財保護（文化財の保護、行為申請、保存活用計画策定準備のための関係機関協議）	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	○つつじ保護育成【重】 ・つつじ保護育成対策委員会 ・つつじ後継木育成 ・つつじの着花等に関する調査の実施 ・土壌分析業務の実施 ・ツツジ移植工事の実施	○つつじ保護育成【重】 ・つつじ保護育成対策委員会 ・つつじ後継木育成 ・つつじの着花等に関する調査の実施 ・土壌分析業務の実施 ・ツツジ移植工事の実施	○つつじ保護育成【重】 ・つつじ保護育成対策委員会 ・つつじ後継木育成 ・つつじの着花等に関する調査の実施 ・土壌分析業務の実施 ・ツツジ移植工事の実施
	事業費	6,437	6,437	6,437
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	1,336	0	0
	一般財源	5,101	6,437	6,437

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	つつじまつり入園者数	129,242	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		単位：人	実績値	62,283	90,111	102,826	94,915	
活動指標	つつじサポーターズ倶楽部個人会員数	551	目標値	571	581	591	601	611
		単位：人	実績値	426	416	399	322	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	8,381千円	令和6年度決算額	7,380千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種調査【毎年】 開花状況調査、花芽形成調査、土中水分調査、(秋咲き調査)、土壌調査</li> <li>・群馬県林業試験場との共同研究【H26年度～】着花、土中水分・気象データ調査、分析報告</li> <li>・ツツジ古木土壌改良 令和4年度：12株、令和5年度：9株、令和6年度：8株</li> <li>・つつじ移植・補植 令和4年度：11株、令和5年度：移植14・補植5株、令和6年度：移植2株・補植3株</li> <li>・旧公園内スロープ改修 令和4年度：48m(柵改修)、36.5㎡(ウッドチップ舗装)</li> <li>・つつじガイドボランティア講習会(秋1回、春先3回) 案内人数実績(平成31年度から手話ガイド開始) 令和4年度：432回・19,624名 + 手話ガイド10回・32名 令和5年度：333回・5,996名 + 手話ガイド1回・10名 令和6年度：329回・5,851名 + 手話ガイド5回・72名</li> <li>・つつじ子房摘みボランティア ※平成31年度 18団体1,015名、個人13名 計1,028名 令和5年：8団体 383名(4年ぶりに実施) 令和6年：9団体 547名(うち個人参加延べ5名)</li> <li>・出前講座 令和4年度：3回、令和5年度：2回、令和6年度：3回</li> <li>・つつじ保護育成対策会議 年1回</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古木管理について、平成25年度に開花不良があったため、平成26年度から様々な調査・研究を実施。つつじの開花状況について、適切に維持管理業務への指導及び指示が出来ており、継続して花付きも良く十分な効果が得られている。</li> <li>・また、調査結果についてもデータを保存し、また都度維持管理作業へのフィードバックを行い健全な古木管理、安定した開花につながっている。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数多くの観光地の中からつつじが岡公園に来園してくれるお客様のために、普通のつつじではなく館林ならではの「つつじ」の鑑賞的価値と、日本遺産のストーリーにあるように歴史的、文化的な価値をより多くの方に知ってもらい、理解してもらうため、つつじガイドだけではなく新たな仕掛けづくりが必要である。</li> <li>・設立して7年となるつつじサポーターズ倶楽部の会員数が減少している。</li> </ul>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きつつじの管理を徹底し、開花の保持を行う。</li> <li>・ツツジ園内の施設の老朽化が進んでおり、改修が必要となっている。段階的に改修や統廃合の方針を立て実施していく。</li> </ul>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きつつじの管理を徹底し、開花の保持を行う。</li> <li>・ツツジ園の中の園路などの老朽化が進んでおり、改修修繕を行う。また、不要な施設などについて、必要な手続を精査し除却や改修に向け調整を行う。</li> </ul>				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	245	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	つつじのまち観光課	観光振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・5	つつじが岡ふれあいセンター運営事業				12,829千円	13,466千円	12,878千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶5_観光資源の保護・保存・育成と普及啓発

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公園に通年で誘客するための核となる施設として、立体映像等を活用して満開のつつじを体感できる施設「つつじ映像学習館」と「売店」の運営を行う。また、団体受入も可能とした飲食スペースである「フードコート」を運営する施設管理運営業者と連携して、多くの公園利用者に楽しんでいただくとともに、さらなる魅力向上を図る。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- つつじが岡ふれあいセンター運営事業【重要事業】
- ・つつじの啓発、学習活動、企画展示（ギャラリー展示など）開催
  - ・入館料徴収事務、4Dシアター等管理運営及び案内・PR業務
  - ・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしての管理運営
  - ・フードコート施設管理運営業者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施
  - ・売店運営の充実とアニメツーリズム来訪者へのおもてなし
  - ・施設全体の機械警備、設備機器の保守点検など安全安心な施設管理
  - ・誘客業務（パンフレット作成など）

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業【重】 ・つつじ映像学習館の運営管理 ・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理 ・ギャラリーや展示物の運営管理 ・フードコート施設管理運営業者との連携調整 ・企画展及びイベント事業の開催	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業【重】 ・つつじ映像学習館の運営管理 ・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理 ・ギャラリーや展示物の運営管理 ・フードコート施設管理運営業者との連携調整 ・企画展及びイベント事業の開催	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業【重】 ・つつじ映像学習館の運営管理 ・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理 ・ギャラリーや展示物の運営管理 ・フードコート施設管理運営業者との連携調整 ・企画展及びイベント事業の開催
	事業費	12,878	12,878	12,878
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	4,713	4,713	4,713
	一般財源	8,165	8,165	8,165

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	映像学習館の入館者数	3,596	目標値	2,300	2,645	3,042	3,498	4,023
		単位：人	実績値	2,550	2,850	3,023	3,668	
活動指標	ふれあいセンターフードコートの入場者数	19,832	目標値	20,000	21,000	22,050	23,153	24,310
		単位：人	実績値	22,341	22,476	21,139	17,959	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	12,878千円	令和6年度決算額	9,621千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじの啓発、学習活動、企画展示（ギャラリー展示等）、夏・冬季イベントの開催</li> <li>・入館料徴収事務、4Dシアター等管理運営及び案内・PR業務</li> <li>・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしての管理運営</li> <li>・フードコート施設管理運営業者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施</li> <li>・売店運営の充実とアニメツーリズム来訪者へのおもてなし</li> <li>・施設全体の機械警備、設備機器の保守点検など安全安心な施設管理</li> <li>・誘客業務（パンフレット作成など）</li> <li>・市有施設共通パスポートの運用</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体映像等で満開のつつじを体感できる「つつじ映像学習館」により、通年での公園への誘客や、つつじや里沼を学べる郷土学習の場としての活用が図れた</li> <li>・「フードコート」を運営する施設管理運営業者と連携して、公園利用者の満足度の向上を図れた</li> <li>・都市公園法、館林市公園条例、つつじを愛し保護する条例、市有施設共通パスポート条例等に基づき事業を実施</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじについての学習の場、普及啓発活動の場としての充実</li> <li>・つつじ映像学習館及びフードコート、売店の利用促進、入館料・使用料の確保</li> </ul>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじが岡ふれあいセンターでの営業活動の充実</li> <li>・つつじ映像学習館内コンテンツを充実させ、より魅力的な空間づくりを行う</li> <li>・様々な手段を用いた情報発信、周知活動の実施</li> <li>・つつじが岡公園周辺施設と連携し、誘客促進する。（市有施設共通パスポートの周知）</li> <li>・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしてのコンテンツの強化</li> </ul>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじの啓発、学習活動、企画展示等の開催</li> <li>・入館料徴収事務、4Dシアター等管理運営及び案内・PR業務</li> <li>・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしての管理運営</li> <li>・フードコート施設管理運営業者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施</li> <li>・売店運営の充実とアニメツーリズム来訪者へのおもてなし</li> <li>・施設全体の機械警備、設備機器の保守点検など安全安心な施設管理</li> <li>・わくわく里沼ビレッジ市有施設共通パスポート周知</li> </ul>				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	246	重要事業		総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課	つつじが岡公園係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・6	サイクリングターミナル運営				30,427千円	525,526千円	17,267千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶2_多様な観光客への対応

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	サイクリングターミナル及び南側公園用地を一体的に運営管理する事業者を官民連携手法により公募・選定し、令和6年度から新たに施設の運営を開始する。
----------------	---

### 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- サイクリングターミナル運営
- ・「つつじが岡公園再整備基本計画」を基に、都市計画用途地域の変更を検討していく。
  - ・サイクリングターミナルの運営（指定管理者）
  - ・南側公園用地（現在未供用）の整備並びに公園供用開始

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		○サイクリングターミナル運営事業 ・受電設備清掃・点検業務委託 ・指定管理料  ※指定管理者が施設管理及び民間事業者（指定管理者）が南側公園用地をパークPFIにより運営	○サイクリングターミナル運営事業 ・受電設備清掃・点検業務委託 ・指定管理料  ※指定管理者が施設管理及び民間事業者（指定管理者）が南側公園用地をパークPFIにより運営	
	事業費	17,267	17,267	17,267
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	2,970	0	0
	一般財源	14,297	17,267	17,267

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	サイクリングターミナル売上額		目標値	-	-	-	55,000	55,730
		単位：千円	実績値	-	-	-	51,815	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	65,447 千円	令和6年度決算額	63,091 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>令和4年度：ターミナル改修設計委託、南側公園：調査・測量・設計委託、指定管理者等選定委員会(計4回)</p> <p>令和5年度：ターミナル指定管理者選定等委員会：指定管理候補者、P-PFI予定者答申 指定管理者：第2回定例会で承認後、(株)塚原緑地研究所を指定、基本協定書締結 P-PFI（仮称）南側公園用地整備事業：基本協定締結 デジタル田園都市国家構想交付金：ターミナル改修(建築・電気・機械・付帯)工事 トレーキビ2台・客室・厨房等備品、営業必要物品購入。南側公園用地施設新築工事</p> <p>令和6年度：指定管理業務委託、P-PFI運営開始 里沼リゾートHotelKOMORINUが4月11日開業。 【繰越】南側公園工事完了。こもりぬキャンプ場・BBQ場：6月15日全体運営開始</p> <p>(参考) 平成30年度：施設巡視、除草等、利活用に向けた庁内調整会議(5回) 令和元年度：施設巡視、除草等、サウディング調査(3回)、アウトドア事業者アンケート、サウディング型市場調査 令和2年度：施設巡視、除草、ケヤキの剪定8本、サウディング型市場調査説明会・対話実施(21回) 令和3年度：施設巡視、除草、つつじが岡公園再整備基本計画策定審議会(3回)</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者を募集した際の、計画目標値を指標としている。</li> <li>実績値は下回っている。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度の4月11日開業後すぐには宿泊予約システムの運用が間に合わず夏休み前半まで稼働率が低迷した。</li> <li>自主事業であるレストラン営業の方は、ランチ時間帯は良いが、夜時間の利用が伸びず集客が課題である。</li> </ul>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き指定管理業務委託による管理運営を実施する。</li> <li>特に平日宿泊及びレストラン夜間の集客に務める。</li> </ul>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>官民連携による積極的なPRに努める。</li> <li>引き続きリトリート補助金などを活用し、施設等の魅力向上に努め、市外からの集客につなげる。</li> </ul>				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	247	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	文化振興課	日本遺産推進係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
2・1・1	日本遺産推進事業				17,286千円	19,563千円	19,691千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
	▶Ⅳ_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統・芸術や文化に誇りをもち、魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる
	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶6_日本遺産を活用した地域の魅力発信や環境整備
	▶1_観光資源の創出と活用

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市に存在する文化・歴史と観光・産業等を融合させ、令和元年度文化庁日本遺産に認定された「里沼（SATO-NUMA）」を地域活性化や外国人インバウンド等の向上につなげる。さらに、「里沼」ストーリーと地域に点在する構成文化財のもつ価値・意義を市民に伝えることにより、シビックプライド醸成による地域活性化、観光・インバウンド増加による経済効果を目的とする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①日本遺産推進事業【重要事業】	
事業概要：「日本遺産」認定後の推進組織の運営及び、地域活性化計画に位置付けられた各種事業の展開を推進する。 歴史や文化財と、本市に存在する観光や産業などを融合させ、郷土愛（シビックプライド）の醸成による地域振興や国内外からの来訪者による交流人口、定住者を含めた関係人口の増加を目指す。	
事業内容：	
(1)「里沼」の調査・研究・普及・啓発 → (A)調査・研究事業の実施 (B)普及・啓発事業の実施 (C)先進地事例の視察、外部研修会等への参加 (D)展示会・PRイベント等の開催	
(2)「里沼」来訪者数の把握（推計） → (A)茂林寺沼・城沼・近藤沼・蛇沼来訪者のカウント・推計の実施	
(3)里沼シティプロモーション → (A)群馬ダイヤモンドペガサス連携事業 (B)インターネットを活用した情報発信	
②「里沼」体感！ワークショップ事業	
事業概要：「里沼」を活かしたワークショップを具体的に展開し、本市の魅力向上やコト消費の充実につなげる。	
事業内容：	
(1)「里沼」題材の各種ワークショップの開催 → (A)地域プレイヤーと連携したワークショップ実施	
(2)里沼カヌー・カヤック講座の開講 → (A)(B)里沼カヌー・カヤック講座・体験会実施 (C)城沼水面利用ルール策定・届出制度運用	
(3)体験型プログラム創出を目的とした調査・検討 → (A)新ワークショッププログラム創出のための検討	
③日本遺産推進協議会等支援事業	
事業概要：日本遺産推進事業に同じ	
事業内容：	
(1)館林市「日本遺産」推進協議会事務局 → (A)館林市「日本遺産」推進協議会の運営 (B)協議会事業の執行 (C)ヌマベーション連絡協議会の運営 (D)推進協議会補助金・貸付金の管理	
(2)経済部局と連携した協議会事業の実施 → (A)日本遺産及び「里沼」ロゴ許認可事務 (B)庁内タスクフォース会議への参加と関係課調整	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	①日本遺産推進事業【重】	①日本遺産推進事業【重】	①日本遺産推進事業【重】	①日本遺産推進事業【重】
	②「里沼」体感！ワークショップ事業	②「里沼」体感！ワークショップ事業	②「里沼」体感！ワークショップ事業	②「里沼」体感！ワークショップ事業
	③日本遺産推進協議会等支援事業	③日本遺産推進協議会等支援事業	③日本遺産推進協議会等支援事業	③日本遺産推進協議会等支援事業
事業費		19,691	20,000	20,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	10,568	0	0
	一般財源	9,123	20,000	20,000

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	小・中学生における日本遺産「里沼」の認知度	0	目標値	63.0	66.0	68.0	70.0	73.0
		単位：%	実績値	61.6	87.3	91.9	92.2	
活動指標	日本遺産「里沼」関連で開発された商品・サービス数	0	目標値	20	25	28	30	32
		単位：件	実績値	34	38	52	59	
活動指標	日本遺産への協力件数(市民・ガイド団体＋民間事業者等)	8	目標値	25	30	32	33	35
		単位：件	実績値	735	765	816	861	
活動指標	観光客入込み数	150	目標値	189	196	200	200	200
		単位：万人	実績値	50	105	304	301	

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	19,691千円	令和6年度決算額	19,270千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>【令和4年度】当該年度より国庫補助がなくなり、市補助金により日本遺産推進協議会を運営した。市単事業及び推進協議会事業を中心に人材育成、普及啓発、調査研究、情報発信、活用整備の各分野での事業を展開し、各種事業によるシビックプライド醸成などを行うほか、「AR里沼」スタンプラリーや近県の日本遺産認定地3か所の取り組み事例を紹介する「里沼セミナー」を開催した。里沼セミナーでは、プレイヤーの発掘や活動支援、事業推進のための予算(推進協議会の原資等)の確保についての事例を学ぶことができ、参加者からも好評を得た。</p> <p>【令和5年度】ランドナビゲーターの発掘・育成のための「里沼」ステップアップ講座、茂林寺沼のヨシを使った新たなワークショップの構築、茂林寺沼湿原の保護保全を目的に活動する大泉高校・関東学園大学との事業連携によるヨシストロー作製・里沼きくらげ栽培・カキツバタソーダ販売等のPRや、館林女子高・関東学園附属高校の生徒による田山花袋作品朗読発表会を行ったほか、「両毛3市日本遺産こどもサミット」では、各市で活躍することもたち活動や取組内容を紹介いただくことで未来を担うこどもたちの交流の機会を創出。新たな取り組みとして、市内小・中学校にて「里沼」献立を提供。その結果、市内小・中学生における「里沼」の認知度は91.85%を記録した。</p> <p>【令和6年度】市内小・中学校総合学習等との連携を図り、座学+フィールドワークをセットにした授業を実施し、座学を踏まえた現地散策により地域特色の理解度を高めるカリキュラムを構築した。また、日本遺産「里沼」の構成文化財である「館林紬」の伝統が消えかける今、地元有志の手により新たに合同会社紬・組が設立され、令和6年度の両毛3市日本遺産交流事業「織物サミットin桐生」ではまた、館林紬のワークショップや商品販売、新たにパンフレットを作成するなど、館林紬の普及啓発を行った。</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	■ 高	成果が高水準にある	□ 中	適切な成果が得られている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	■ 高	費用対効果が高水準にある	□ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	日本遺産推進事業は、第6次総合計画において重要事業に位置しており、日本遺産「里沼」認定を通して、本市の文化・歴史を観光・産業と結びつけることで、地域振興へと繋げることができる。また、地元住民が自分たちの地域の魅力を再認識することで、地域活性化や魅力あるまちづくりへの気運の醸成を図ることができる。				
課題	(1)地域活性化を進めるにあたり、事業推進に適した体制づくり・人材確保が必要。 (2)各種事業展開に向けた庁内連携。 (3)地域で活躍するプレイヤーの発掘・選定・活動支援。 (4)地域住民が館林市の魅力を再認識できるような機会(普及活動・連携事業)の提供。 (5)円滑に事業推進できるための予算(推進協議会の原資等)及び人員確保。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p>■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)</p> <p>■文化庁は、令和3年度に日本遺産再審査制度を導入し、認定6年経過後に認定継続の審査が行われ、ストーリー浸透や各種事業展開の継続性、事業推進体制の「自走」など、地域活性化の度合いを検証し、取組みが不十分な場合は「認定取消し」措置が行われる。</p> <p>■本市では、(A)活動者の「自走」(＝組織運営や事業実施自体はプレイヤーを統括できる人材が担っている状態)と、(B)資金面での「自走」(＝推進体制が将来的に法人化し、独立採算(一部行政からの資金援助)での組織運営、事業実施ができていない状態)に区分すると、(A)の成果が現れつつある状況。</p> <p>今後の方向性としては、(A)活動者の「自走」を実現し、段階的に(B)資金面での「自走」への移行に向けた検討に着手したい。</p> <p>■本市においては、日本遺産「里沼」に対して①シビックプライド醸成、②ブランディングを主眼として取り組んできたが、収益化が難しく且つ地道な普及活動が鍵を握る。</p> <p>①については、引き続き館林市が主体となって普及啓発や人材育成、調査研究分野における下支えを行う必要がある。一方で②は、民間事業者や民間活動者の巻き込みが重要であることから、民間の動きと密接に連動させ、日本遺産「里沼」の推進を図っていくことが重要。</p>				
令和8年度 事業計画	■地域活性化計画に位置付けた10事業(令和4年度～6年度)→7事業区分(令和7年度～)を引き続き実施しながら、活動指標に掲げた5つの目標達成に向けて取り組んでいく。				
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	248	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	企画課 政策推進係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
2・1・6	まちひとしごと創生推進事業			15,469 千円	24,798 千円	25,452 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶1_地方創生施策の推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	急激な少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京への人口一極集中を是正し、持続可能な社会形成を行うために、「第2期館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各施策を着実に実施する。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### まちひとしごと創生推進事業【重要事業】

・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証を行う。

・ふるさと回帰支援センターや群馬県等と連携し、移住相談会を実施するなど、U I Jターンのための情報提供を行う。

・各種移住定住施策等を推進し、人口減少の緩和、交流人口の拡大及び関係人口の創出を図る。

（移住コーディネーター）移住コーディネーター制度を導入し、移住希望者への情報収集・発信を行う。

（婚活支援事業補助金）男女の出会いの場を提供する事業や結婚を促進するための事業を行う団体に対し、事業費の一部を補助する。

（わくわく地方生活実現支援金）地域経済の活性化と移住・定住の促進を図るため、東京圏からの移住者等に対し支援金を支給する。

（市有地活用移住定住支援金）移住者が市有地を購入し、居住住宅を建設した場合に支援金を支給する。

（ライフスタートアップ支援金）移住前においては移住希望者が本市により関心を深められるよう実際に現地を訪れること、移住後においては移住者が本市でより快適な生活を送れるよう支援する。

（移住定住ウェルカム支援金）【新規事業】県外より移住し住宅を取得したかたに支援金を支給し、新生活を応援する。

（館林市地方就職学生支援金）【新規事業】東京都内に本部を置く大学の学生が、地方へU I Jターンすることを促進するため、地方の企業において実施される就職活動に参加するための交通費を支援する。

（定住促進通学支援金）若者の定住を促進するため、市内から東京都等に通学する者に対して支援金を支給する。

（たてばやし応援隊・たてばやし応援店）【新規事業】市民等による本市の任意応援隊員を募集し、市民・民間活力を用い、SNSを中心とした本市の魅力発信を行うとともに、都市のブランド力を高める。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策等の推進	まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策等の推進	まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策等の推進
	事業費	25,452	25,452	25,452
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	12,517	12,517	12,517
財源	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,935	12,935	12,935

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	移住定住の相談人数（累計）	27	目標値	30	60	90	120	150
		単位：人	実績値	27	80	145	226	
総合戦略 KPI	東京都でのPR活動回数（累計）	2	目標値	2	4	6	8	10
		単位：回	実績値	7	9	11	14	
総合戦略 KPI	市の支援による婚活イベント参加者数（累計）	65	目標値	89	178	267	356	445
		単位：人	実績値	0	62	148	234	
総合戦略 KPI	市の支援による婚活事業でのカップル成立数（累計）	5	目標値	10	20	30	40	50
		単位：組	実績値	0	5	17	25	

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	25,452千円	令和6年度決算額	21,780千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>【第2期総合戦略の進行管理及び事業検証】</p> <p>目標達成に向け順調に推移している指標割合（進捗率A・B（80%以上）となった指標の割合）</p> <p>令和4年度：40.0%（全指標数37 対象指標数35 進捗率A・Bとなった指標14）</p> <p>令和5年度：44.1%（全指標数37 対象指標数34 進捗率A・Bとなった指標15）</p> <p>令和6年度：各課照会中</p> <p>【主な移住定住施策の状況】</p> <p>（令和4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業補助金 1件 198,275円 ・わくわく地方生活実現支援金 4件 4,200,000円</li> <li>・市有地活用移住定住支援金 0件 0円 ・定住促進通学支援金 155件 3,071,190円</li> <li>・移住促進まちなか新築住宅取得支援金 0件 0円</li> </ul> <p>（令和5年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業補助金 1件 200,000円 ・わくわく地方生活実現支援金 6件 9,800,000円</li> <li>・市有地活用移住定住支援金 0件 0円 ・定住促進通学支援金 141件 2,808,370円</li> <li>・移住促進まちなか新築住宅取得支援金 1件 500,000円</li> </ul> <p>（令和6年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援事業補助金 1件 200,000円 ・わくわく地方生活実現支援金 7件 16,600,000円</li> <li>・市有地活用移住定住支援金 0件 0円 ・定住促進通学支援金 154件 3,053,590円</li> <li>・移住定住ウェルカム支援金 14件 420,000円</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>・令和6年度においては、対面・オンラインそれぞれの移住相談会に参加したほか、県と連携して館林美術館においても移住セミナーを行うなど、様々な施策に取り組んだところであり、移住相談人数が増加した。</p> <p>・わくわく地方生活実現支援金（移住支援金）についても、地方移住への関心の高まりや制度の浸透などにより、申請件数及び支援金支給額が増加した。</p> <p>・定住促進通学支援金については、利用者数の若干の増加が見られた。</p>				
課題	<p>・国より新たに「地方創生2.0」の考え方が示されるなど、地方創生を取り巻く状況が変化していくことが想定されるため、適宜情報収集に努め、必要に応じてあらたな施策を展開していくことが求められる。</p> <p>・移住相談会等では、「家賃（地価）」、「災害」、「仕事」を気にされている方が一定程度存在したが、十分な案内ができたか疑義が残ったため、それらの質問についてもきめ細やかな対応を行う必要がある。</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<p>・地方創生（まち・ひと・しごと総合戦略の推進）については、活力のある地方の創出のために必要不可欠な事業であることから、今後においても、効果的な補助制度の創設や、各種取組の強化を図る。</p> <p>・本市への移住・定住の促進や交流人口・関係人口の創出・拡大に向け、官民連携によるSNS等による積極的なPRなどを行う。</p> <p>・現在策定中である次期総合戦略に基づき、着実に施策等に取り組む。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>・次期総合戦略に基づく各種施策の実施</p> <p>・現行の総合戦略の進捗管理</p> <p>・移住関連イベントの実施</p> <p>・各種移住定住施策の実施</p> <p>・移住コーディネーターとの協働による情報発信</p> <p>・婚活事業の支援</p> <p>・通学支援金の支給 等</p>				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	249	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）		当初予算額（R6）
8・6・1	空家対策事業			3,257 千円		3,252 千円		3,252 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶7_健全な市街地の形成
	▶2_健全な市街地の形成

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	年々増加する空き家の問題に対し、購入費用または家賃の助成等の支援をし、居住可能な空き家の利活用を図るとともに移住者・定住者の増加を目指す。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<b>①空家利活用事業【重要事業】</b> ・空き家情報登録制度（空き家バンク） 「空き家情報登録制度」を設け、移住・定住を希望しているかたや、空き家を利活用したいかたに市内の空き家情報を提供する。 ・空家利活用助成金 市内市外の方を問わず、市内の空き家を自ら居住する目的で購入または賃借した場合に、購入費用の一部または家賃の一部を助成する。また貸主に対しても維持管理費用の一部として助成金を交付し、空き家利活用促進のために、空き家バンク登録者に対しても、登録助成金を支給する。 ・空家バンク登録物件家財道具等処分助成金 空き家バンク登録物件について、物件を登録したかた又は物件を利活用するかたに対し、空き家内の家財道具等の処分に要する費用の一部を交付するもの。 ・空き家見学会 空き家利活用希望者に、市職員がガイドとなり、空き家の外観や内装を実地で見学してもらうことにより、空き家の利活用を促進するもの。	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		<b>①空家利活用事業【重】</b> ・空き家情報登録制度（空き家バンク） ・空き家利活用助成金 ・空家バンク登録物件家財道具等処分助成金 ・空き家見学会	<b>①空家利活用事業【重】</b> ・空き家情報登録制度（空き家バンク） ・空き家利活用助成金 ・空家バンク登録物件家財道具等処分助成金 ・空き家見学会	<b>①空家利活用事業【重】</b> ・空き家情報登録制度（空き家バンク） ・空き家利活用助成金 ・空家バンク登録物件家財道具等処分助成金 ・空き家見学会
事業費		3,252	3,252	3,252
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,252	3,252	3,252

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	空き家バンク登録物件利活用件数（累計）	2	目標値	4	8	12	16	20
		単位：件	実績値	6	11	16	21	
活動指標	空き家バンク登録物件数（累計）	6	目標値	7	14	21	28	35
		単位：件	実績値	5	14	18	18	

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	3,252 千円	令和6年度決算額	千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■ 空き家バンク登録物件利活用件数（空き家利活用助成金申請数（登録助成金含む））</p> <p>・ 令和3年度～令和6年度の累計実績 21件 内訳（令和3年度：9件 令和4年度：7件 令和5年度：10件 令和6年度：5件）</p> <p>■ 空き家バンク登録物件数</p> <p>・ 令和3年度～令和6年度の累計実績 18件 内訳（令和3年度：5件 令和4年度：9件 令和5年度：4件 令和6年度：0件）</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にあ る	■ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>・ 空き家バンク登録物件利活用件数については目標値を上回っており、堅調に推移している。</p> <p>・ 空き家バンク登録物件数については目標値を下回っており、特に令和6年度は0件と、登録数の落ち込みが見られる。</p>				
課題	<p>・ 空き家バンク認知度の向上、登録物件の増加</p> <p>・ 空き家利活用を進める民間事業者等との連携</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	□ 継続 □ 拡大 ■ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止（□ 一部廃止）				
	<p>・ 空き家バンク登録物件の利活用を促進するため、各種補助制度について広く周知を図る。</p> <p>・ 空き家バンク登録物件数は県内他市と比べても少ないため、相談事業者等と連携しながら、物件数及び利用希望者の増加に取り組んでいく。</p> <p>・ 他自治体の事例等を参考としながら、新たな移住・定住に資する空き家の利活用施策について検討を行う。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>・ 空き家利活用助成金の交付</p> <p>- 空き家購入</p> <p>- 空き家賃借</p> <p>- 空き家登録</p> <p>- 家財道具等処分</p> <p>・ 空き家バンクの拡充</p> <p>・ 空き家見学会の実施</p> <p>・ 新たな施策の検討</p>				
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	250	重要事業		総合戦略		担当部署	市民協働課	市民相談係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
2・1・7	市民相談事業				5,024千円	5,029千円	5,955 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶1_地方創生施策の推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民からの意見や要望、苦情等を受け付け関係各課と調整し対応することで、市民が抱える問題の解決を図り、市民の声を生かした行政運営に努める。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①市民の声への対応
  - ・受付、対応調整、対応状況管理、全庁的情報共有
- ②市庁舎総合案内運営
- ③おくやみ相談窓口運営
- ④法律相談(月4回：第1～4火曜)及び婚活応援事業(月2回：第2・4日曜の相談業務等)の実施
- ⑤行政相談委員の活動支援

## 【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①市民の声への対応 ②市庁舎総合案内運営 ③おくやみ相談窓口運営 ④法律相談及び婚活応援事業の実施 ⑤行政相談委員の活動支援	①市民の声への対応 ②市庁舎総合案内運営 ③おくやみ相談窓口運営 ④法律相談及び婚活応援事業の実施 ⑤行政相談委員の活動支援	①市民の声への対応 ②市庁舎総合案内運営 ③おくやみ相談窓口運営 ④法律相談及び婚活応援事業の実施 ⑤行政相談委員の活動支援
事業費		5,955	5,955	5,955
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	25	25	25
	一般財源	5,930	5,930	5,930

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	6,612千円	令和6年度決算額	6,576千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①市民の声への対応 令和4年度169件 令和5年度86件 令和6年度82件 ②市庁舎総合案内の運営 ③・法律相談(月4回:第1~4火曜) 令和4年度より、館林市総合福祉センターの指定管理者(館林市社会福祉協議会)の業務に含まれることとなった。 ・婚活応援事業(お見合い・イベント)の実施 見合い実施回数 令和3年度2回 令和4年度7回 令和5年度12回 令和6年度7回 イベント実施回数 令和3年度0回 令和4年度2回 令和5年度2回 令和6年度2回 カップル成立件数 令和3年度2件 令和4年度2件 令和5年度5件 令和6年度3件 婚姻報告件数 令和3年度0件 令和4年度0件 令和5年度0件 令和6年度0件 ※婚活応援事業の委託先:館林市社会福祉協議会 ④行政相談委員の活動支援			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・市政に関する意見への対応については、関係部署と迅速な連絡調整を図り、声を寄せていただいた市民へ遺漏なく回答をすることができている。 ・婚活応援事業(委託事業)については、「女性のスペシャル相談日」を設け、プレゼントを用意したほか、婚活イベントを年2回実施するなど、カップリングに向けた仕掛けを充実させている。
課題	・市民から寄せられた貴重な声を行政運営の改善・改革につなげる。 ・来庁者をスムーズに目的の部署に案内するための庁舎内の情報の集約を強化する。 ・婚活応援事業については、より多くのカップル成立を目指すため、結婚を希望される方々のニーズに合わせた事業を充実させる。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	・市民が市政情報を有効に活用できるよう、関係各課(施設)と連携を図りながら、その収集と共有に努めている。 ・市民に対して市政情報を分かりやすく提供することを心がけ、市政に対する理解と協力を促進する。 ・婚活応援事業(委託事業)については、委託先である社会福祉協議会や婚活応援支援員との連携を更に強め、結婚を希望する方々にとってより活用しやすい制度となるように努めていく。
令和8年度 事業計画	①市民の声への対応(受付、対応調整、対応状況管理、全庁的情報共有) ②市庁舎総合案内の運営 ③おくやみ相談窓口運営 ④法律相談(月4回:第1~4火曜)及び婚活応援事業(月2回:第2・4日曜の相談業務等)の実施 ⑤行政相談委員の活動支援
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	令和4年度より法律相談(月4回:第1~4火曜)については、館林市総合福祉センターの指定管理者(館林市社会福祉協議会)の業務に含まれる。

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	251	重要事業		総合戦略	○	担当部署	産業政策課 産業政策係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
7・1・8	産業政策総務			5,750千円		5,730千円	5,922千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有地（旧土地開発公社保有地）の有効活用を図る。</li> <li>・公民連携による地域の賑わい創出を図る。</li> <li>・産業振興会の在り方を検討する。</li> </ul>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
産業政策総務	
<p>○市有地（旧公社保有地）の民間売却及び有効活用促進、維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通財産に区分された用地の有効活用、売却できるまでの除草等維持管理を行う。</li> </ul> <p>○公拡法に基づく公共事業予定地の確保、適正価格による土地取引推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住みよい街づくりに必要な公共用地（道路、公園、学校等）を計画的に取得するため、一定の要件に該当する土地の売買についての届出・申出を受け付け、公有地としての先行取得の希望調査を実施する。</li> </ul> <p>○産業祭開催に伴う全体統括業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館林市の農業・商業・工業等の事業者と消費者が一体となって、交流都市の物産展やはたらくるま展示、木工広場等の体験ブースの設置、郷土の生産物の販売等により交流人口の拡大を図る。</li> <li>・産業振興会の在り方、産業祭の実施について改善提案をする。</li> </ul>	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	産業政策総務	産業政策総務	産業政策総務	産業政策総務
	○市有地(旧公社保有地)関連事業	○市有地(旧公社保有地)関連事業	○市有地(旧公社保有地)関連事業	○市有地(旧公社保有地)関連事業
	・有効活用	・有効活用	・有効活用	・有効活用
	・維持管理	・維持管理	・維持管理	・維持管理
	○産業振興会の在り方検討			
	・イベントの集約			
事業費		5,922	5,922	5,922
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,414	1,414	1,414
	一般財源	4,508	4,508	4,508

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	市有地(旧公社保有地)の民間売却	3	目標値	1	1	1	1	1
		単位：	実績値	0	1	0	0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	8,562 千円	令和6年度決算額	8,043 千円	
<b>【Do】</b> <b>事業実績</b> <b>(成果)</b> <b>※過去3カ</b> <b>年</b>	<p>○市有地（旧公社保有地）の民間売却及び有効活用促進、維持管理維持管理業務を継続</p> <p>○公拡法に基づく公共事業予定地の確保、適正価格による土地取引推進 令和6年12月より都市計画課へ事業移管</p> <p>○産業祭開催に伴う全体統括業務 令和4年度来場者数：約3万8千人 令和5年度来場者数：約4万1千人 令和6年度来場者数：約4万2千人 ※令和6年度はつつじのまち観光課が総括実施</p> <p>○公民連携による地域資源利活用の仕組みづくり 官と民とを有機的につなぐ仕組みとして、「つなぐ・まちなかフェスinたてばやし」を開催 令和4年度：来場者数約3万人（2回開催合計） 令和5年度：来場者数約2万人（1回開催） コロナ禍が終了し他イベントが通常開催可能となったため、令和5年度にて事業廃止</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	【市有地関係】売却が見込める用地がないことから今後の財産管理について財政課と協議（継続） 【公拡法】業務の一体性から国土利用計画法関係業務の見直し協議実施。都市計画課へ移管（完了） 【産業祭／公民連携】イベントを開催した					
課題	開発公社の解散から約10年が経過し、売却が見込める市有地についての売却は完了した。維持管理業務のみであるため、市有財産管理について見直す時期。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	今後は事業の統廃合が求められる					
令和8年度 事業計画	【市有地関係】普通財産の維持管理業務として業務の見直しを進めるもの 【産業祭】継続するものではあるが、必要経費が増加しており産業振興会内で内容を精査したい。					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	252	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・2	まちなか商業活性化事業				15,243 千円	8,872 千円	8,233 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	中心市街地における駐車場の確保、商店街や商工会議所などが主体となったイベントへの助成などにより、便利で快適な市民生活を確保する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○市営駐車場設置（大手町市営駐車場、下町市営駐車場※用地賃借） ○初市開催負担金 ・主催：商店街連合会、商工会議所、館林市 ○七夕まつり開催負担金 ・主催：たてばやし七夕まつり実行委員会（5商店街、商工会議所、会議所青年部、青年会議所、館林市） ○商店街環境改善事業費補助金 ・内容：プランター設置等による街路装飾事業に対する補助 ・積算根拠：事業費の1/3補助（館林市商店街等活性化事業助成要綱） ○商店街活性化事業費助成金 ・内容：商店街、商店街連合会等が行う研修やイベントを補助し、市商業の発展に寄与する。 ・積算根拠：事業費の1/3補助（館林市商店街等活性化事業助成要綱） ○まちづくり総合支援事業助成金 ・内容：商業及び近隣商業地域に設置してあり、商店街又は街路灯維持管理団体（8団体、201基）が管理している街路灯への補助。 ・積算根拠：電気料1年分（9月分×12か月分）の30%を補助 ○まちなかフェス開催委託 交流人口の拡大と公共空間を利活用して官民連携のフェスを開催する。 ○中央通り線出店促進事業 中央通り線沿線の民地を活用して、コンテナハウスを設置し、創業支援と福祉施設の販路拡大を支援する「商福連携施設」を運営。中央通り線の土地の形状の特性を活かした、新たな店舗出店や新規投資の可能性について民間事業者の投資を誘発するモデル事業。	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	8,233	8,233	8,233
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
一般財源		8,233	8,233	8,233

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の便利さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	30.5	31.5	32.5	33.5	34.5
		単位：%	実績値	-	-	-	37.1	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	8,233千円	令和6年度決算額	7,062千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>初市開催（来場者数） 令和6年度：12,000人、令和5年度：8,000人、令和4年度：8,000人</p> <p>②七夕まつり開催（来場者数） 令和6年度：荒天により中止、令和5年度：38,000人、令和4年度：37,000人</p> <p>③まちなかフェス開催委託 「つなぐ・まちなかフェスinたてばやし」開催（来場者数） 令和5年度：7,500人（春7,500人、秋 開催中止）、令和4年度：30,500人（春11,500人 秋19,000人）、令和3年度：7,500人</p> <p>④麺-1グランプリin館林 令和6年度：40,000人、令和5年度：60,000人、令和4年度：開催中止</p> <p>⑤グルメ総選挙 ・家でも店でも楽しめるグルメ総選挙 参加店数 令和6年度：39店舗 45メニュー 令和5年度：32店舗、32メニュー 令和4年度：41店舗、41メニュー</p> <p>⑥まちづくり総合支援事業助成金（街路灯電気料補助） 令和6年度：493千円（8団体200基）、令和5年度：473千円（8団体201基）、令和4年度505千円（8団体203基）</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・各種イベントが開催されているが、近年増加傾向にあるゲリラ豪雨等の荒天により、七夕まつりの中止や麺-1グランプリの集客減などの影響を受けてしまった。 ・また中央通り線の拡幅工事の進捗に反比例して、商店数が減少しており、買物（商店、スーパーなど）の便利さ、まちなかのにぎわい満足度が得られにくい状況になっている。					
課題	・中央通り線拡幅事業により減少した商業活動の再生 ・イベント開催に係るコスト高騰に係る対応 ・商店街の再編					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・中央通り線沿線の商業活動再生施策 ・商店街環境改善事業費補助金及び商店街活性化事業費助成金によるまちなかのにぎわい満足度の向上					
令和8年度 事業計画	①中央通り線出店促進事業 ②市営駐車場設置（大手町市営駐車場、下町市営駐車場※用地賃借） ③初市開催負担金 ④七夕まつり開催負担金 ⑤商店街環境改善事業費補助金 ⑥商店街活性化事業費助成金 ⑦まちづくり総合支援事業助成金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小            ※前年度比較					
備考						



## 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	253	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
7・1・2	創業支援事業				8,333 千円		8,127 千円	8,114 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	創業に興味のある方や創業しようと考えている方が、新しく事業を起こし、事業を継続することができるために、創業の段階に応じた支援を行い、空き店舗などの遊休不動産の活用や雇用の創出に繋げる。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ②創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） 出店エリアによってインセンティブを設定 まちなか重点エリア加算（＋700千円）、ウォーカブルにぎわい創出ゾーン加算（＋500千円） ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業ネットワーク（日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、三手家守舎、Tatebayashi West Farm Market、館林市） ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ、コワーキングスペース運営	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		・創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ・創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ・1分PR出演料補助 ・店舗PR（広告宣伝）補助 ・土業導入補助 ・店舗診断 ・創業なんでも相談会開催 ・会社設立支援補助 ・チャレンジショップ、コワーキングスペース運営	・創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ・創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ・1分PR出演料補助 ・店舗PR（広告宣伝）補助 ・土業導入補助 ・店舗診断 ・創業なんでも相談会開催 ・会社設立支援補助 ・チャレンジショップ、コワーキングスペース運営	・創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ・創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ・1分PR出演料補助 ・店舗PR（広告宣伝）補助 ・土業導入補助 ・店舗診断 ・創業なんでも相談会開催 ・会社設立支援補助 ・チャレンジショップ、コワーキングスペース運営
	事業費	8,114	8,114	8,114
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
財源	その他	489	489	489
	一般財源	7,625	7,625	7,625

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	遊休不動産の利活用件数 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	6	8	10	12	15
		単位：件	実績値	4	8	12	15	
総合計画指標	【市民アンケート】商工業（経営改善、跡取り、担い手など）の振興の満足度	6.7	目標値	8.7	9.7	10.7	11.7	12.7
		単位：%	実績値	－	－	－	6.7	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	8,114 千円	令和6年度決算額	5,638 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■遊休不動産の利活用件数 令和6年度までの累計実績 15件 (令和6年度:3件、令和5年度:4件、令和4年度:4件)</p> <p>①創業塾開催 ・基本編(単発講座、年2回) 令和6年度:年1回(創業塾8人)、令和5年度:年1回(創業塾11人)、令和4年度:年2回(創業塾9人、創業カフェ11人) ・応用編(5回連続講座、年1回) 令和6年度:年1回(7人)、令和5年度:年1回(5人)、令和4年度:年1回(7人) ・応用編受講後創業した人数 令和6年度:2人、令和5年度:3人、令和4年度:4人</p> <p>②創業支援補助金 ・設備費補助(改装・設備費) 令和6年度:3件、令和5年度:2件、令和4年度:1件</p> <p>③店舗診断 令和6年度:1件、令和5年度:1人、令和4年度:2件</p> <p>④創業なんでも相談会 令和6年度:0件、令和5年度:1件、令和4年度:1件</p> <p>⑤会社設立支援補助 令和6年度【新規】0件、令和5年度:2件、令和4年度:0件</p> <p>⑥チャレンジショップ管理</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	創業なんでも相談会は希望者がおらず中止となったが、創業塾の実施や創業応援ネットワークによる支援、創業支援補助金等、他事業の展開により、市内での創業者が増加した。また、それに伴い、遊休不動産の利活用をするケースも増えたことで、関連する指標の目標値を達成することができた。				
課題	・創業のあらゆるステージに対応した支援の実施 ・創業経験者による創業支援 ・創業塾修了後の起業支援の継続				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)				
令和8年度 事業計画	①創業塾開催 ・基本編(単発講座、年1回)   ・応用編(5回連続講座、年1回) ②創業支援補助金 ・設備費補助(改装・設備費) ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業応援ネットワーク(日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、三手家守舎、Tatebayashi West Farm Market、館林市) ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ管理運営				
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	254	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課 商業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
7・1・2	たてばやし商業支援事業			11,117 千円		14,348 千円	13,446 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
施策の方向	▶3_経営の支援
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	業者の稼ぐ力や遊休不動産の活用によるエリアの価値、「食」を資源とした地域のブランディングなど、公民連携により、地域の価値を高める事業を実施する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①商店店舗診断 ②リノベーションまちづくり事業 ・「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 ・「百年小麦」ブランド化委員会 公式ホームページの運用、「百年小麦」生産収穫体験、「百年小麦」食育事業、「百年小麦」販売促進 「百年饅頭」給食導入 ④店舗ウェルカム補助金 中心市街地及びウォークアブルにぎわい創出ゾーンへのインセンティブを与えて、既存商業者の市内出店を誘導する施策。 ⑤店舗リニューアル助成金 店舗診断の結果、売上増加、新規顧客獲得等の事業継続のために店舗のリニューアル等が必要と診断された場合、その費用の一部を助成する。	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業 ・店舗ウェルカム補助金 ・店舗リニューアル助成金	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業 ・店舗ウェルカム補助金 ・店舗リニューアル助成金	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業 ・店舗ウェルカム補助金 ・店舗リニューアル助成金
事業費		13,446	13,446	13,446
財源	国庫	1,650	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	11,796	13,446	13,446

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	337	目標値	338	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	231	－	－	－	
総合計画指標	遊休不動産の利活用件数 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	6	8	10	12	15
		単位：件	実績値	4	8	12	15	
総合計画指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の便利さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	30.5	31.5	32.5	33.5	34.5
		単位：％	実績値	－	－	－	37.1	
総合計画指標	【市民アンケート】商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度	6.7	目標値	8.7	9.7	10.7	11.7	12.7
		単位：％	実績値	－	－	－	6.7	
総合戦略KPI	既存商店店舗診断の件数	2	目標値	6	8	10	12	15
		単位：件	実績値	1	2	7	11	

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	13,446千円	令和6年度決算額	6,588千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■遊休不動産の利活用件数 令和6年度までの累計実績 15件 (令和6年度:3件、令和5年度:4件、令和4年度:4件)</p> <p>■既存商店店舗診断 令和6年度までの累計実績 11件 (令和6年度:4件、令和5年度:5件、令和4年度:1件)</p> <p>■店舗ウェルカム補助件数 令和6年度 0件、令和5年度 3件、令和4年度 2件 (令和4年度より)</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にあ る	■ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値のとおりの実績をあげることができた。</p> <p>既存商店店舗診断の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値を実績値が下回っている。原因としては、商店主が中小企業診断士の店舗訪問及び3回の面談に対して抵抗感を持ったことなどが考えられるものの、令和6年度は4件の実績があった。</p>				
課題	<p>・遊休不動産の利活用件数の増加</p> <p>・既存商店への店舗診断の実施による経営改善、事業継続、魅力ある商品の・サービスの提供による売り上げ増加</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p>■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)</p>				
	<p>・リノベーションまちづくりの推進によって、遊休不動産を利活用する人材の育成とまちなかのにぎわい満足度の向上</p> <p>・商店店舗診断の実施による年間商品販売額の増加と商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度向上</p> <p>・たてばやしグルメ地域ブランディング事業による「百年小麦」を核とした商品の付加価値向上</p>				
令和8年度 事業計画	<p>①商店店舗診断</p> <p>②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催</p> <p>・体験ワークショップ 1回</p> <p>・講座(全6回) ※最終回にマルシェ出店</p> <p>③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会</p> <p>・公式ホームページの運用</p> <p>・「百年小麦」生産収穫体験、食育事業、販売促進</p>				
予算規模 見込み	<p>■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較</p>				
備考					

## 【令和 6 年度事業】実施計画書

整理番号	255	重要事業		総合戦略		担当部署	商工課	工業振興係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・4	観光総務				7,500 千円	8,000 千円	10,000 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	館林まつり運営委員会に対して補助金を交付し、市民総参加を旨とした館林まつりを開催することにより、市民の豊かな心のふれあいを求め、郷土愛を培い、さらにいっそうの親睦を深めるとともに明るく平和な館林を築くことを目的とする。
令和 6 年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○館林まつり事業費補助金（交付額）	
・ R 6 年度	
当初予算：10,000,000円	
日 程：令和 6 年 7 月 2 0 日（前夜祭）	
令和 6 年 7 月 2 1 日（本まつり）	
令和 6 年 7 月 2 7 日（手筒花火大会）	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業 スケジュール		○館林まつり事業費補助金（交付額）	○館林まつり事業費補助金（交付額）	○館林まつり事業費補助金（交付額）
	事業費	10,000	13,000	13,000
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	2,000	0	0
	一般財源	8,000	13,000	13,000

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	館林まつりイベント入込数	110,000	目標値	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
		単位：人	実績値	-	30,000	120,000	130,000	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	10,000千円	令和6年度決算額	10,000千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>○館林まつり事業補助金（交付額）</p> <p>R6年度：10,000,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第53回館林まつり（前夜祭・本まつり） 期 間：R6.7.13・14 会 場：市街地メインストリート（本町通り） 来場者：推定13万人（前夜祭7万5千人、本まつり5万5千人）</li> <li>・第24回館林手筒花火大会 期 間：R6.7.27 会 場：館林城ゆめひろば 来場者：33,000人（会場内及び周辺）</li> </ul> <p>R5年度：8,000,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第52回館林まつり（前夜祭・本まつり） 期 間：R5.7.15・16 会 場：市街地メインストリート（本町通り） 来場者：推定12万人（前夜祭6万人、本まつり6万人）</li> <li>・第24回館林手筒花火大会 期 間：R5.7.22 会 場：館林城ゆめひろば 来場者：30,000人（会場内及び周辺）</li> </ul> <p>R4年度：4,919,063円（新型コロナウイルスの影響で館林まつりは中止）※代替事業費等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第23回館林手筒花火大会 期 間：R4.7.23 会 場：館林城ゆめひろば 来場者：30,000人（会場内及び周辺）</li> <li>・館林まつりみこし展示事業 期 間：R4.7.24～R4.8.21（29日間） 会 場：アゼリアモール1階アゼリアホール前 来場者：3,020人（平日80人*19日間、土日祝日150人*10日間）</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・ R6年度は70周年記念事業として盛大に開催し、前夜祭、本まつりとも多くの来場者でにぎわった。				
課題	<p>・ 人件費や物価の高騰に伴い、館林まつりの経費が大幅に増加してるため、今後の開催に向け、事業内容の見直しが必要である。</p> <p>・ 参加団体が年々減少を続けており、現行事業の実施が危ぶまれている。</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	<p>■ 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（<input type="checkbox"/> 一部廃止）</p> <p>・ 参加団体の減少や人件費及び物価の高騰による事業費の拡大等、現行事業の継続が困難になっているため、実施日程や事業内容の検討を進める。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>・ 第55回館林まつり</p> <p>・ 第27回手筒花火大会</p>				
予算規模 見込み	<p>■ 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小</p>				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	256	重要事業	○	総合戦略		担当部署	都市計画課	計画指導係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・4・1	都市計画総務				4,535千円	6,063千円	19,267千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶23_地域性に応じた土地利用ができているまちになる
施策の方向	▶1_コンパクトシティの推進
施策の方向	▶2_地域に合わせた土地利用の検討
施策の方向	▶3_用途地域の見直し
施策の方向	▶5_適正な市街化区域の設定

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	適切な土地利用の規制・誘導を行い、良好な市街地の形成に努める。
----------------	---------------------------------

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①土地利用計画等決定推進事業【重要事業】
- ・都市計画手続き（区域区分の変更、用途地域の変更、地区計画の変更、工業団地造成事業の決定等）
  - ・市街化調整区域におけるまちのまとまりの検討
  - ・館林市立地適正化計画の改定（防災指針の作成）【新規事業】
  - ・館林IC周辺における土地利用計画の検討
  - ・南北構想路線、スマートICの検討

- ②都市計画総務
- ・各種許認可及び届出等事務（風致地区、立地適正化計画、地区計画等）

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	①土地利用計画等決定推進事業【重】 ・都市計画手続き（区域区分の変更、用途地域の変更、地区計画の変更、工業団地造成事業の決定等） ・市街化調整区域におけるまちのまとまりを検討 ・館林市立地適正化計画の改定（防災指針の作成）【新】 ・館林IC周辺における土地利用計画の検討 ・南北構想路線、スマートICの検討	①土地利用計画等決定推進事業【重】 ・都市計画手続き（区域区分の変更、用途地域の変更、地区計画の変更、工業団地造成事業の決定等） ・市街化調整区域におけるまちのまとまりを検討及び設定 ・館林IC周辺における土地利用計画の検討 ・南北構想路線、スマートICの検討	①土地利用計画等決定推進事業【重】 ・都市計画手続き（区域区分の変更、用途地域の変更、地区計画の変更、工業団地造成事業の決定等） ・市街化調整区域におけるまちのまとまりを検討及び設定 ・南北構想路線、スマートICの検討  ②都市計画総務 ・都市計画基礎調査
	事業費	19,267	5,440	10,310
	国庫	6,900	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
財源	その他	69	69	69
	一般財源	12,298	5,371	10,241

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	居住誘導区域の人口密度【平成27年度】	39	目標値	-	-	-	-	39
		単位：人/ha	実績値	-	-	-	-	
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	19,267千円	令和6年度決算額	14,671千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館林市都市計画マスタープランの改定（R3.3）</li> <li>・産業拠点である大島地区の区域区分の見直し（随時編入）</li> <li>・産業拠点である北部第四地区の区域区分の見直し（随時編入）</li> <li>・各種都市計画の変更等（用途地域・地区計画）</li> <li>・都市計画基礎調査</li> <li>・都市計画基本図の更新</li> <li>・各種許認可及び届出等事務（風致地区・立地適正化計画・地区計画等）</li> <li>・市街化調整区域におけるまちのまとまりの検討</li> <li>・館林市立地適正化計画の改定（防災指針の作成）に向けた作業</li> <li>・館林IC周辺における土地利用計画の検討（都市計画手法）</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	館林市都市計画マスタープランでの将来都市構造における「持続可能な住民生活を実現する考え方」と「産業や観光の活性化により市の活力を高める考え方」の2つの考え方を踏まえ、区域区分と用途地域等の見直しに向けた都市計画手続きや検討を実施した。 館林市立地適正化計画の改定に向け作業を進めた。 今後も関係課等と連携を図りながら、事業を推進していく。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画によるコンパクトシティ政策の推進と開発許可制度の厳格な運用</li> <li>・今後の都市的土地利用に向けた農業振興地域整備計画等との調整</li> </ul>
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、産業拠点等の土地利用計画や人口減少下におけるまちのまとまりなどを踏まえた上で、適切な土地利用の規制や誘導等により、当該事業を推進していく。</li> </ul>
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用に合わせた区域区分等の見直しに向けた検討</li> <li>・都市計画基礎調査</li> </ul>
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	257	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	都市計画課	施設計画係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・4・2	中央通り線道路改良事業				761,448千円	183,669千円	134,690千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶6_ウォーカブルなまちづくりの推進
施策の方向	▶2_道路の利便性と安全性の向上

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の中心部を南北に通る骨格軸であり、近隣コミュニティ相互の連携を強化し、歩行者の安全な通行を確保するため道路整備を実施。群馬県の一次緊急輸送道路に指定されており、電線類の地中化により、災害時の通路の確保するとともに都市景観の向上を図る。 事業期間：平成28年度～令和11年度 中央通り線 560m、大手町大街道線 220m
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
中央通り線道路改良事業【重要事業】	
平成29年度 用地測量、建物等補償調査（群馬県実施）	
平成30年度 用地買収 A= 376.31㎡	
令和元年度 用地買収 A= 357.08㎡	
令和2年度 用地買収 A=1,674.71㎡	
令和3年度 用地買収 A= 462.37㎡	
令和4年度 用地買収 A= 854.69㎡	
令和5年度 用地買収 A= 389.14㎡	
令和6年度 用地買収 A= 727.00㎡	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	中央通り線道路改良事業【重】 【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 A=727.00㎡ ・次年度以降の用地交渉 134,690	中央通り線道路改良事業【重】 【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 ・次年度以降の用地交渉 159,000	中央通り線道路改良事業【重】 【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 159,000
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	102,250	126,000	126,000
	市債	27,500	27,500	27,500
財源	その他	0	0	0
	一般財源	4,940	5,500	5,500

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	都市計画道路の整備率	64.4	目標値	－	－	－	－	65.2
		単位：％	実績値	－	－	－	－	
活動指標	都市計画道路の整備延長	39.37	目標値	－	－	－	－	39.87
		単位：km	実績値	－	－	－	－	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	172,458 千円	令和6年度決算額	157,710 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	～令和3年度	用地買収	2,900.47 m <sup>2</sup>	
	令和4年度	用地買収	854.69 m <sup>2</sup>	
	令和5年度	用地買収	389.14 m <sup>2</sup>	
	令和6年度	用地買収	387.08 m <sup>2</sup>	
	合計	用地買収	4,531.38 m <sup>2</sup>	
		(対象面積	6,230.74 m <sup>2</sup> )	
		進捗率	72.7%	
	※契約年度ベース			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	市による計画的な用地取得により、県による段階的な工事進捗が図られている。
課題	用地取得に係る関係権利者との交渉・協議の円滑化
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	事業効果の早期発現のため、用地取得・工事を街区単位で進めていく。
令和8年度 事業計画	・用地交渉（市） ・電線共同溝工事、道路改良工事（県）
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	258	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	緑のまち推進課 公園管理係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・4・4	市街地推進事業			0千円	0千円	43,329千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶5_コンパクトシティの推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	①コンパクトシティの推進に向けた人口減少対策、商業振興・観光施策及び都市機能をまちなかへ誘導することと併せて、公的不動産（PRE）、歴史的建造物の利活用によるにぎわい創出により、都市を再生する。
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### 市街地推進事業【新規事業】【重要事業】

#### 太陽の園改修工事

トイレ更新工事、インターロッキングブロック敷設  
 撤去移設工 1式  
 造成工 1式  
 給排水設備工 1式  
 電気設備工 1式  
 管理施設工 1式  
 建築施設組立工 1式

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	太陽の園改修工事	（社会実験期間）		太陽の園改修工事
	トイレ更新工事ほか 撤去移設工 1式 造成工 1式 給排水設備工 1式 電気設備工 1式 管理施設工 1式 建築施設組立工 1式			箱火の見設置、壁・塀設置 撤去移設工 1式 造成工 1式 給排水設備工 1式 電気設備工 1式 管理施設工 1式 建築施設組立工 1式
事業費		43,329	0	28,963
財源	国庫	20,366	0	14,481
	県費	0	0	0
	市債	18,300	0	13,000
	その他	1,560	0	0
	一般財源	3,103	0	1,482

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指 標	居住誘導区域の人口密度【平成27年度】	39	目標値	-	-	-	-	39
		単位：	実績値	-	-	-	-	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	千円	令和6年度決算額	千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<div> <div>区画整理課にて事業実施のため 整理番号259に統合</div> </div>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	成果の推進に寄与し ている事業である
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている
評価根拠				
課題				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )			
令和8年度 事業計画				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較			
備考				

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	259	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	区画整理課	市街地推進係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）		当初予算額（R6）
8・4・4	市街地推進事業			1,196千円		22,276千円		22,472千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶5_コンパクトシティの推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	①コンパクトシティの推進に向けた人口減少対策、商業振興・観光施策及び都市機能をまちなかへ誘導することと併せて、公的不動産（PRE）、歴史的建造物の利活用によるにぎわい創出により、都市を再生する。 ②まちづくりマネジメント法人において、館林駅西側三地区の土地区画整理事業施行区域内の公的不動産（PRE）を活用して、市街地を形成し、コンパクトシティを推進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
市街地推進事業【新規事業】【重要事業】	
①都市再生事業【重要事業】	
・都市構造再編集集中支援事業 市民センターにおける文化庁国立近現代建築資料館との連携事業を推進する。（提案事業）	
・官民連携まちなか再生推進事業 エリアプラットフォームの構築と都市の再生を目指す将来ビジョンを検討する。（令和7年度ビジョン策定予定）	
・歴史的街並み景観創出補助金 歴史の小径を歩いて楽しめる散策路とするための工作物改修等への補助を行う。	
②市街地形成事業【新規事業】【重要事業】	
令和6年度に利活用可能な未利用地である公的不動産（PRE）を活用し、市街地を形成する。	
・未利用地において、住民がどのような都市機能（日常生活に必要な施設等）を望むのか、意向調査を行う。	
・住民意向調査を踏まえて、未利用地で事業者がどのような事業を実施したいのか、意向調査を行う。	
・住民及び事業者の意向調査を踏まえて、事業実施者の募集要項等作成し、事業者を募集及び誘致を行う。	
・事業者との契約を行う。	
※得られる効果（コンパクトシティの推進、市街地形成、公園整備費の削減、維持管理費の削減、固定資産税の税込増等）	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①都市再生事業【重】 公的不動産（PRE）及び歴史的建造物を活用したにぎわい創出により、都市を再生する。	①都市再生事業【重】 公的不動産（PRE）及び歴史的建造物を活用したにぎわい創出により、都市を再生する。	①都市再生事業【重】 公的不動産（PRE）及び歴史的建造物を活用したにぎわい創出により、都市を再生する。
		②市街地形成事業【新】【重】 利活用可能な未利用地である公的不動産（PRE）を活用し、市街地を形成する。	②市街地形成事業【新】【重】 利活用可能な未利用地である公的不動産（PRE）を活用し、市街地を形成する。	②市街地形成事業【新】【重】 利活用可能な未利用地である公的不動産（PRE）を活用し、市街地を形成する。
事業費		22,472	25,000	25,000
財源	国庫	8,795	10,000	10,000
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,677	15,000	15,000

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	居住誘導区域の人口密度【平成27年度】	39	目標値	-	-	-	-	39
		単位：人/ha	実績値	-	-	-	-	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	65,801 千円	令和6年度決算額	54,944 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■ 令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 官民連携まちなか再生推進支援業務</li> <li>・ 市民センタートライアル・サウンディングの実施</li> </ul> <p>■ 令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館林駅前通りでのパークレット社会実験の実施</li> <li>・ 市民センタートライアル・サウンディング事業の開始</li> <li>・ 太陽の園の改修に向けた、官民連携での改修計画の検討</li> <li>・ まちなかにぎわいプロジェクトによる公的不動産利活用アイデアの募集と実現に向けた支援</li> </ul> <p>■ 令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館林駅東エリアプラットフォームの設立</li> <li>・ 太陽の園の改修工事実施</li> <li>・ 市民センタートライアル・サウンディング事業者との連携によるイベントを実施</li> <li>・ 一般社団法人館林アーバンデザインとの連携による公的不動産の利活用促進</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>官と民が一体となり、コンパクトシティの推進及びウォーカブルなまちづくり、にぎわい創出といったまちなかの魅力向上を目指すため、館林駅東エリアプラットフォームを設立した。 都市機能誘導のため、公的不動産の利活用を官民連携により推進した。</p>				
課題	<p>エリアプラットフォームにおいて、コンパクトシティの推進及びウォーカブルなまちづくり、にぎわい創出といったまちなかの魅力向上を達成するための「未来ビジョン」を策定する必要がある。</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	<p>■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)</p>				
	<p>行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、地域課題解決に関心がある企業、商店街、商工会議所等が集まるエリアプラットフォームにより「未来ビジョン」を策定し、官民連携で館林駅東エリアのまちの再生を推進する。 行政区、商店街との意見交換等を実施し、太陽の園の整備方針を定める。 より一層、公的不動産の有効活用を図りつつ、引き続き官民が連携して都市機能の適切な誘導を進めていく必要がある。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>エリアプラットフォームにおいては、まちなかの「未来ビジョン」を策定し、その実現に向けた施策を官民連携で推進する。 太陽の園の改修工事を実施する。 区画整理地内の公園予定地について、住民との意見交換を行うとともに、官民連携による都市機能の誘導を通じて整備を推進する。</p>				
予算規模 見込み	<p>□ 同規模 ■ 拡大 □ 縮小</p>				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	260	重要事業	○	総合戦略		担当部署	都市計画課	計画指導係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・4・1	都市計画総務				4,535千円	6,063千円	19,267千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶23_地域性に応じた土地利用ができているまちになる
施策の方向	▶1_コンパクトシティの推進
施策の方向	▶2_地域に合わせた土地利用の検討
施策の方向	▶3_用途地域の見直し
施策の方向	▶5_適正な市街化区域の設定

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	適切な土地利用の規制・誘導を行い、良好な市街地の形成に努める。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①土地利用計画等決定推進事業【重要事業】 ・都市計画手続き（区域区分の変更、用途地域の変更、地区計画の変更、工業団地造成事業の決定等） ・市街化調整区域におけるまちのまとまりの検討 ・館林市立地適正化計画の改定（防災指針の作成）【新規事業】 ・館林IC周辺における土地利用計画の検討 ・南北構想路線、スマートICの検討  ②都市計画総務 ・各種許認可及び届出等事務（風致地区、立地適正化計画、地区計画等）	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	19,267	5,440	10,310
	財源			
	国庫	6,900	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
財源	その他	69	69	69
	一般財源	12,298	5,371	10,241

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	居住誘導区域の人口密度【平成27年度】	39	目標値	-	-	-	-	39
		単位：人/ha	実績値	-	-	-	-	
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	19,267千円	令和6年度決算額	14,671千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館林市都市計画マスタープランの改定（R3.3）</li> <li>・産業拠点である大島地区の区域区分の見直し（随時編入）</li> <li>・産業拠点である北部第四地区の区域区分の見直し（随時編入）</li> <li>・各種都市計画の変更等（用途地域・地区計画）</li> <li>・都市計画基礎調査</li> <li>・都市計画基本図の更新</li> <li>・各種許認可及び届出等事務（風致地区・立地適正化計画・地区計画等）</li> <li>・市街化調整区域におけるまちのまとまりの検討</li> <li>・館林市立地適正化計画の改定（防災指針の作成）に向けた作業</li> <li>・館林IC周辺における土地利用計画の検討（都市計画手法）</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	館林市都市計画マスタープランでの将来都市構造における「持続可能な住民生活を実現する考え方」と「産業や観光の活性化により市の活力を高める考え方」の2つの考え方を踏まえ、区域区分と用途地域等の見直しに向けた都市計画手続きや検討を実施した。 館林市立地適正化計画の改定に向け作業を進めた。 今後も関係課等と連携を図りながら、事業を推進していく。					
課題	・立地適正化計画によるコンパクトシティ政策の推進と開発許可制度の厳格な運用 ・今後の都市的土地利用に向けた農業振興地域整備計画等との調整					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・引き続き、産業拠点等の土地利用計画や人口減少下におけるまちのまとまりなどを踏まえた上で、適切な土地利用の規制や誘導等により、当該事業を推進していく。					
令和8年度 事業計画	・土地利用に合わせた区域区分等の見直しに向けた検討 ・都市計画基礎調査					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	261	重要事業		総合戦略		担当部署	都市計画課	計画指導係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・4・1	開発指導				284千円	284千円	270千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶23_地域性に応じた土地利用ができているまちになる
施策の方向	▶4_開発許可制度の運用

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	良好な宅地を確保し、無秩序な市街地拡散を抑制する。
----------------	---------------------------

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### 開発指導

- ・開発行為許可申請等の許認可事務
- ・開発登録簿の調製及び保管
- ・館林市開発事業指導要綱に基づく事前協議事務
- ・開発許可基準の見直し
- ・被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加
- ・開発許可事務連絡協議会への参加
- ・庁内開発行為関係事務説明会の開催

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	開発指導	開発指導	開発指導	開発指導
	・開発許可基準の見直し	・開発許可基準の見直し	・開発許可基準の見直し	・開発許可基準の見直し
	・被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加	・被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加	・被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加	・被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加
	・開発許可事務連絡協議会への参加	・開発許可事務連絡協議会への参加	・開発許可事務連絡協議会への参加	・開発許可事務連絡協議会への参加
	・庁内開発行為関係事務説明会の開催	・庁内開発行為関係事務説明会の開催	・庁内開発行為関係事務説明会の開催	・庁内開発行為関係事務説明会の開催
事業費		270	270	270
財源	国庫	0	0	0
	県費	270	270	270
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	270 千円	令和6年度決算額	159 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・開発許可申請等事務処理件数 令和2年度：94件 令和3年度：109件 令和4年度：100件 令和5年度：80件 令和6年度：65件			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	都市計画法に基づく開発許可等において、適切な許認可業務を行うことにより、秩序ある開発等が行われることで、良好な環境形成や安全性の確保に寄与している。今後も関係課等と連携を図りながら、事業を推進していく。				
課題	市街化区域に居住や都市機能を誘導すべき区域を設定し、コンパクトなまちづくりを推進する一方で、市街化調整区域の地域コミュニティの維持が難しくなっている状況であり、市街化調整区域における“まちのまとまり”に向けて、立地基準の見直しなどの誘導手法も検討する必要がある。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	基準の見直し等も含め、引続き、都市計画法に基づく適切な許認可業務を遂行する。 盛土規制法の運用開始に伴う群馬県から権限移譲あり。				
令和8年度 事業計画	・開発許可基準の見直し ・庁内開発行為関係事務説明会の開催 ・開発許可研修への参加 ・被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加 ・開発許可事務連絡協議会への参加 ・県開発審査会への諮問				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	262	重要事業	○	総合戦略		担当部署	都市計画課	施設計画係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・4・5	地籍調査事業				23,993千円	23,695千円	21,176千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶23_地域性に応じた土地利用ができているまちになる
施策の方向	▶6_地籍調査の推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	土地の境界及び地番・地目・地積を明確にすることにより、土地をめぐる行政活動・経済活動すべての基礎データを築き、土地の管理や活用における利便性向上を図る。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### 地籍調査事業【重要事業】

- ・仲町外地区地籍図原図等作成  
地籍測量結果に基づき、地籍図・地籍簿を作成し、地権者への閲覧等を行う。
- ・本町一丁目外地区地籍測量  
地権者境界立合い、筆界点の観測及び測定、計算等を行う。
- ・西本町外地区調査図素図等作成  
調査図素図作成や登記簿と公図の相違箇所を収集する等、次年度地籍調査に必要な基礎資料とする。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	21,176	22,000	22,000
	国庫	0	0	0
	県費	12,102	12,000	12,000
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
財源		一般財源	9,074	10,000

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	地籍調査実施面積	10.17	目標値	11.16	11.48	11.64	11.76	11.87
		単位：km <sup>2</sup>	実績値	11.16	11.49	11.66	11.81	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	18,932 千円	令和6年度決算額	18,320 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和4年度 調査完了 上早川田町1地区 令和5年度 調査完了 上早川田町2地区、大手町地区 令和6年度 調査完了 仲町外地区			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	地籍調査で正確な地籍を整備することで、土地の境界紛争の未然防止、課税の適正化、公共事業や都市開発の円滑化、災害被災地の復旧工事の促進などの効果がある。				
課題	事業を開始した平成16年度からこれまでは郷谷地区、渡瀬地区の地籍調査を行ってきたが、令和4年度からは都市計画事業をはじめとした公共事業の実施や土地取引の円滑化等を目的として、市街地の地籍調査に着手している。 事業に際しては市街地特有の課題として、複雑な土地の権利関係の整理や土地境界の合意形成に苦慮している。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )				
	計画的な事業実施に努める。				
令和8年度 事業計画	・西本町外地区 地籍図原図等作成 ・代官町外地区 境界立会、測量 ・本町二丁目外地区 調査図素図等作成				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	263	重要事業		総合戦略		担当部署	安全安心課 交通防犯係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
2・1・11	交通安全活動推進事業			36,345千円	36,833千円	46,853千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶4_連携による交通安全対策の推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通指導体制の充実と交通安全活動を普及啓発することにより、交通秩序の確立及び交通事故防止に努める。</li> <li>・高齢者が公共交通機関を利用せずに医療機関等までタクシーを利用した場合に、その料金の一部を補助することにより、高齢者の通院等の便宜を図る。</li> </ul>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①交通安全活動推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・館林地区三交連絡協議会 四季の交通安全運動等における啓発活動を実施。</li> <li>・高齢者免許返納タクシー券 70歳以上の高齢者が運転免許を自主返納した場合、タクシー券を交付。 交付枚数：24枚（2年間有効） 助成額：500円（1回）</li> </ul> ②高齢者医療機関通院等助成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者通院等タクシー券 70歳以上の高齢者が医療機関を受診する際にタクシーを利用した場合、タクシー料金の一部を助成。 交付枚数：年間36枚 助成額：500円（1回） 令和2年度から一部（8枚）の用途制限解除する実証実験を実施 令和3年度から相乗り時の複数枚使用可 令和4年度から用途制限を撤廃 令和5年度から利用枚数24枚から36枚へ拡充する実証実験を実施 令和6年度からタクシー制度改正への取り組みの一環として、70歳以上の重度障がい者、要支援・要介護認定者含む</li> </ul> ③自動車誤発進防止装置設置費補助事業 高齢運転者の交通事故防止及び事故被害軽減を図るため、誤発進防止装置を後付け設置した場合の費用の一部補助	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	46,853	46,853	46,653
	国庫	0	0	0
	県費	106	106	106
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
財源		46,747	46,747	46,547
		一般財源		

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	交通事故発生件数【総合戦略KPIを兼ねる】※数値は年集計	283	目標値	282	281	281	280	280
		単位：件	実績値	281	277	295	252	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	45,833千円	令和6年度決算額	38,366千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>①交通安全活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館林地区三交連絡協議会による啓発活動実績 令和4年度：春：決起集会・交通安全パトロール 夏：街頭啓発 秋：街頭啓発・交通安全フェスティバル 冬：交通安全運動出動式・街頭啓発 春・夏：交通安全啓発映像放送 令和5年度：春：街頭啓発 夏：街頭啓発 秋：警察音楽隊演奏会・交通安全フェスティバル 冬：街頭啓発 令和6年度：春：決起集会・街頭啓発 夏：街頭啓発 秋：警察音楽隊演奏会・交通安全フェスティバル 冬：街頭啓発</li> <li>・高齢者免許自主返納事業補助実績 令和4年度：申請者数 205人/利用枚数 1,846枚 令和5年度：申請者数 155人/利用枚数 1,297枚 令和6年度：申請者数 194人/利用枚数 1,057枚</li> </ul> <p>②高齢者医療機関通院等助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者通院等タクシー料金補助実績 令和4年度：申請者 6,509人 / 利用枚数 37,999枚 令和5年度：申請者 6,740人 / 利用枚数 45,334枚 令和6年度：申請者 9,185人 / 利用枚数 58,173枚</li> </ul> <p>③自動車誤発進防止装置設置費補助事業 補助実績 申請2人 補助額40,000円</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・関係機関・団体と連携した交通事故防止対策・活動を行い、一定の効果が図られた。 ・令和6年度から高齢者通院等タクシー券対象者に70歳以上のいきいきタクシー券対象者を一元化したため、申請者件数、利用枚数ともに増加した。					
課題	・タクシー助成システムの導入に向けた検討と調整を行う必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・関係機関・団体との連携を図り、交通安全対策を推進する。 ・タクシー助成の制度改正により、分かり易さと利便性の向上を図る。					
令和8年度 事業計画	・館林地区三交連絡協議会による交通安全対策 ・高齢者免許自主返納事業 ・タクシー助成事業					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	264	重要事業		総合戦略		担当部署	安全安心課 交通防犯係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
2・1・11	交通安全施設整備事業			14,991千円	14,970千円	13,915千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶4_連携による交通安全対策の推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全施設の整備及び緊急修繕を行い、交通安全の確保に努める。</li> <li>館林駅東口自転車駐車場の管理及び放置自転車等の適正管理を行う。</li> </ul>
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①道路反射鏡等交通安全施設整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>道路反射鏡等交通安全施設整備工事</li> <li>カーブミラー、道路区画線、警戒標識等の設置により、通学路等における交通安全の確保に努める。</li> </ul>	
②自転車等駐車場整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車等駐車場受付業務委託</li> <li>放置自転車対策として、館林駅東口自転車駐車場の設置及び管理を行う。</li> </ul>	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①道路反射鏡等交通安全施設整備 ・道路反射鏡等交通安全施設整備工事  ②自転車等駐車場整備事業 ・自転車等駐車場受付業務委託	①道路反射鏡等交通安全施設整備 ・道路反射鏡等交通安全施設整備工事  ②自転車等駐車場整備事業 ・自転車等駐車場受付業務委託	①道路反射鏡等交通安全施設整備 ・道路反射鏡等交通安全施設整備工事  ②自転車等駐車場整備事業 ・自転車等駐車場受付業務委託
事業費		13,915	13,915	13,915
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	621	621	621
	一般財源	13,294	13,294	13,294

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	交通事故発生件数【総合戦略KPIを兼ねる】※数値は年集計	283	目標値	282	281	281	280	280
		単位：件	実績値	281	277	295	252	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	13,915 千円	令和6年度決算額	12,454 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①道路反射鏡等交通安全施設整備 ・道路反射鏡等交通安全施設整備実績 道路反射鏡・警戒標識 令和4年度 32基 令和5年度 29基 令和6年度 24基・2基 道路区画線 令和4年度：9,608m 令和5年度：7,820m 令和6年度：8180.8m ②自転車等駐車場整備事業 ・自転車等駐車場受付業務委託実績 一時使用延べ台数 令和4年度：293台 令和5年度：305台 令和6年度：415台 定期使用延べ台数 令和4年度：10,585台 令和5年度7,304台 令和6年度：7,063台 放置自転車撤去台数 令和4年度：5台 令和5年度：0台 令和6年度：7台			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・行政区等からの要望に基づき、交通安全施設整備を行い、交通事故防止を図っている。				
課題	・交通安全対策はその性質上、迅速な対応を求められる場合も多い。また、老朽化施設も多いことから計画的な維持管理が必要である。 ・放置自転車対策としての駐輪場は、利用者が減少傾向にあることから今後のほうこうせいについて検討する必要がある。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )				
	・交通安全施設の適切な整備を行い、交通事故防止を図る。 ・駐輪場の方向性について検討する。				
令和8年度 事業計画	・交通安全施設整備事業 ・自転車等駐車場整備事業				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	265	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	安全安心課 交通防犯係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
2・1・11	公共交通整備事業			132,685千円	170,435千円	126,230千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶5_移動環境の確保

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通弱者の移動手段確保のため、公共交通機関としての路線バスの安定した継続的運行を図る。</li> <li>公共交通の利便性や効率性の向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を図る。</li> </ul>
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①公共交通整備【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスの安定した運行 地域公共交通計画に基づき、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組む。 令和5年2月現在、広域4路線、市内7路線を運行。 広域路線の再編にあわせ、市内生活路線である「郷谷大島線（東・西線）」の運行開始 市内生活路線である渡瀬巡回線を廃止・分割し、「（仮称）渡瀬線（東・西線）」を整備。【新規事業】 館林駅東口と公立館林厚生病院を結ぶ「厚生病院シャトル線」の運行。</li> <li>分かりやすい公共交通情報の提供 館林駅観光案内所前でサイネージの運用、バスロケーションシステムの運用 平成28年4月からの70歳以上の高齢者運賃有料化に伴い、本市独自の交通弱者対策として免許非保有者等に対し、6か月分の定期券「シニアパス」を1枚交付。</li> </ul>	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	①公共交通整備【重】	①公共交通整備【重】	①公共交通整備【重】	①公共交通整備【重】
	・公共路線バス運行費補助	・公共路線バス運行費補助	・公共路線バス運行費補助	・公共路線バス運行費補助
	・広域路線再編及び市内路線整備【新】	・広域路線再編及び市内路線整備	・広域路線再編及び市内路線整備	・広域路線再編及び市内路線整備
	・「厚生病院シャトル線」運行委託	・「厚生病院シャトル線」運行委託	・「厚生病院シャトル線」運行委託	・「厚生病院シャトル線」運行委託
	・バスロケーションシステム運用	・バスロケーションシステム運用	・バスロケーションシステム運用	・バスロケーションシステム運用
事業費		126,230	126,230	126,230
財源	国庫	0	0	0
	県費	6,991	6,991	6,991
	市債	0	0	0
	その他	34,527	34,527	34,527
	一般財源	84,712	84,712	84,712

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	路線バスの年間利用者数【総合戦略KPIを兼ねる】	248,074	目標値	258,459	268,844	279,229	289,614	300,000
		単位：件	実績値	209,681	231,700	252,915	251,614	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	131,613 千円	令和6年度決算額	130,477 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>①公共交通整備【重】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共路線バス運行費補助実績                R4：利用者数 231,700人 / 121,233,000円                R5：利用者数 252,915人 / 114,409,000円                R6：利用者数 251,641人 / 124,306,000円</li> <li>・令和4年度事業                六郷西線（R4.10.3運行開始）R4利用者数 658人 R5利用者数1,469人 R6利用者数1,659人                通勤通学ノースライナー（R5.4.1運行開始）R5利用者数2,360人 R6利用者数 8,398人</li> <li>・令和5年度事業                多々良北線（R6.2.1運行開始）R5利用者数147人 R6利用者数 622人                郷谷大島線（R6.4.1運行開始）R6利用者数 6,926人</li> <li>・バスロケーションシステム運用実績（アクセス数）                R4：52,660件（R4.11館林駅東西連絡通路内デジタルサイネージ設置）                R5：128,274件                R6：165,735件</li> <li>・厚生病院シャトル線利用者数                R4年度：2,304件 R5：2,755件 R6：3,380件</li> <li>・電気バス導入（多々良巡回線）</li> <li>・バス待合環境整備 バス停上屋設置（R6.3）アゼリアモール前停留所</li> <li>・高齢者路線バス無料定期券交付件数                R4：364件 R5：延べ361件 R6：延べ416件</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・「館林都市圏地域公共交通計画」に基づき、高齢者や学生など利用者の移動目的に合わせた地域公共交通網を構築している。				
課題	・1市4町で共同運行していることから、路線整備等に時間を要する。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	・計画期間満了に伴う「館林都市圏地域公共交通計画」の改定を行う。				
令和8年度 事業計画	・公共路線バス運行事業 ・「厚生病院シャトル線」運行 ・バスロケーションシステム運用 ・高齢者路線バス無料定期券事業				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	266	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	都市計画課	施設計画係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・4・2	中央通り線道路改良事業				761,448千円		183,669千円	134,690千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶6_ウォーカブルなまちづくりの推進
施策の方向	▶2_道路の利便性と安全性の向上

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の中心部を南北に通る骨格軸であり、近隣コミュニティ相互の連携を強化し、歩行者の安全な通行を確保するため道路整備を実施。群馬県の一次緊急輸送道路に指定されており、電線類の地中化により、災害時の通路の確保するとともに都市景観の向上を図る。 事業期間：平成28年度～令和11年度 中央通り線 560m、大手町大街道線 220m
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
中央通り線道路改良事業【重要事業】	
平成29年度 用地測量、建物等補償調査（群馬県実施）	
平成30年度 用地買収 A= 376.31㎡	
令和元年度 用地買収 A= 357.08㎡	
令和2年度 用地買収 A=1,674.71㎡	
令和3年度 用地買収 A= 462.37㎡	
令和4年度 用地買収 A= 854.69㎡	
令和5年度 用地買収 A= 389.14㎡	
令和6年度 用地買収 A= 727.00㎡	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	中央通り線道路改良事業【重】 【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 A=727.00㎡ ・次年度以降の用地交渉 134,690	中央通り線道路改良事業【重】 【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 ・次年度以降の用地交渉 159,000	中央通り線道路改良事業【重】 【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 159,000
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	102,250	126,000	126,000
	市債	27,500	27,500	27,500
財源	その他	0	0	0
	一般財源	4,940	5,500	5,500

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	都市計画道路の整備率	64.4	目標値	－	－	－	－	65.2
		単位：％	実績値	－	－	－	－	
活動指標	都市計画道路の整備延長	39.37	目標値	－	－	－	－	39.87
		単位：km	実績値	－	－	－	－	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	172,458 千円	令和6年度決算額	157,710 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	～令和3年度	用地買収	2,900.47 m <sup>2</sup>	
	令和4年度	用地買収	854.69 m <sup>2</sup>	
	令和5年度	用地買収	389.14 m <sup>2</sup>	
	令和6年度	用地買収	387.08 m <sup>2</sup>	
	合計	用地買収	4,531.38 m <sup>2</sup>	
		(対象面積	6,230.74 m <sup>2</sup> )	
		進捗率	72.7%	
	※契約年度ベース			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	市による計画的な用地取得により、県による段階的な工事進捗が図られている。
課題	用地取得に係る関係権利者との交渉・協議の円滑化
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	事業効果の早期発現のため、用地取得・工事を街区単位で進めていく。
令和8年度 事業計画	・用地交渉（市） ・電線共同溝工事、道路改良工事（県）
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	267	重要事業	○	総合戦略		担当部署	道路河川課 維持係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・2・2	道路維持管理				537,972千円	434,363千円	527,086千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶2_道路の利便性と安全性の向上

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内における移動手段の適切な確保のため、都市基盤となる道路、橋梁等の施設を適正に維持管理し、市民生活における利便性の向上と安全性を確保する。
----------------	--

### 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①道路維持管理  
円滑で安全な交通を確保するための施設の維持管理（除草、清掃、ポンプ施設等）  
施設の老朽化や破損に伴う補修工事（舗装、側溝、防護柵、ポンプ施設等）
- ②橋梁長寿命化修繕事業【重要事業】  
橋梁点検業務 78橋  
橋梁長寿命化修繕計画更新業務 364橋  
橋梁補修詳細設計業務 1橋  
橋梁補修工事 1橋
- ③道路長寿命化修繕事業【重要事業】  
舗装補修設計業務 延長 1,765.0m  
舗装補修工事 延長 960.0m

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	①道路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（舗装、側溝等）	①道路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（舗装、側溝等）	①道路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（舗装、側溝等）	①道路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（舗装、側溝等）
	②橋梁長寿命化修繕事業【重】 橋梁点検業務 78橋 橋梁補修設計 2橋 橋梁補修工事 1橋	②橋梁長寿命化修繕事業【重】 橋梁点検業務 85橋 橋梁補修設計 4橋 橋梁補修工事 2橋	②橋梁長寿命化修繕事業【重】 橋梁点検業務 81橋 橋梁補修設計 3橋 橋梁補修工事 1橋	②橋梁長寿命化修繕事業【重】 橋梁点検業務 81橋 橋梁補修設計 3橋 橋梁補修工事 1橋
	③道路長寿命化修繕事業【重】 舗装補修設計 延長1,765.0m 舗装補修工事 延長 960.0m	③道路長寿命化修繕事業【重】 舗装補修工事 延長 910.0m	③道路長寿命化修繕事業【重】 舗装補修工事 延長 920.0m	③道路長寿命化修繕事業【重】 舗装補修工事 延長 920.0m
	事業費	527,086	430,000	430,000
	財源			
	国庫	187,545	130,000	130,000
	県費	16	16	16
	市債	134,000	90,000	90,000
	その他	16,225	16,225	16,225
	一般財源	189,300	193,759	193,759

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	道路補修等要望件数	635	目標値	613	602	591	581	570
		単位：件	実績値	648	916	1012	1,005	
活動指標	橋梁点検結果に基づく措置着手率	67	目標値	78	83.5	89	94.5	100
		単位：%	実績値	67	83.3	85.7	25	
活動指標	舗装の点検路線数（累計）	3	目標値	1	1	2	2	3
		単位：路線	実績値	33	930	918	902	
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	527,086 千円	令和6年度決算額	504,164 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>①道路維持管理事業</p> <p>令和4年度：市道等の舗装、砂利道、側溝等の緊急補修工事 舗装補修工事6路線、側溝補修工事1路線</p> <p>令和5年度：市道等の舗装、砂利道、側溝等の緊急補修工事 舗装補修工事9路線、側溝補修工事1路線</p> <p>令和6年度：市道等の舗装、砂利道、側溝等の緊急補修工事 舗装補修工事12路線、側溝補修工事3路線</p> <p>②橋梁長寿命化修繕事業</p> <p>令和4年度：長寿命化修繕計画更新、点検 71橋、補修設計 1橋、補修工事 2橋（うち歩道橋1橋）</p> <p>令和5年度：点検 53橋、補修工事 2橋</p> <p>令和6年度：長寿命化修繕計画更新、点検 77橋、補修設計 1橋、補修工事 1橋</p> <p>③道路長寿命化修繕事業</p> <p>令和4年度：補修設計 1路線、舗装補修工事 延長689.0m</p> <p>令和5年度：舗装補修工事 延長240.0m</p> <p>令和6年度：補修設計 1路線、舗装補修工事 延長532.2m</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市道（約892km）及び橋梁（橋梁364橋、歩道橋4橋）等の社会インフラの不良は、市民生活において安全性や利便性を欠くこととなり、災害時等においても大きなリスクとなる。そのようなことから、安全安心なまちづくりを進めるためにも、道路及び橋梁の長寿命化を計画的に推進するとともに、施設の日常的な維持管理を適切に推進することで、公共インフラとしての機能を担保することが不可欠である。					
課題	・老朽化が進む舗装、橋梁、道路施設の破損、損傷個所の増加 ・限りある資源（予算・人材・高騰する資材）の効率的な活用					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	これまでの事後的な維持管理ではなく、破損規模が大きくならないうちに先手を打って補修する予防保全に引き続き努める。 官民共に建設行政を担う人材が減少していく事実を捉え、持続可能な維持管理体制の構築を図る必要がある。					
令和8年度 事業計画	①道路維持管理 円滑で安全な交通を確保するための施設の維持管理（除草、清掃、ポンプ施設等） 施設の老朽化や破損に伴う補修工事（舗装、側溝、防護柵、ポンプ施設等） ②橋梁長寿命化修繕事業 橋梁点検業務   81橋 橋梁補修工事   3橋 ③道路長寿命化修繕事業 舗装補修工事   延長   1,040.0m					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	268	重要事業	○	総合戦略		担当部署	道路河川課 整備係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
8・2・3	道路新設改良事業				113,115千円	139,545千円	342,061千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶1_幹線道路の整備

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本事業の対象路線は、地域間を結ぶ幹線道路及び生活道路であり、総合計画の方針である市内の幹線道路網を体系的に整備することにより、円滑な道路ネットワークの確立や、市内移動手段の利便性及び安全性向上を目指すし、機能的な都市の形成を図ることを目的とする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①道路新設改良事業（市単独）【重要事業】 地元要望による生活道路拡幅事業と市施策による道路事業が存する。 測量・設計 2路線 工事 11路線 用地買収 2路線 移転補償 4路線	
②道路新設改良事業（国庫補助）【重要事業】 江川橋架替事業 本橋は多々良川における治水上の弱点（架橋位置のみ堤防が切欠かれている状態）となっており、この解消を第一に、更には、架橋以来80年以上が経過し老朽化が著しいことも要因となり、架橋位置を南に移し新設するもの。併せてアプローチ道路も整備する。 用地買収・移転補償・国交省への委託工事	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	342,061	423,674	279,420
	国庫	110,959	130,825	91,210
	県費	5,720	2,700	
	市債	197,000	261,100	169,300
	その他	0	0	0
一般財源		28,382	29,049	18,910

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	市道の整備率	38.4	目標値	38.5	38.6	38.7	38.9	39.1
		単位：%	実績値	38.7	38.9	38.9	39.0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	342,061 千円	令和6年度決算額	149,890 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①道路新設改良事業（市単独） 測量・設計・調査 令和4年度…10業務、令和5年度…11業務、令和6年度…11業務 工事 令和4年度…16路線、令和5年度…12路線、令和6年度…12路線 移転補償費 令和4年度…8件、令和5年度…6件、令和6年度…5件 ②道路新設改良事業（国庫補助） 市道8505号線（江川橋架替） 設計・用地 令和4年度…橋梁詳細設計・用地測量・既設橋梁撤去設計、 令和5年度…用地買収、工作物補償2件、令和6年度…用地買収、アプローチ道路工事			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	道路新設改良事業は、地域要望における道路整備が多くを占め、道路の拡幅や舗装化により、人や車両の移動が速やかになる。また、側溝の整備により、道路排水機能等が高まる。					
課題	境界確認や用地取得の難航等により、事業の長期化が懸念される。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	地域要望道路に加え、他事業関連事業や政策道路の重要性が高まっている。財源の模索とともに、必要性の精査が重要である。					
令和8年度 事業計画	地域要望道路の整備推進 江川橋架替事業の事業推進 他事業関連事業（工業団地造成事業等）との連携					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	269	重要事業	○	総合戦略		担当部署	道路河川課 整備係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・2・3	道のでこぼこ解消事業（歩道整備）				31,017千円	42,719千円	36,050千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶2_道路の利便性と安全性の向上

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	道路における市内移動の利便性、安全性を向上させるため、歩道空間における段差解消及び狭隘な歩道を広げる整備ならびに、老朽化した排水構造物等によるでこぼこの解消を図り、利用する方々が安全で安心して通行できる整備を進めるもの。
----------------	--

### 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

#### 道のでこぼこ解消事業【重要事業】

市内移動の利便性、安全性を向上させるため、主に歩道・路肩における段差解消を目的とする。

- ①市道4103号線歩道改修（羽附町） 100m（国庫補助事業）
- ②市道4265号線外測量設計（羽附町・赤生田町） 300m（国庫補助事業）

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	道のでこぼこ解消事業【重】 ①市道4103号線歩道改修（羽附町） 100m（国庫補助事業） ②市道4265号線外測量設計（羽附町・赤生田町） 300m（国庫補助事業）	道のでこぼこ解消事業【重】 ②市道4265号線歩道改修（羽附町・赤生田町） 100m（国庫補助事業） ③市道8012号線詳細設計（本町一丁目外） 120m ④市道5039号線測量設計（青柳町） 230m	道のでこぼこ解消事業【重】 ②市道4265号線歩道改修（羽附町・赤生田町） 100m（国庫補助事業） ③市道8012号線改修（本町一丁目他） 60m ④市道5039号線外歩道改修（青柳町） 115m
	事業費	36,050	45,680	64,000
	財源			
	国庫	19,269	16,500	16,500
	県費	0	0	0
財源	市債	14,100	12,100	12,100
	その他	0	0	0
	一般財源	2,681	17,080	35,400

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	市道の整備率	38.4	目標値	38.5	38.6	38.7	38.9	39.1
		単位：%	実績値	38.7	38.9	38.9	39.0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	36,050 千円	令和6年度決算額	35,284 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	測量・設計・調査 令和4年度…0業務、令和5年度…0業務、令和6年度…1業務 工事 令和4年度…1路線（111.6m）、令和5年度…1路線（155.0m）、令和6年度…1路線（93.8m）			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高                     政策の推進において 不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中                     政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低                     目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある	
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高                     成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中                     適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低                     成果が低水準にある	
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高                     費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中                     適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低                     費用対効果が低水準にある	
評価根拠	歩道の段差解消では、マウンドアップ構造をセミフラット構造にすることで、人（車椅子、ベビーカー利用 者）や自転車に優しい歩道になる。また、老朽化した側溝を改修することにより、利用者が安全かつ安心して 利用ができる歩道空間を確保できる。			
課題	歩道の段差解消や側溝の高さを変えることにより、隣接民地への出入りに影響を及ぼすことが多く、民地側の 擦り付け工事が必要になる場合がある。道のてこぼし解消事業は、隣接地権者の事業への協力が特に必要であ る。			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	計画的に事業を推進していく。			
令和8年度 事業計画	市道4265号線歩道整備 市道5039号線歩道整備			
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較			
備考				

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	270	重要事業	○	総合戦略		担当部署	道路河川課 整備係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R4)	当初予算額 (R5)	当初予算額 (R6)
8・2・3	茂林寺前駅西口整備事業				0千円	0千円	18,000千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶5_移動環境の確保

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	交通結節点である茂林寺前駅利用者の利便性・速達性・安全性確保と移動環境の整備を目的とする。
----------------	---

### 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

#### ①自由通路・西口改札調査設計【新規事業】

様々な整備計画と手法について、効果度・機能性・経済性・工期などの側面から比較検討する必要があること と併せ、施設所有者である東武鉄道(株)との綿密な協議・調整が必須となることから、詳細設計に先んじ調査、概略設計及び協議を行う必要がある。

自由通路・西口改札調査設計 一式

#### ②駅前ロータリー整備工事【新規事業】

ロータリー車道部工事 70.0m

## 【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業 スケジュール		茂林寺前駅西口整備事業【新】 自由通路・西口改札調査設計 東武鉄道(株)協議 ロータリー車道部工事	茂林寺前駅西口整備事業 自由通路・西口改札詳細設計 用地測量 東武鉄道(株)協定締結 用地補償契約締結 ロータリー歩道部工事 照明施設工事	茂林寺前駅西口整備事業 自由通路・西口改札築造工事 ロータリー施設工事
事業費		18,000	118,000	169,070
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	7,200	81,000	16,200
	その他	10,000		
	一般財源	800	37,000	152,870

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	事業整備率（金額ベース）	0	目標値	-	-	-	34.7	61.5
		単位：%	実績値	-	-	-	34.9	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	23,683千円	令和6年度決算額	23,683千円	
令和6年度事業実績(成果) ※過去3カ年	令和6年度 調査設計 2業務、道路改良工事 106.4m			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	交通結節点である茂林寺前駅利用者の利便性・速達性・安全性確保と移動環境が向上される。					
課題	周辺道路の整備において、境界確認や用地取得の難航等により、事業の長期化が懸念される。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	西口ロータリー整備と共に、駅周辺道路を整備することにより、さらなる交通結節機能の強化を図る。					
令和8年度 事業計画	周辺道路整備工事 周辺道路測量設計 周辺道路用地買収					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	271	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）		当初予算額（R6）
8・6・1	空家対策事業			3,257 千円		3,252 千円		3,252 千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶7_健全な市街地の形成
	▶2_健全な市街地の形成

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	年々増加する空き家の問題に対し、購入費用または家賃の助成等の支援をし、居住可能な空き家の利活用を図るとともに移住者・定住者の増加を目指す。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①空家利活用事業【重要事業】 ・空き家情報登録制度（空き家バンク） 「空き家情報登録制度」を設け、移住・定住を希望しているかたや、空き家を利活用したいかたに市内の空き家情報を提供する。 ・空家利活用助成金 市内市外の方を問わず、市内の空き家を自ら居住する目的で購入または賃借した場合に、購入費用の一部または家賃の一部を助成する。また貸主に対しても維持管理費用の一部として助成金を交付し、空き家利活用促進のために、空き家バンク登録者に対しても、登録助成金を支給する。 ・空家バンク登録物件家財道具等処分助成金 空き家バンク登録物件について、物件を登録したかた又は物件を利活用するかたに対し、空き家内の家財道具等の処分に要する費用の一部を交付するもの。 ・空き家見学会 空き家利活用希望者に、市職員がガイドとなり、空き家の外観や内装を実地で見学してもらうことにより、空き家の利活用を促進するもの。	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①空家利活用事業【重】 ・空き家情報登録制度（空き家バンク） ・空家利活用助成金 ・空家バンク登録物件家財道具等処分助成金 ・空き家見学会	①空家利活用事業【重】 ・空き家情報登録制度（空き家バンク） ・空家利活用助成金 ・空家バンク登録物件家財道具等処分助成金 ・空き家見学会	①空家利活用事業【重】 ・空き家情報登録制度（空き家バンク） ・空家利活用助成金 ・空家バンク登録物件家財道具等処分助成金 ・空き家見学会
事業費		3,252	3,252	3,252
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,252	3,252	3,252

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	空き家バンク登録物件利活用件数（累計）	2	目標値	4	8	12	16	20
		単位：件	実績値	6	11	16	21	
活動指標	空き家バンク登録物件数（累計）	6	目標値	7	14	21	28	35
		単位：件	実績値	5	14	18	18	

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	3,252 千円	令和6年度決算額	千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■ 空き家バンク登録物件利活用件数（空き家利活用助成金申請数（登録助成金含む）） ・ 令和3年度～令和6年度の累計実績 21件 内訳（令和3年度：9件 令和4年度：7件 令和5年度：10件 令和6年度：5件）</p> <p>■ 空き家バンク登録物件数 ・ 令和3年度～令和6年度の累計実績 18件 内訳（令和3年度：5件 令和4年度：9件 令和5年度：4件 令和6年度：0件）</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にあ る	■ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>・ 空き家バンク登録物件利活用件数については目標値を上回っており、堅調に推移している。</p> <p>・ 空き家バンク登録物件数については目標値を下回っており、特に令和6年度は0件と、登録数の落ち込みが見られる。</p>				
課題	<p>・ 空き家バンク認知度の向上、登録物件の増加</p> <p>・ 空き家利活用を進める民間事業者等との連携</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	□ 継続 □ 拡大 ■ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止（□ 一部廃止）				
	<p>・ 空き家バンク登録物件の利活用を促進するため、各種補助制度について広く周知を図る。</p> <p>・ 空き家バンク登録物件数は県内他市と比べても少ないため、相談事業者等と連携しながら、物件数及び利用希望者の増加に取り組んでいく。</p> <p>・ 他自治体の事例等を参考としながら、新たな移住・定住に資する空き家の利活用施策について検討を行う。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>・ 空き家利活用助成金の交付</p> <p>- 空き家購入</p> <p>- 空き家賃借</p> <p>- 空き家登録</p> <p>- 家財道具等処分</p> <p>・ 空き家バンクの拡充</p> <p>・ 空き家見学会の実施</p> <p>・ 新たな施策の検討</p>				
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	272	重要事業		総合戦略		担当部署	建築課	住宅施設係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・6・1	市営住宅管理				102,304千円	105,988千円	97,217千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶1_良質な住宅の供給

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民が健康で文化的な生活を送るためには、居住の確保が必要であることから、住宅に困窮する低額所得者の高齢者世帯や子育て世帯等が入居しやすい公営住宅を安定的に供給する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①市営住宅管理 ・市営住宅管理業務委託 平成24年度から群馬県住宅供給公社へ管理代行し、入居相談や徴収業務、修繕等、市営住宅に関する管理全般を住宅供給公社で実施。（R6.2.1現在 管理戸数（条例戸数）765戸）  ・滞納者への法的措置 平成24年度から悪質な滞納者に対し弁護士へ委託し法的措置（即決和解、強制執行）を行っている。	
②市営住宅管理（工事等） 良好な住環境を整備するため、年次計画で設備機器の交換等を実施。 市営東部第8,足次第1,2住宅水道メーター取替工事 市営上三林町第3,4住宅浄化槽設備交換工事 など	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①市営住宅管理 ・市営住宅管理業務委託 ・滞納者への法的措置 ②市営住宅管理（工事等）	①市営住宅管理 ・市営住宅管理業務委託 ・滞納者への法的措置 ②市営住宅管理（工事等）	①市営住宅管理 ・市営住宅管理業務委託 ・滞納者への法的措置 ②市営住宅管理（工事等）
事業費		97,217	97,217	97,217
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	97,217	97,217	97,217
	一般財源	0	0	0

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	市営住宅家賃滞納整理（収納率）	82	目標値	84	85	86	87	88
		単位：%	実績値	84.21	86.72	87.86	87.8	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	96,641千円	令和6年度決算額	96,320千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	主な事業 ・市営住宅管理業務委託 平成24年度から継続 ・滞納者への法的措置 平成30年度 即決和解1件 令和元年度 即決和解2件 ・市営住宅管理工事 令和4年度 水道メーター取替工事、風呂釜取替工事、火災警報器取替工事、インターホン設備設置工事、朝日町住宅改修工事 令和5年度 水道メーター取替工事、浄化槽設備工事、火災警報器取替工事 令和6年度 水道メーター取替工事、浄化槽設備工事、火災警報器取替工事			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	住宅に困窮する低額所得の高齢者世帯や子育て世帯等が入居しやすい住宅の確保と適切な維持管理を行う必要があるため。				
課題	本市では、令和7年3月末現在で、14団地、66棟、765戸の市営住宅（市単独住宅1戸除く）を管理している。その中でも、木造住宅は3団地あり、築60年以上経過したものも存在する。簡易耐火構造の住宅は3団地全て築40年以上経過している。鉄筋コンクリート造の住宅においても築40年以上を経過するものがある。このように多くの市営住宅が老朽化しており、さらに、入居世帯の高齢化、単身高齢者やひとり親世帯の増加など世帯構成の多様化、入居率減少など、入居者管理面及び財政面において深刻な課題に直面している。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	建物の老朽化や入居率の減少、入居者対応など課題は年々増えるが、限られた予算で少しでも事業目的に沿った市営住宅管理ができるよう創意工夫して市営住宅管理に努める。				
令和8年度 事業計画	主な業務 ・市営住宅管理業務委託（平成24年度から継続） ・滞納者への法的措置（即決和解、明渡強制執行） ・市営住宅管理工事（火災警報器取替工事など）				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較				
備考					



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	273	重要事業	○	総合戦略		担当部署	建築課	住宅施設係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・6・1	公営住宅ストック総合改善事業				61,534千円	112,195千円	93,335千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶1_良質な住宅の供給

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民が健康で文化的な生活を送るためには、居住の確保が必要であることから、公営住宅ストックの計画的な修繕により、住宅に困窮する低額所得者の高齢者世帯や子育て世帯等が入居しやすい公営住宅を安定的に供給する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①公営住宅ストック総合改善事業【重要事業】 群馬県地域住宅等整備計画及び館林市市営住宅長寿命化計画に基づき、子育て世帯や高齢者世帯等が安心して住み続けられる住宅ストックの充実を図り、地域における住宅に対する多様な需要に応じた住宅や居住環境の整備を行う。 （群馬県地域住宅等整備計画（地域住宅計画 群馬地域（4期）（計画期間：R2～R6）） （館林市市営住宅長寿命化計画（計画期間：R3～R12）	
(R6年度事業) ・市営松沼町第2住宅外装改修工事	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①公営住宅ストック総合改善事業【重】	①公営住宅ストック総合改善事業【重】	①公営住宅ストック総合改善事業【重】
	事業費	93,335	93,335	93,335
	国庫	32,667	32,667	32,667
	県費	0	0	0
	市債	60,600	60,600	60,600
財源	その他	68	68	68
	一般財源	0	0	0

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	93,335 千円	令和6年度決算額	84,304 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	主な事業 ・令和4年度 足次町住宅外装改修工事 ・令和5年度 松沼町第1住宅外装改修工事、若宮町第3住宅18号室長寿命化改善工事 ・令和6年度 松沼町第2住宅外装改修工事			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	住宅に困窮する低額所得の高齢者世帯や子育て世帯等が入居しやすい住宅の確保と適切な維持管理を行う必要があるため。				
課題	本市では、令和7年3月末現在で、14団地、66棟、765戸の市営住宅（市単独住宅1戸除く）を管理している。その中で、耐用年数70年の鉄筋コンクリート造の住宅は8団地あるが、建設から30年～40年以上経過している住宅が増え、多くの住宅で建物、設備等の老朽化が進んでいる。さらに、入居世帯の高齢化、単身高齢者やひとり親世帯の増加など世帯構成の多様化、入居率減少など、家賃収入等は減少傾向にあり財政面においても深刻な課題に直面している。今後は耐用年数を過ぎた住宅の用途廃止を行い、事業の効率化及び平準化を図る必要がある。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	社会資本整備総合交付金を最大限に活用し、適切な維持管理に努める。				
令和8年度 事業計画	・足次町住宅給水改修工事 ・東部住宅給湯設備改修工事 ・松原住宅共用灯LED化工事 ・足次町住宅インターホン設備設置工事				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	274	重要事業	○	総合戦略		担当部署	区画整理課	区画整理係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・4・3	西部第一南土地区画整理事業				110,602千円	41,762千円	131,764千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶2_健全な市街地の形成

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本区域は、東武伊勢崎線により中心市街地と分断されていたため、公共用地の未整備で市街化が遅れ、住工混在となっている。このため、安心して快適な住居環境を確立するため、公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図り、本市西部の拠点として新たな市街地を形成する。（施行面積 73.2ha）
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### ①西部第一南土地区画整理事業【重要事業】

#### ■取組内容

- ・令和4年度に本地区内の（都）西部一号線の起点部（国道354号から約200mの区間）の整備を行ったところであり、残りの未整備区間（約70m）を整備し、国道50号から国道354号までを全線開通させる必要がある。
- ・事業も終盤に達したことから、仮換地の指定を図りつつ、未移転物件の移転、公共施設の整備を計画的に行う。

#### ■主要な事業

- ・画地確定測量等委託料
- ・工事費（舗装・道路改良等）
- ・配水管布設工事負担金
- ・補償費（工作物等）

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	131,764	110,000	110,000
	国庫	21,545	29,000	29,000
	県費	51	51	51
	市債	19,300	26,000	26,000
	その他	8,001	7,000	7,000
財源		一般財源	82,867	47,949

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	西部第一南土地区画整理事業事業進捗率（事業費ベース）	87.0	目標値	88.1	88.7	89.2	89.8	90.4
		単位：%	実績値	89.6	90.5	90.8	91.3	
			目標値	※令和4年度の事業計画の変更により総事業費が増額となったため、実績値は事業計画変更後の事業進捗率を記載している。				
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	92,732 千円	令和6年度決算額	60,384 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<div> <div>・事業進捗率</div> <div>令和4年度：90.5%</div> <div>令和5年度：90.8%</div> <div>令和6年度：91.3%</div> </div> <div> <div>・建物移転率</div> <div>令和4年度：98.3%</div> <div>令和5年度：98.3%</div> <div>令和6年度：98.3%</div> </div> <div> <div>・道路築造率</div> <div>令和4年度：94.4%</div> <div>令和5年度：94.4%</div> <div>令和6年度：94.7%</div> </div>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・難航地権者の強固な反対により、事業進捗に支障をきたしているが、継続的に交渉を進めている。					
課題	・仮換地未承諾者等との交渉を進め、未整備区間との整備を計画的に行っていく。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	・西部一号線の未供用区間(約130m)や区画道路等の整備、仮換地未承諾者への交渉を進め、建物移転、区画道路等の整備を推進する。					
令和8年度 事業計画	○仮換地未承諾者との交渉  ○西部一号線未供用区間、未移転の補償物件、区画道路築造等を実施。 <div>             ・画地確定測量（建物調査）等委託              ・補償（建物移転等）              ・道路工事（都市計画道路及び区画道路等）及び 道路工事関連による配水管布設工事           </div>					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	275	重要事業	○	総合戦略		担当部署	区画整理課	区画整理係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・4・3	西部第一中土地区画整理事業				110,009千円	33,392千円	72,059 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶2_健全な市街地の形成

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本地区は、館林駅に隣接した利便性の高い地区であるため、宅地化が急速に進行し住宅地と工業地の用途の混在が起きている。このため、都市計画道路、区画道路、公園等の公共施設を整備し、本市の西部地区の核となる市街地を形成し、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。（施行面積 34.2ha）
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①西部第一中土地区画整理事業【重要事業】	
■取組内容 事業が最終段階のため、残存する移転対象物件の移転補償を行う。	
■主要な事業 ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（区画道路） ・補償費（建物等）	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	72,059	110,000	110,000
	国庫	3,600	0	0
	県費	0	0	0
	市債	6,000	0	0
	その他	59,459	35,000	35,000
財源		一般財源	3,000	75,000

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	西部第一中土地区画整理事業事業進捗率（事業費ベース）	89.7	目標値	90.8	91.4	91.9	92.5	93.0
		単位：%	実績値	91.8	92.9	93.9	94.5	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	61,759 千円	令和6年度決算額	56,589 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<div> <div>           ・事業進捗率            令和4年度：92.9%            令和5年度：93.9%            令和6年度：94.5%         </div> <div>           ・建物移転率            令和4年度：98.3%            令和5年度：99.5%            令和6年度：99.5%         </div> <div>           ・道路築造率            令和4年度：95.7%            令和5年度：95.7%            令和6年度：96.4%         </div> </div>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・建物移転率が98.7%であり、未移転の補償物件が2件となった。 ・一般保留地の売却、付保留地の売却を進めている。
課題	・未移転の建物等補償物件が2件となり、早期の移転を図る必要がある。 ・未実施の施行箇所の工事に向け、財源の確保が必要。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	・未移転の建物等補償物件について、早期の移転を図るように交渉を進める。 ・事業完了に向け、造成工事、未整備の道路工事、保留地等の売却を推進する。 ・事業完了の為の手続きの準備を進める。
令和8年度 事業計画	○未補償物件の移転、造成工事による使用収益の開始（区画道路等） <ul style="list-style-type: none"> <li>画地確定測量（建物調査）等委託</li> <li>補償（建物移転等）</li> <li>造成工事 及び 区画道路築造工事（配水管布設工事等）</li> </ul>
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	276	重要事業	○	総合戦略		担当部署	区画整理課	区画整理係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・4・3	西部第二土地区画整理事業				310,466千円	335,438千円	224,972千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶2_健全な市街地の形成

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本地区は、館林駅より南西約1kmという立地条件にあり、今後急速な市街化が予想され、都市基盤の整備が必要な地区である。そこで、本事業の施行により、都市計画道路、区画道路、公園等の公共施設を整備すると共に、健全な市街地の造成を図るものである。（施行面積 74.7ha）
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①西部第二土地区画整理事業【重要事業】	
■取組内容	
・本地区は、事業の進捗に伴い宅地化が進行しているため、雨水排水能力の強化が必要とされているが、幹線排水路の整備が遅れているところであり、幹線排水路が布設される道路用地を確保するため、地権者の理解を得られるかどうか課題となっている。	
・西部三号線、西部二号線、富士原線等の都市計画道路の整備を行うとともに、宅地の利用増進を図るため、土地の区画形質の変更、ならびに区画道路、水路、公園等の公共施設の整備を計画的に行う。	
■主要な事業	
・画地確定測量等委託料	
・工事費（歩道築造・側溝布設・道路改良等）	
・配水管布設工事負担金	
・補償費（建物移転等）	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	224,972	310,000	310,000
	国庫	88,540	135,000	135,000
	県費	7,500	2,000	2,000
	市債	73,800	126,000	126,000
	その他	4,902	8,000	8,000
財源		一般財源	50,230	39,000
			39,000	39,000

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	西部第二土地区画整理事業事業進捗率 (事業費ベース)	44.9	目標値	47.2	48.4	49.5	50.7	51.9
		単位：%	実績値	51.3	54.8	56.9	59.7	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	347,574 千円	令和6年度決算額	293,759 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 （成果） ※過去3カ 年	<div> <div>・事業進捗率</div> <div>令和4年度：54.8%</div> <div>令和5年度：56.9%</div> <div>令和6年度：59.7%</div> </div> <div> <div>・建物移転率</div> <div>令和4年度：52.9%</div> <div>令和5年度：54.5%</div> <div>令和6年度：56.4%</div> </div> <div> <div>・道路築造率</div> <div>令和4年度：52.1%</div> <div>令和5年度：52.9%</div> <div>令和6年度：53.7%</div> </div>			

## 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高           政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中           政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低           目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高           成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中           適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低           成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高           費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中           適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低           費用対効果が低水準にある	
評価根拠	・区画整理事業の進捗に伴い、宅地が進行している。 ・地区内の下流となる雨水きょの一部の整備が進んだ。			
課題	・宅地化の進行に伴い、地区内の幹線排水路（雨水きょ）の整備が喫緊の課題となっている。			
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	・幹線排水路（雨水きょ）が布設される道路用地を確保するための建物移転等を推進する。			
令和8年度事業計画	○幹線排水路整備に関する建物等移転補償、道路築造工事の実施。 造成工事による使用収益の開始（区画道路等） <div>             ・画地確定測量（建物調査）等委託              ・補償（建物移転等）              ・道路工事（都市計画道路及び区画道路等）、造成工事、道路工事関連による配水管布設工事           </div>			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較			
備考				



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	277	重要事業	○	総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課 つつじが岡公園係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
7・1・5	つつじ保護育成事業				9,620千円	6,562千円	6,437千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶5_観光資源の保護・保存・育成と普及啓発

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	日本一といわれる国指定名勝「躑躅ヶ岡」を後世に伝えるため、各種調査研究を進めるとともに、徹底したつつじ保護育成と適正管理を行う。また、つつじは本市における歴史・文化的にも重要な財産であることから、普及啓発に努める。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○つつじ保護育成事業【重要事業】 ・つつじの保護管理（病害虫防除、整枝剪定、施肥、灌水などの肥培管理） ・樹勢回復、開花保持のための調査（開花調査、土中水分調査、花芽調査、着蕾率調査等） ・後継木の育成（品種の保持、歴史的文化的価値の継承、観賞的価値の高い品種の育成） ・館林のつつじ啓発活動（歴史的文化的価値の理解促進つつじガイド指導育成、館林つつじサポーターズ倶楽部事務局運営） ・文化財保護（文化財の保護、行為申請、保存活用計画策定準備のための関係機関協議）	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	○つつじ保護育成【重】 ・つつじ保護育成対策委員会 ・つつじ後継木育成 ・つつじの着花等に関する調査の実施 ・土壌分析業務の実施 ・つつじ移植工事の実施	○つつじ保護育成【重】 ・つつじ保護育成対策委員会 ・つつじ後継木育成 ・つつじの着花等に関する調査の実施 ・土壌分析業務の実施 ・つつじ移植工事の実施	○つつじ保護育成【重】 ・つつじ保護育成対策委員会 ・つつじ後継木育成 ・つつじの着花等に関する調査の実施 ・土壌分析業務の実施 ・つつじ移植工事の実施
	事業費	6,437	6,437	6,437
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	1,336	0	0
	一般財源	5,101	6,437	6,437

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	つつじまつり入園者数	129,242	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		単位：人	実績値	62,283	90,111	102,826	94,915	
活動指標	つつじサポーターズ倶楽部個人会員数	551	目標値	571	581	591	601	611
		単位：人	実績値	426	416	399	322	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	8,381千円	令和6年度決算額	7,380千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種調査【毎年】 開花状況調査、花芽形成調査、土中水分調査、(秋咲き調査)、土壌調査</li> <li>・群馬県林業試験場との共同研究【H26年度～】着花、土中水分・気象データ調査、分析報告</li> <li>・ツツジ古木土壌改良 令和4年度：12株、令和5年度：9株、令和6年度：8株</li> <li>・つつじ移植・補植 令和4年度：11株、令和5年度：移植14・補植5株、令和6年度：移植2株・補植3株</li> <li>・旧公園内スロープ改修 令和4年度：48m(柵改修)、36.5㎡(ウッドチップ舗装)</li> <li>・つつじガイドボランティア講習会(秋1回、春先3回) 案内人数実績(平成31年度から手話ガイド開始) 令和4年度：432回・19,624名 + 手話ガイド10回・32名 令和5年度：333回・5,996名 + 手話ガイド1回・10名 令和6年度：329回・5,851名 + 手話ガイド5回・72名</li> <li>・つつじ子房摘みボランティア ※平成31年度 18団体1,015名、個人13名 計1,028名 令和5年：8団体 383名(4年ぶりに実施) 令和6年：9団体 547名(うち個人参加延べ5名)</li> <li>・出前講座 令和4年度：3回、令和5年度：2回、令和6年度：3回</li> <li>・つつじ保護育成対策会議 年1回</li> </ul>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古木管理について、平成25年度に開花不良があったため、平成26年度から様々な調査・研究を実施。つつじの開花状況について、適切に維持管理業務への指導及び指示が出来ており、継続して花付きも良く十分な効果が得られている。</li> <li>・また、調査結果についてもデータを保存し、また都度維持管理作業へのフィードバックを行い健全な古木管理、安定した開花につながっている。</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数多くの観光地の中からつつじが岡公園に来園してくれるお客様のために、普通のつつじではなく館林ならではの「つつじ」の鑑賞的価値と、日本遺産のストーリーにあるように歴史的、文化的な価値をより多くの方に知ってもらい、理解してもらうため、つつじガイドだけではない新たな仕掛けづくりが必要である。</li> <li>・設立して7年となるつつじサポーターズ倶楽部の会員数が減少している。</li> </ul>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きつつじの管理を徹底し、開花の保持を行う。</li> <li>・ツツジ園内の施設の老朽化が進んでおり、改修が必要となっている。段階的に改修や統廃合の方針を立て実施していく。</li> </ul>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きつつじの管理を徹底し、開花の保持を行う。</li> <li>・ツツジ園の中の園路などの老朽化が進んでおり、改修修繕を行う。また、不要な施設などについて、必要な手続を精査し除却や改修に向け調整を行う。</li> </ul>				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	278	重要事業	○	総合戦略		担当部署	緑のまち推進課 緑化政策係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・5・1	緑化推進一般事業				11,331千円	16,959千円	4,523千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ憩いと安らぎのあふれたガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶3_適切な緑の管理
施策の方向	▶4_市民協働による緑化推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	豊かな緑が守られ、市民にとってかけがえのない良好な緑化環境を市民協働で保全・創出・啓発する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
緑化推進事業【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生記念樹の配布や、小学生を対象にした緑化ポスターコンクールを実施し、緑化の啓発に努める。</li> <li>・市民協働による緑化推進や、ぐんま緑の県民基金を活用した緑に親しむための啓発事業を行う。</li> <li>・自然環境の保全を図るため、樹木・樹林・生垣を保存指定し、保存樹木等維持管理補助による支援を行う。</li> <li>・一般家庭や工場、事業所の緑化に対し、樹木生垣植栽補助による支援を行う。</li> <li>・緑の少年団へ必要な支援を行う。</li> </ul>	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	緑化推進一般事業	緑化推進一般事業	緑化推進一般事業	緑化推進一般事業
	・誕生記念樹の交付	・誕生記念樹の交付	・誕生記念樹の交付	・誕生記念樹の交付
	・緑化ポスターコンクール	・緑化ポスターコンクール	・緑化ポスターコンクール	・緑化ポスターコンクール
	・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業	・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業	・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業	・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業
	・シビックガーデンアドバイザー事業	・シビックガーデンアドバイザー事業	・シビックガーデンアドバイザー事業	・シビックガーデンアドバイザー事業
事業費		4,523	4,523	4,523
財源	国庫	0	0	0
	県費	510	510	510
	市債	0	0	0
	その他	220	220	220
	一般財源	3,793	3,793	3,793

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	緑化推進事業補助件数	5	目標値	10	10	10	10	10
		単位：件	実績値	8	5	6	4	
活動指標	啓発活動事業開催回数	9	目標値	12	12	12	12	12
		単位：回	実績値	5	6	6	5	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調査

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	4,523 千円	令和6年度決算額	2,722 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>■花と緑のまちづくり事業</b> ・オープンガーデン事業 【R5年度で廃止】 R4年度：14件 R5年度：12件 ・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業 R4年度：6事業中3事業実施 R5年度：3事業中3事業実施 R6年度：3事業中3事業実施 ・緑化団体運営事業費補助 R4年度～R6年度：市内11小学校へ補助  <b>■緑化推進事業</b> 誕生記念樹の交付 R4年度：298本（新築含む） R5年度：142本 R6年度：144本 樹木・生垣植栽事業費補助 R4年度：5件（樹木5、生垣0） R5年度：6件（樹木6、生垣0） R6年度：4件（樹木3、生垣1）			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	「花と緑に囲まれ憩いと安らぎのあふれたガーデンシティと言われるまちになる」を施策目的として良好な環境を保全・創出・啓発に関する各種事業や補助事業を実施した。誕生記念樹の交付率が低かったが、来場者の利便性を考慮し、交付初日の休日交付を市役所市民ホールで実施したこと、配布樹種をクルメツツジに加え、人気樹種であるブルーベリーを加え選択できるようにしたこと、交付率が上昇した。				
課題	活動指標でもある緑化推進事業補助件数が伸び悩んでいる。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	緑化推進事業補助については、ホームページや広報たてばやしへ掲載し周知啓発しているが、公式ライン等活用した啓発に取り組み、交付件数の上昇に努めたい。				
令和8年度 事業計画	・誕生記念樹交付 ・緑化ポスターコンクール ・シビックガーデンアドバイザー事業 ・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業 ・緑化団体運営事業費補助（緑の少年団） ・樹木・生垣植栽事業費補助 ・保存樹木等の指定及び補助				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	279	重要事業		総合戦略		担当部署	緑のまち推進課	緑化政策係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・5・1	グリーンバンク管理運営事業				3,138千円	3,614千円	3,288千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ憩いと安らぎのあふれたガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶3_適切な緑の管理
施策の方向	▶4_市民協働による緑化推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	樹木・緑のリサイクルや緑化講習会を通じて花と緑の市民協働のつながりを広げる緑化拠点とする。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
グリーンバンク事業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 樹木の寄付・交付や公園伐採木等を薪として再利用することで、緑のリサイクルを図る。</li> <li>・ 花や樹木の育成・管理や作業機材の手入れ等の講習を行い、緑と親しむきっかけづくりを行う。</li> <li>・ 市民ニーズを取り入れた、各種緑化講習を行い、緑を楽しむ機会を創出する。</li> <li>・ 駅前広場、松原緑地など市内まちなかの緑地管理を担うボランティア団体（花緑ふやし隊）と連携し、まちなかのにぎわいを創出する。</li> </ul>	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	グリーンバンク維持管理 ・ 樹木リサイクル（寄付受入・交付） ・ 緑のリサイクル（薪の配布） ・ 緑化講習会 ・ 緑化推進ボランティア活動作業補助	グリーンバンク維持管理 ・ 樹木リサイクル（寄付受入・交付） ・ 緑のリサイクル（薪の配布） ・ 緑化講習会 ・ 緑化推進ボランティア活動作業補助	グリーンバンク維持管理 ・ 樹木リサイクル（寄付受入・交付） ・ 緑のリサイクル（薪の配布） ・ 緑化講習会 ・ 緑化推進ボランティア活動作業補助
	事業費	3,288	3,288	3,288
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	12	0	0
	一般財源	3,276	3,288	3,288

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	緑化講習会回数	4	目標値	7	7	7	7	7
		単位：回	実績値	4	5	5	5	
活動指標	グリーンバンク交付樹木件数	40	目標値	60	60	60	60	60
		単位：件	実績値	80	90	118	102	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	3,607千円	令和6年度決算額	3,303千円		
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■グリーンバンク利用件数				
	R4年度	寄附：18件・73本	交付：90件・432本	kikaku: 予算額<決算額正式な 金額のご入力をお願い いたします。	
	R5年度	寄附：20件・94本	交付：118件・222本		
	R6年度	寄附：12件・61本	交付：102件・182本		
	○緑化技術講習会				
	R4年度	「多肉植物の寄せ植え」	「冬の寄せ植え」	「レモンガラスのしめ縄づくり」	参加総数：50名
	R5年度	「多肉植物の寄せ植え」	「冬の寄せ植え」	「レモンガラスのしめ縄づくり」	参加総数：53名
	R6年度	「多肉植物の寄せ植え」	「冬の寄せ植え」	「レモンガラスのしめ縄づくり」	参加総数：53名

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	グリーンバンクは、樹木・緑のリサイクルや緑化技術講習会に加え、保安林や市民の森等の維持管理も行っている。移転後の利用者も増加傾向にあり、市民・ボランティアの緑化活動支援を推進していることから、花と緑のつながりを広める緑化拠点として不可欠な事業である。					
課題	利用件数を増加するために、講習会での周知や電柱広告掲示等の啓発を行い、グリーンバンクの認知度向上及び利活用を推進している。 薪の無料配布については、公園の剪定伐採木の利活用を行っており、一定のニーズもあるため、継続して取り組む。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	緑化講座については、植物を植えて寄せ植え作品をつくるだけでなく、各家庭での緑化活動継続につながるような付加価値を加えるなどの、質の向上に向けた取り組みを進めている。さらに、講座の際に、グリーンバンクを知ってもらえるよう啓発することで、認知度や利用件数の向上に努める。					
令和8年度 事業計画	・ 樹木のリサイクル ・ 緑のリサイクル ・ 緑化技術講習会 ・ 保安林維持（直営作業） ・ 緑地管理（直営作業）ボランティア活動補助					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	280	重要事業		総合戦略		担当部署	緑のまち推進課 公園管理係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・5・1	緑地保全整備事業				10,351 千円	15,437 千円	16,591千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ、憩いと安らぎのあふれた、ガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶5_緑地の保全

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	多々良・堀工保安林及び野鳥の森自然公園の貴重な平地林を保護・保全し、次世代へと引き継ぐ。
----------------	--

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### 緑地保全整備事業

#### 病虫害被害防除

##### ・特別伐倒駆除

多々良保安林及び堀工保安林において、松くい虫の被害により枯れてしまったアカマツを除伐及びカシノナガキクイムシの被害により枯れてしまったコナラを除伐する。

##### ・樹幹注入

多々良保安林及び堀工保安林のアカマツを対象に、松くい虫の被害防除のための薬剤を樹幹注入する。

#### 保安林維持保全

・対象地を計画的に除草作業を行う。また除草機械等の日常点検及び整備を行う。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	病虫害被害防除 ・特別伐倒駆除 ・樹幹注入	病虫害被害防除 ・特別伐倒駆除 ・樹幹注入	病虫害被害防除 ・特別伐倒駆除 ・樹幹注入	病虫害被害防除 ・特別伐倒駆除 ・樹幹注入
	保安林維持管理 ・緑地管理	保安林維持管理 ・緑地管理	保安林維持管理 ・緑地管理	保安林維持管理 ・緑地管理
事業費		16,591	16,591	16,591
財源	国庫	0	0	0
	県費	6,119	6,119	6,119
	市債	0	0	0
	その他	990	990	990
	一般財源	9,482	9,482	9,482

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	抵抗性アカマツ苗の補植数	240	目標値	250	250	250	250	250
		単位：本	実績値	100	65	50	0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	16,591 千円	令和6年度決算額	15,664 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■特別伐倒駆除件数 令和4～6年度までの累計実績 33本（松くい虫：松） 内訳 令和4年度：19本 令和5年度：7本 令和6年度：7本 令和4～6年度までの累計実績 87本（カシノナガキクイムシ：コナラ） 内訳 令和4年度：5本 令和5年度：34本 令和6年度：48本</p> <p>■保安林再生事業 令和4～6年度までの累計実績 多々良保安林115本 実績内訳 多々良保安林・・・多々良アカマツ植樹体験事業 抵抗性アカマツの植樹 令和4年度：65本 令和5年度：50本 令和6年度：0本</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	評価根拠については、抵抗性アカマツの補植数を根拠にしており、令和3～6年度は目標値を下回っている。補植状況は、令和元年度、2年度は各年度200本以上植栽したが、その後大風や降雪などによる倒木も少なく順調に生育したため、令和4年度以降は補植本数を減らした。なお、令和2・3年度は植樹体験事業は中止し、直営にて植栽を行った。令和4・5年度は実施し、丸太切りも追加し、子供たちが楽しめる工夫を加えた。なお令和6年度は補植したアカマツの生育状況の確認や移植試験を実施した。					
課題	伐倒駆除は、枯木の伐倒を行っているが、マツに関しては樹幹注入の効果で枯れは落ち着いている。しかし、ナラ枯れを起こすカシノナガキクイムシが令和4年3月に堀工保安林で見つかり、被害が拡大している。ナラ枯れ被害は、ナラ・シイ・カシなどのブナ科の樹木に拡大し、伐倒本数が増加しており、伐倒駆除により被害の拡大防止に努めている。 またアカマツ補植については、補植の時期や場所、生育状況の把握や管理が課題である。					
【Action】 今後の 方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	保安林全体の維持管理を考え、必要により伐採や下草刈りを適切に行い、アカマツの生長に適する環境をつくる。					
令和8年度 事業計画	①貴重平地林保全事業 ・病虫害特別伐倒駆除（松くい虫・カシノナガキクイムシ） ・樹幹注入（松くい虫） ②保安林維持管理 ・緑地管理					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						



# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	281	重要事業	○	総合戦略		担当部署	緑のまち推進課 緑化政策係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・5・1	花と緑推進事業				3,170千円	3,170千円	2,163千円

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ、憩いと安らぎのあふれた、ガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶4_市民協働による緑化推進

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民協働によるイベント開催や飾花、地域ボランティアによる地域花壇の維持管理を通じて花と緑の豊かなまちづくりを推進する。
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### 花と緑推進事業【重要事業】

- ・ イベント開催  
花と緑の館林づくり協議会による市民協働での『花と緑のフェスティバル』、『苗木配布会』を開催し、花と緑の豊かなまちづくりと緑化意識の高揚を図る。
- ・ ボランティア活動の推進  
地域花壇の維持管理を行う「花ねっと」、まちなか緑地の維持管理を行う「花緑ふやし隊」の団体育成を図る。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	2,163	2,163	2,163
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
一般財源		2,163	2,163	2,163

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	2,163 千円	令和6年度決算額	2,103 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■花と緑のフェスティバル イベント開催と飾花 R4 ・花と緑のフェスティバル2022 飾花数：18種約8,300株 R5 ・花と緑のフェスティバル2023 飾花数：19種約3,230株 R6 ・花と緑のフェスティバル2024 飾花数：21種約4,900株			

## 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にあ る	■ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	2010年に本市をメイン会場として開催した「花と緑のぐんまづくり～ふるさとキラキラフェスティバル」を きっかけに、春のイベントとして定着し、R6年度が13回目の開催である。				
課題	“花のまち館林を訪れた方々に喜んでいただく”ことを目的として、協議会がイベントや、緑化に係る助成を 行っている。引き続き市民ニーズや経済性、効果を踏まえ、イベント内容を継続的に工夫していく必要がある。				
<b>【Action】</b> 今後の 方向性 ・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)				
	花や緑関連の出店、キッチンカー導入、民間講師によるワークショップなど、官民連携の取り組みを追加する ことで、より市民ニーズと経済性を重視し、イベントの内容に変化を持たせてきた。今後も工夫を重ね、協議会 活動を実のあるものにしていきたい。				
令和8年度 事業計画	・花と緑のフェスティバル ・苗木配布 ・花ねっと事業（地域花壇の維持管理に関する団体補助制度）				
予算規模 見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	282	重要事業		総合戦略		担当部署	緑のまち推進課	公園管理係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・5・2	都市公園維持管理事業				246,301 千円	268,968 千円	271,369 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ、憩いと安らぎのあふれた、ガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶1_公園の災害時活用の検討
施策の方向	▶2_公園・緑地の魅力の向上

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	安全で安心して利用できる公園・緑地を目指し、常に健全な状態を保全するため、公園の遊具や施設、樹木の適切な維持管理を行う。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
都市公園維持管理	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園遊具や施設、樹木の日常的な維持管理を実施する。</li> <li>・専門業者による遊具の保守点検や修繕を行う。</li> <li>・繁茂や越境に対する樹木剪定・伐採やトイレ及び駐車場などの設備改修工事等を実施する。</li> <li>・災害に備えた施設設備の検討を行う。</li> <li>・クビアカツヤカミキリへの対策として、薬剤の樹幹注入や伐倒駆除を行い、被害拡大を防止する。</li> <li>・伐根や補植を進め、景観の再生と保全を図る。</li> <li>・公園施設長寿命化計画により、老朽化に対応した公園施設の維持管理を継続的に実施する。</li> </ul>	
（主な事業） ○ジャブジャブ池等改修設計【新規事業】 ○公園園路灯LEDランプ交換工事	

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業 スケジュール		都市公園維持管理 ・維持管理業務 ・クビアカツヤカミキリ対策 （駆除及び薬剤の樹幹注入被害木の伐倒） ・公園施設長寿命化計画による実施個所検討 ○ジャブジャブ池等改修設計	都市公園維持管理 ・維持管理業務 ・クビアカツヤカミキリ対策 （駆除及び薬剤の樹幹注入被害木の伐倒） ・公園施設長寿命化計画による実施個所検討 ○ジャブジャブ池大規模改修 ○ネットトンネル遊具更新 ○南面駐車場トイレ改修設計	都市公園維持管理 ・維持管理業務 ・クビアカツヤカミキリ対策 （駆除及び薬剤の樹幹注入被害木の伐倒） ・公園施設長寿命化計画による実施個所検討 ○南面駐車場トイレ改修工事 ○体育館駐車場トイレ改修設計
事業費		271,369	308,965	316,224
財源	国庫	10,000	28,798	32,427
	県費	3,890	3,890	3,890
	市債	23,400	40,318	43,584
	その他	3,731	3,731	3,731
	一般財源	230,348	232,228	232,592

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	公園遊具の重大事故件数	0	目標値	0	0	0	0	0
		単位：件	実績値	0	0	0	0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	271,369千円	令和6年度決算額	254,837千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>【都市公園等維持管理業務】4ブロック分割 H27～29 計165か所 → H30～R4 計167か所 → R5～R9 計165か所</p> <p>【公園施設長寿命化更新工事】 R4 あけぼの公園外 遊具11基（塗装） R5 多々良沼公園 展望台スロープ板張替え外 R6 中央公園外4公園 遊具修繕5基</p> <p>【公園樹木の取り扱い方針】 H30 公園樹木の取り扱い方針策定 R4 取り扱い方針に基づく剪定・伐採（瀬戸谷公園） R5 取り扱い方針に基づく剪定・伐採（東山運動広場・青柳緑地） R6 取り扱い方針に基づく剪定・伐採（東山運動広場・瀬戸谷緑地）</p> <p>【クビアカ対策】 H27～被害発生確認。 被害状況（毎年総点検結果より）R4：814本 R5：837本 R6：916本 H30年度より伐採駆除を実施。R3：78本 R4：55本 R5：34本 R6：21本</p>			

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	都市公園の維持管理業務は、市内4箇所のブロックに分け、包括委託業務で迅速に対応している。また、遊具は年1回点検し、修繕を実施して延命を図っている。樹木は、巨木化に加え、害虫による被害には、ネット巻きや薬剤の樹幹注入を行い、枯れ木や重度被害木については、倒木の危険が高く拡散を防止するため伐採等の対応をしている。				
課題	公園施設の長寿命化計画を令和4年度に更新し、計画期間を令和5年度～令和14年度までの10年間としているが、施設の老朽化が進行しており、計画年度より前に修繕しなければならないこともある。遊具点検の結果に基づき、可能な限り修繕を行うが、主要部材の劣化による使用不可判定の場合は、やむを得ず撤去している。公園全体の老朽化や樹木の巨木化が、継続的な課題となっている。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	都市公園等の維持管理を適切に行い、公園利用者の安全性や快適性を確保しながら、市民の幸福度の向上を目指す。				
令和8年度 事業計画	<p>○都市公園等維持管理業務</p> <p>○維持管理に伴う樹木管理</p> <p>○クビアカツヤカミキリ被害木対策 樹幹注入（県補）及び伐採等</p> <p>○都市公園施設長寿命化計画による工事及び委託</p>				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

# 【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	283	重要事業		総合戦略		担当部署	緑のまち推進課	公園管理係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・5・2	ちびっ子広場等維持管理事業				7,821 千円	3,360 千円	2,853 千円	

## 【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ、憩いと安らぎのあふれた、ガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶2_公園・緑地の魅力の向上

## 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ちびっ子広場等について地域住民と共同により、公園の遊具や施設、樹木の適切な維持管理を行う。
----------------	---

## 令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

### ちびっ子広場等維持管理事業

- ・専門業者による遊具の保守点検や修繕を行う。
- ・地元がちびっ子広場に施設を設置、維持管理のための補助を行う。
- ・日常管理を行っている各行政区に対し、樹木剪定などの支援を行う。

## 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		ちびっ子広場等維持管理事業 ・維持管理業務 ・ちびっ子広場等整備維持 管理費補助事業	ちびっ子広場等維持管理事業 ・維持管理業務 ・ちびっ子広場等整備維持 管理費補助事業	ちびっ子広場等維持管理事業 ・維持管理業務 ・ちびっ子広場等整備維持 管理費補助事業
	事業費	2,853	2,853	2,853
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,853	2,853	2,853

## 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	公園遊具の重大事故件数	0	目標値	0	0	0	0	0
		単位：件	実績値	0	0	0	0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

# 【令和6年度事業】事業評価調書

## 【事業の実績】

令和6年度予算額	2,853 千円	令和6年度決算額	1,756 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【地元管理広場等箇所数】			
	R4	ちびっ子広場 32箇所	運動広場 11箇所	憩いの広場 13箇所
	R5	ちびっ子広場 30箇所	運動広場 11箇所	憩いの広場 13箇所
	R6	ちびっ子広場 29箇所	運動広場 11箇所	憩いの広場 14箇所
	【遊具点検】			
	R4	35箇所 86基	16箇所29基撤去 (地元要望)	修繕 2箇所2基
	【遊具施設撤去】			
	R5	20箇所 49基	7箇所 9基撤去 (地元要望)	修繕 3箇所3基
	R6	20箇所 49基	3箇所 4基撤去 (地元要望)	修繕 2箇所2基
【遊具施設修繕】				

## 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地元による維持管理の課題の解消に向け現状を確認し、改善策を検討し、市民協働に取り組んでいる。安全な利用のために維持管理を適切にしていくことが不可欠であり、継続していくもの。					
課題	ちびっ子広場や運動広場においては、地元行政区が維持管理を行っているが、少子高齢化により行政区での維持管理が困難な状況になっている。また、地域の意識としても、自らが管理する広場という意識が薄れている場合が多いため、継続的にちびっ子広場の管理について行政区に理解を求める必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止   （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	ちびっ子広場や運動広場においては、地元行政区の協力のもと、引き続き維持管理を行い、支援していく。					
令和8年度 事業計画	ちびっ子広場等維持管理事業 ・遊具維持管理 ちびっ子広場等の専門業者による遊具の保守点検や修繕を行う。 ・ちびっ子広場等整備維持管理費補助事業 地元がちびっ子広場に施設を設置、維持管理のための補助を行う。 ・ちびっ子広場等の支援 ちびっ子広場の日常管理を行っている各行政区に対し、除草剤や作業物品の支援を行う。					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						